

第七十四回帝國議會 衆議院 米穀配給統制法案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
米穀配給統制法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十一日(土曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事長野 綱良君 理事片岡 恒一君

理事古田喜三太君 理事三善 信房君

理事馬岡 次郎君 理事窪井 義道君

理事杉山元治郎君

三好榮次郎君 原 玉重君

高田 耘平君 山田 六郎君

今成留之助君 信太儀右衛門君

山本 条吉君 勝田 永吉君

小野 寅吉君 河野 一郎君

吉植 庄亮君 小平 重吉君

助川啓四郎君 小山田義孝君

牧野 良三君 西川 貞一君

國光 五郎君 伊東 岩男君

石坂 繁君 北 勝太郎君

平野 力三君 三宅 正一君

佐竹 晴記君 小山 亮君

小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 松村 謙三君

農林省農務局長 小濱 八彌君

農林省米穀局長 周東 英雄君

商工政務次官 今井 健彦君

商工省商務局長兼 新倉 利廣君

商工省統制局長 大野綠一郎君

朝鮮總督府政務總監 水田 直昌君

朝鮮總督府財務局長 直昌君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀配給統制法案(政府提出)

○添田委員長 是ヨリ開會致シマス——伊東君

○伊東委員 議事進行上意見ヲ理論ハ總テ

拔キニシテ、具體的事實ニ付テ簡潔ニ質疑

ヲ致シタイト思フノデアリマス、昨日マデ

同僚各位カラ產業組合ノ立場ヨリ、又ハ商

業組合ノ見地カラ堂々タル論陣ヲ御張りニ

ナツタノデアリマスガ、私ハ純百姓ノ立場

ヨリ如何ニスレバ利益ガアルカ、消費ノ見

地ヨリ如何ニスレバ宜イノカ、又消費者ニ

如何ニスレバ便利ニ潤澤ニ米ヲ供給シ得ル

ヤト云フ見地カラ論ヲ進メタイト思ヒマス、

而シテ極メテ公正ニ且ツ大乗のナ見地カラ

議論シタイト思フノデアリマス、本案ノ成

立ヲ切ニ希望スル見地カラ多少苦言ヲ呈ス

ルカモ知レマセスケレドモ、此ノ點御許ヲ

願ヒタイト思フノデアリマス、本案ニ對ス

ル政府ノ信念ヲ疑フ者デアリマスルガ、此

ノ點ヲ確メテ置キタイト前提トシテ、小サイ

問題カラ質問ニ入リタイト思ヒマス、先ヅ

事務當局デ差支アリマセスガ、御答辯願ヒ

タイトコトハ、第一ハ本法案中第二十九條第二

項ノ日本米穀會社ノ營ミ得ル事業トシテハ、

米穀市場ノ開設ノ外ニ、附帶事業トシテ麥、

大豆、其ノ他雜穀又ハ肥料ノ取引市場ヲ經

營シ得ルコトニナツテ居リマスガ、其ノ開

發スル市場名、及ビ市場ノ品種別ノ取扱高

ヲ御答願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 只今正米市場ニ於キマシ

テ麥、雜穀等ノ取扱ヲ致シテ居リマス場所

ハ、茨城縣ノ水戸ノ正米市場デ麥、雜穀ヲ

取扱ツテ居リマス、新潟市直江津正米市場

ニ於キマシテ大豆、小豆ヲ取扱ツテ居リマ

ス、ソレカラ兵庫縣ノ神戸穀肥取引所ニ於

キマシテ滿洲大豆、朝鮮大豆等ヲ取扱ツテ

居リマス、ソレカラ此處デハ一部大豆粕其

ノ他ノ粕類ヲ取扱ツテ居リマス、大體以上

デゴザイマス

○伊東委員 只今マデ取扱ツタ市場別、品

種別ノ一箇年ノ數量ハ分リマスカ、分ラナ

ケレバ後刻ニデモ御知ラセテ願ヒタイト思

ヒマス

○周東政府委員 是ハ昭和十三年ニ於キマ

スル取扱ヲ申シマス、水戸ニ於キマシテ

ハ大體麥、雜穀合セマシテ、一寸四万俵程

取扱ツテ居リマス、新潟ニ於キマシテハ非

常ニ少ウゴザイマスガ、五十八俵、兵庫縣

ニ於キマシテハ、單位ガ車ニナツテ居リマ

スガ、滿洲大豆約六百三十一車、小豆モ同

様ニ千三百二十七車ト云フ程度ノモノデゴ

ザイマス、ソレカラ大豆粕ハ約四百三十一

万枚取扱ツテ居ル譯デアリマス

○伊東委員 此ノ附帶事業ヲ市場デ經營致

シマスルト生産者、消費者又ハ商人トシテ、

ドンナ利益ガアリマスカ、此ノ點ヲ具體的

ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 是ハ昨日モ申上ゲマシタ

ヤウニ、別ニ此ノ新市場ニ於キマシテ之ヲ

積極的ニ取扱ハシメルト云フコトヨリモ、

只今モ申上ゲマシタヤウニ兎モ角モ市場デ

サウ云フ種類ノ取扱ヲ致シテ居リマスノデ、

若シモ是等ノ市場カラ主タル取扱物件デア

リマス米ヲ拔キマス關係上、其ノ經營ニ不便ヲ生ズル結果、或ハ新市場ニ於テ併セテ之ヲ營ムコトヲ望ムト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、其ノ地方ノ實情ニ應ジマシテ取扱ヲ爲スコトガ便宜デアルト云フ場合ニ於テノミ、考ヘタ譯デアリマス、専ラ從來行ツテ居リマス市場ト新市場ニ於キマス關係カラ考ヘマシテ、必要ナ場合ニ認メサセヨウ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○伊東委員 昨日日本件ニ關シマシテ櫻内農林大臣ノ御答ノ要旨ヲ聽イテ居リマス、現在ノ米穀取引所中ニハ關係ノアル附帶事業ヲ經營シテ居ル者ガアル、之ヲ一舉ニシテ廢止スルコトハ農村自體ノ爲ニ不便ダト仰セラレテ居リマス、一體農村自體ニドウ云フ不便ガアルカ、此ノ點、隨テ此ノ條項ハ附帶事業等ノ性質ヲ持ツノデアルカラ廢止スル必要ヲ認メナイト云フヤウニ、本事業ニ對スル積極的主張ハナイヤウデアリマスガ、農林大臣ノ御心持ヲ左様ニ消極的ニ解シテ宜イノデアリマスルカ、此ノ點ノ農林大臣ノ御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 現在取扱ツテ居リマスル所ニ於キマシテハ、色々ナ商習慣モ出來テ居リマシテ、ソレヲ一朝ニシテ廢止スルコトハ、從來ソレニ依ツテ取引ヲシテ居ツタ

者ガ非常ニ不便ヲ感ズルデアラウ、斯ウ云フコトモ考ヘマスと同様ニ、其ノ仕事ヲ若シ繼續シテヤツテ居リマスレバ、ソレダケ商人ナリ農村ノ人々ナリガ利便ヲ得ル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 サウ致シマスルト、此ノ附帶事業經營ニ付テハ、餘リ積極的ノ御主張モナイヤウデアリマスルカラ、稅ハ之ヲ消極的ニ解シテ置キマスルガ、尙ホ最初ニ本案ニ關聯致シマシテノ要項ニハ、此ノ附帶事業ヲ經營スルコトハ無カツタヤウニ考ヘマスルガ、此ノ附帶事業ヲ挿入セネバナライヤウニナツタ經過ニ付テ、御話ヲ承リタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點デゴザイマスルガ、是ハ實ハ本來ノ主タル業務デアリマセナカツタノト、ソレカラ其ノ取扱ノ量、現在ノ實情等ヲモ考慮致シマシテ、要項ニハ特ニ掲ゲテ置カナカツタノデゴザイマスガ、大體内容ト致シマシテハ、別ニ當初カラ持ツテ居ツタ譯デアリマス、唯附帶事業デゴザイマスノデ、特ニ要項中ニハ書イテ居ラナカツタ譯デゴザイマス、御諒承ヲ願ヒマス

○伊東委員 商工政務次官ニ御尋致シマス、只今米穀局長ハ、實ハ考ヘテ居ツタケレド

モト云フヤウナ、ドウモ曖昧ナ御答デアリマスガ、併シ聞ク所ニ依リマスルト、最初此ノ附帶事業ト云フモノハ、全然ヤル意思ハナカツタノデアルガ、其ノ後商工當局ノ立場カラノ要求ニ依ツテ、本事項ヲ挿入セザレバ、將來ノ取引業者ニ對スル妥協ガ不可能デアルカラ、其ノ意味合ニ於テ、商工省ハ商業者ヲ擁護スルト云フ立場ガ本旨デアリマスルカラ、其ノ意味デ此ノ點ヲ要求サレタコトニ因ラ成シテ居ルト云フコトデアリマスルガ、内輪ノコトデアリマスルカラ、或ハハツキリシタ御答ハ出來ヌカモ知レマセヌケレドモ、是ハ進ンデハツキリサレテ置クコトガ、本案審議ノ進行上宜イト思ヒマスノデ、ドウゾハツキリシタ所ヲ御答願ヒタイト思ヒマス

○今井政府委員 伊東君ニ御答致シマス、此ノ法案ハ初メカラ米ノ配給統制ト云フコトヲ主眼ト致シテ居リマス、農林省トノ交渉ニ於キマシテモ、ソレヲ中心トシテ交渉致シマシタ、今ノ雜穀其ノ他ノ取引ノコトニ付テハ、實ハ餘リ突進シダ交渉ハ致サナカツタノデアリマス、ソレガ其ノ後ニナリマシテ愈成案ヲ作ル時ニ、サウ云フ現ニ附帶事業ヲヤツテ居ル所ノ者ガアル、ソレヲ切離シテ行キマスルト、ソレガ行キ立タナ

イコトニナル、ソレナラバ、現ニソレヲ取扱ツテ居ル者ガアリマスル以上ハ、ソレモ一緒ニクツ付ケテ行ツタラ宜カラウト云フ位ナ輕イ程度デ、是ハ此ノ法案ニ入レルコトニナツタト承知シテ居リマス、隨テ商工省ガ特ニ之ヲ力説シタト云フヤウナ經過ハアリマセヌ、此ノ點ハ此ノ機會ニ明ニ致シテ置キタイト思ヒマス

○伊東委員 附帶事業ノ問題ニ付テ、商工省ハ別ニ力説ハシナカツタト云フ御話デアリマスガ、併シ商工省ノ本當ノ氣持カラ考ヘルト、私共ハ此ノ米穀業者ヲ擁護スルト云フ立場デ、左様ナ主張ヲ力説サレルノガ本當デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、併シ今御話ノ通りデアルト致シマスナラバ、商工省トシテモ、別ニ此ノ附帶事業ニ對スル積極的ノ主張ハサレナイモノト考ヘマスカラ、是モ消極的ニ解シマシテ、農林、商工トモ、此ノ附帶事業ニ對シテハ、消極的ニ解シテ置キタイト思フノデアリマス、續イテ御尋致シタイトハ、市場ノ複雜性ハ、却テ米ノ統制ノ上ニ混亂ヲ招ク虞ガアリマスノデ、寧ロ是ハ一本建ノ方ガ宜イト私共ハ考ヘテ居リマス、但シ附帶事業ヲ營ムコトハ、政治的ノ利益ハアリマスケレドモ、實際的ノ利益ハ何等ナシト、私ハ思フノデ

アリマスガ、此ノ點ニ對スル御所見ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ、少シク意見ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマシテ、從來圓滿ニサウ云フモノノ取引ヲ致シテ居リマシタ所ニ於テ、其ノ取引ノ無クナルト云フコトハソレダケ不便デアルト云フコトハ、申スマデモナイコトデアリマシテ、出來ル限リ農民並ニ商人ノ利便ヲ圖リタイ、本案ノ趣旨ニ反セザル限リ、本案ノ運用ヲ害セザル限リニ於テ、出來ル限リノ利便ヲ圖リタイ、斯ウ云フ觀念カラ、本案ニ斯様な條項ヲ入レタ譯デアリマス、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○伊東委員 事務當局ニ御尋致シマスガ、第四條ノ命令事項ノ内容ヲ御示ヲ願ヒタイ
○周東政府委員 第四條ノ命令ニ付キマシテハ、必要ナ場合ニ於テ、例ヘバ極端ナ賣惜ミ買占メト云フヤウナコトガアリマシタ場合ニ之ヲ止メル、サウシテ出荷ヲセシメル、或ハ賣先ヲ指定スルト云フヤウナ事柄ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、必要ナル場合ニハサウ云フヤウナ命令ガ爲シ得ルヤウニ、規定ヲ置イタ譯デアリマス

○伊東委員 只今カラ農林大臣ニ少シ御尋致シマスガ、農林大臣御疲レノヤウデアリ

マスカラ、出來ルダケ農林大臣ノ御答ヲ得ヌデモ宜イヤウニ致シタイト思ヒマスケレドモ、三十分位御辛棒ヲ願ヒタイト思ヒマス、本案ノ有利性、即チ只今ハ附帶事業ノコトニ付テ論議致シマシタガ、本法律案ノ成立後ニ於ケル利益點ヲ、具體的ニ一ツ示シテ戴キタイ、是ハ非常ニ難カシイ間ヒデアリマスケレドモ、過日モ御説明ニナリマシタ國民生活ノ安定ノ爲ノ公正ナル米價ノ維持、及ビ配給統制上ノ立案趣旨ハ、抽象的ニ御説明ガアツタノデアリマスガ、一體生産者ニドンナ利益ガアリマセウカ、消費者ニドンナ便利ガアルカ、米穀業者ニドンナ便利ガアルカ、此ノ三方面カラハツキリト具體的ニ、簡單デ宜シイノデアリマスカラ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 本案提出ノ理由ニ付キマシテハ、此處デ度々申上ゲタノデアリマスカ、要シマスルノニ、公正ナル價格ヲ決定シテ其ノ範圍内ニ於テ取引ヲ致スト云フコトガ、一ツノ主眼デアリマス、ソレカラ現在ノ米穀商人ヲシテ出來ルダケ圓滑ニ其ノ配給ニ從事セシムル爲ニ、一面ニ於テ之ヲ許可制ニ致シマシテ、一面ニ於テ之ニ對スル取締ヲ致シテ、即チ連絡ヲ取ツテ需給配給ヲ圓滑ナラシムルト云フ事柄ガ、第二點

デアリマス、ソレカラ今御話ノ具體的ニドウ云フ利益ガアルカト云フコトニ付キマシテハ、生産業者ト致シマシテハ從來ノ取引關係ニ於テハ、何等變化ハナイノデアリマス、唯此ノ機構ノ出來マシタ結果ト致シマシテ農村ノ人々ハ之ヲ標準ト致シマシテ、總テ生産ニ從事致スノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ從來ヨリハ一歩進ンデ安心ガ出來ルノデハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、尙ホ一ツニハ此ノ會社ノ運營ニ依リマシテ、從來複雑デアツタ取引關係ガ統制ヲサレルノデアリマシテ、一例ヲ申シマスレバ政府米ニシテモ、或ハ臺灣米ニ致シマシテモ、或ハ朝鮮ノ移入米ニ致シマシテモ、要スルニ此ノ會社ノ力ニ依リマシテ、圓滿ニソレガ配給統制ヲサレル、斯ウ云フコトニナリマシテ、詰リ米ノ配給ガ圓滑ニナル、圓滑ニナル結果ハ、農村ノ人々モ全く自分ノ品物ヲ賣ルコトニ對シテ容易ニナル、斯ウ云フ譯デアリマス、消費者ノ階級ハ若シ米ノ偏在等方起ツテ、消費者ノ方面ニ米ノ配給ガ不圓滑ノ場合ニ於テハ、本法ニ依ツテ直チニ其ノ圓滑ヲ期スルコトガ出來ルノデアリマルガ故ニ、其ノ點ニ付キマシテハ非常ニ安心ヲ與ヘ、安シジテ此ノ生活ノ必需品ヲ得ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルノ

デアリマス、ソレカラ中間ノ商人ニ對シテ色々ナル議論ガアリマスケレドモ、是モ度々申シマス通り、今ノ生産者ト消費者ト中間ノ商人ト、所謂三建デ相協力シテ行キマス以上ハ、私ハ大シタ影響ガナイモノト思ヒマス、況ンヤ當會社ニ於キマシテハ其ノ中間的、所謂商ヒノ媒介ヲ致ス、即チ中間取扱業者ニ對シマシテハ相當ノ利便ヲ與ヘ、サウシテ從來困難ノアツタ配給力ノ點ニ付キマシテ、出來ルダケノ援助ヲ致スコトニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ於テモ大イニ利便ガアルト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 御説明ノ如クデアルトスルナラバ、誰モ反對ヲシ、不滿ヲ持ツ者ハナカラウト思ヒマスガ、一體場外ノ空氣モ、産組モ、不滿ノ色ガ濃厚デアリ、商業組合モ反對デアツテ、百姓モ餘リ喜バナイ、斯ウ云フヤウナ本案デアルコトハ是ハ事實デアリマス、特ニ此ノ不徹底ナル米穀會社ニ對スル反對ガ一番多イヤウデアリマス、私共ハ救済スベキ理由ガアレバ、綺麗サツパリト救済對策ヲ講ズベキモノデアル、是ハ獨リ取引所關係バカリデハナク、米穀業者ニ對シテモ、事由ガアレバ當然積極的ニ救済スルコトガ宜シイ、蛇ノ生殺シノヤウナコト

デハサウシテ配給機構ノ如キモ、斷乎トシテ革新的ナ、徹底的ナ權威アル機構ニスルコトガ宜イ、要スルニ今回ノ不滿ノ聲ハ、主トシテ米穀會社ノ不徹底ナ點ニアルト思フノデアリマス、之ニ對スル御所見及ビ先日來政府ノ答辯ハ、最近ハ餘程熱ガ出テ來マシタガ、今マデハドウモ熱意ヲ缺イテ居ツタノデアリマス、先般西川君ノ質問ノ如キニ對シテハ、洵ニ不徹底ナ答辯デアリ、大臣ト事務當局トノ答辯ノ喰違ヒガアルト云フヤウニ、正シク本法立案ニ意見ノ一致ヲ見ナイ、ソコニ信念ガアルカドウカト云フコトヲ、私共ハ疑フノデアリマス、先ヅハ答辯ノ統制ガ必要デアリ、大キナ資料ニ依ツテ自由自在ニ御説明シテ戴クコトガ非常ニ宜イ、私共ハドウカシテ本案ヲ成立セシメタイト云フ非常ナル熱意ヲ持ツテ居リマス、寧ロ提案者タル政府ノ信念ヲ疑フモノデアリマス、此ノ信念ニ對シテ櫻内農林大臣ノ御所信ヲ披瀝シテ戴ケレバ幸ダト思フノデアリマス

十分ナ點ガアリマスレバ、是ハ陳謝致シマスケレドモ、私共ハ相當之ニ對シマシテハ、此ノ案ノ必要ナル所以ヲ度々申上ゲマシタ如ク、ドウシテモ此ノ機會ニ於テ御審議ヲ御願シナケレバナラス、斯ウ云フ信念カラ本案ヲ出シタ譯デアリマス、只今賠償スベキモノナラバ、綺麗ニ賠償シテ、綺麗サツパリト根底カラ立テタラ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、之ニ對シマシテモ度々申上ゲマシタ通り、私ハ本案ニ依ツテ殆ド從來ノ取引所關係ト云フモノハ、大體ニ於テ其ノ權益ト云フモノガ侵サレテ居ルモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論營業ノ廢止ヲ致スノデアリマスカラ、其ノ迷惑サレルコトハ御察シスルノデアリマス、ソレニ對シテ此ノ會社ト合同シタト同一ナ、狀態ニナルヤウニ致シタイノデアリマシテ、又同時ニ此ノ會社ガソレニ依ツテ非常ナ不當ナ高イモノヲ買フトカ、サウ云フ意味ハナイノデアリマス、實際ニ於テ米穀市場トシテ使用スルモノヲ唯買上ゲル、而モ相當ノ委員會ニ於テ審議ヲ致シマシテ買上ゲルノデアリマシテ、其ノ點ニ於テ私ハ何等矛盾シタコトハナイト思ヒマス、要シマスルノニ、本案ハ今日ニ於テハ心配ハ致シマセヌケレドモ、往々ニシテ起ル所ノ米

穀ノ偏在ト云フモノヲ防イデ、全國民ニ對シテ圓滑ナル米ノ配給ヲ致シサウシテ價格ニ於テモ適正ヲ維持シタイ、斯様ナ見地カラ立案シタノデアリマシテ、唯從來ノ取引所ト異リマス所ハ、從來ノ取引所ノ仕事ハ大部分ハ投機取引デアリマシタケレドモ、今回ノハ全然實物取引ヲ主眼トシテ此ノ會社ヲシテ經營セシメル、斯ウ云フ所ガ大ナル相違ニナツテ居ル點デアリマス

○伊東委員 御心持ノ點ハ能ク諒承致シマシタケレドモ、信念ノ點ニ付テハ尙ホ疑ハシク考ヘテ居リマス、殊ニ先程御尋致シマシタ第二十九條ノ第一項ノ如キハ、本案ノ提出ヲ忘レラレタ爲ノ結果トシテ、幽靈ノ如ク現ハレタモノヲ其ノ正體サヘ私共ハ怪シンデ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ先程内容ガハツキリ致シマシタ、正體ヲ突止メマシタノデアリマス、尙ホ私ハ本案全部ヲ通ジテ今日マデ多少研究シテ參リマシタ所感トシテ、本案ノ缺陷ヲ指摘シタイト考ヘテ居リマス、ソレハ本案内部ノ解剖デアリマス、時間ヲ省略スル爲ニ十箇條ニ分類シテ居リマス、ドウゾ是ガ私ノ問ハント欲スル骨子デアリマス、能ク御聽キヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、政府ガ私ノ指摘シタ缺陷ヲ御認メニナリマスルナラバ、私ハモウ質問ヲ打切ツテモ宜イノデアリマス、時間省略ノ爲ニ項目別ニ申上ゲテ置キマス、一、本法ノ革新性ハ國民ノ主食糧タル米ヲ投機性ノ對象ヨリ除イタ點ニアルノデアリマス、但シ穀米會社ノ内容、其ノ組織條件ニ於テ現狀維持デアリマス、故ニ中間搾取の機關ノ感ジガアリマス、第五十四條第二項ノ命令事項、第五十六條第一項ノ勅令事項、第五十五條ノ施行期日ノ問題等ハ再檢討ヲ要スルノデアリマス、二、米穀會社ハ取引所ノ實質的救済デアリマシテ、根本的ニ危險性ガアルノデアリマス、優先的ノ出資、好條件ノ配當、手数料ノ不明朗性ハ考フベキ主ナル事項デアリマス、特ニ會社ノ取扱品ノ多角性ヲ改メ、米ノ一本建デ行カケレバナナイノデアリマスルカラ、此ノ點ニ對シテ第二十九條第二項ハ再檢討ヲ要スルモノト認メマス、三、集荷機構ノ改善及ビ將來ヘノ生産ヨリ消費ニ至ル一貫セル推進力ハ、配給部門ノ一大革新ヲ要求スルノデアリマス、本案ノ複雜性ハ生産消費兩方面トモ不利デアリマス、斷乎トシテ米專賣デ進ムノガ宜イノデアアル、四、本法ノ勅令又ハ命令事項ハ、全部ヲ通ジテ非常ナ數ニ達シテ居リマス、他ニ類例ノナイ法律案デ、私ハソコニ缺陷ガ非常ニ

アルト思フノデアリマス、官僚獨善ニ陥リ易クテ運用ノ圓滿ヲ缺キ、不利不便ヲ續出シテ、米穀ノ配給上ニ混亂ト滯滞ヲ免レナイト考ヘテ居リマス、特ニ第一條ノ勅令、第四條ノ命令事項ノ如キハ、再檢討ヲ要スルト考ヘテ居リマス、五、米穀統制配給上ノ根本の重點ハ、米穀生産ノ確保ト適正米價ノ維持デアリマス、戰時體制下ニ於ケル低物價政策上已ムヲ得ヌトシテモ、農家ノ犧牲ハ餘リニ大キイ、生産費輕減策ニ最善ノ手段ガ必要デアリマス、特ニ第七條ハ再檢討ヲ要シマス、六、市場ノ操作ノミデ米價ノ合理化ハ不可能デアリマス、本案ハ農村内ニ深く潛在セル根本的ノ矛盾ガアルノデ、之ヲ除去シナケレバナリマセヌ、之ヲ先決セザル所ニ本案ノ缺點ガアルノデアリマス、更ニ大陸米作ノ積極性ハ大イニ考慮シナケレバナリマセヌ、是ハ後デ相當議論シタイト思フテ居リマス、七、米ノ計畫の生産、消費ノ合理化、就中内地増産ニ重點ヲ置キ肥料、勞力、耕地ニ對スル積極的改善デアリマス、併セテ考フベキハ兵農兩全ノ新形態ヲ整フル農村經營デアリマス、八、臺灣米管理ハ島民ノ犧牲力災難力、但シ内地追隨ノ米穀對策ハ新領土トシテ又忍バナケレバナリマス、一、一體不可分關係ノ朝鮮米ヲ合理的ニ管理セ

ザル所ニ缺陷ガアリマス、米穀ノ量ノ調整モ米價安定モ朝鮮米ヲ加味シナケレバ不可能デアリマス、九、米穀ノ國營檢査ヲ併行セザルハ配給統制上ニ徹底ヲ缺キ大ナル缺陷デアル、更ニ本案ガ全農民ノ有利性ニハ疑義ガアル、消費者ノ負擔轉嫁ヲ排除シ、及ビ小賣制度ノ改善ハ再檢討ヲ要スル、十、米穀業者ノ反對、産組ノ不滿ハ、本案ノ缺陷内藏ノ立證デアリマス、市場參加ノ生産部門ト配給部門トノ分限ヲ明ニシ、對立關係ヲ除去スベキモノデアル、此ノ機會ニ産組、商組ノ權限及ビ、境界ヲ明瞭化スルコトガ大キナ使命デアルト思フノデアリマス、以上十項、中々難カシク廣汎ニ互ツテ居リマスガ、此ノ缺陷ヲ御認メニナリマスルカ、或ハ箇々ニ付テハ御意見ガアルカモ知レマセヌガ、先ヅ政治的ニハ御認メニナツテ宜カリサウニ思フノデアリマスルガ、御所見ヲ伺ツテ居リマス

○櫻内國務大臣 十項目ニ分ケテ極ク大綱ノ御質問デアリマス、私カラ大要ヲ御答致シマシテ、若シ落チガアリマスレバ更ニ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ノ御問ハ、本案ハ投機取引ノ抑制ヲ主眼トシテ居ルガ、本案デハ目的ガ達セラレナイデハナイカ、斯ウ云フ風ナ御質疑デアツタヤウニ思ヒマス、併シナガラ御承知ノ通り本案ニ於ケル所ノ市場ノ取扱方法ハ、從來ノ一番多ク、投機取引トシテ殆ド取引所取引ノ大部分ヲ占メテ居リマシタ清算取引ト云フモノヲ、全然全廢致シタノデアリマス、唯之ニ延取引ガ隨意行ハレルト御認メニナル方知レマセヌケレドモ、是モ御承知ノ通り格付取引ニアラズシテ銘柄即チ縣々ノ米ヲ指定シテ、其ノ米ヲ相對的ニ取引ヲ致スノデアリマシテ、又少シク範圍ヲ擴ゲタモノモ組合セ銘柄ニ依リマシテ致スノデアリマシテ、從來ノ取引トハ根本ニ於テ相違ガアルノデアリマス、殊ニ轉賣買戻ヲ許シテ居リマセヌ、此ノ點ニ付キマシテハ私ハ投機抑制ノ上ニ於テ非常ナ力ガアル、サウシテ圓滑ニ米穀ノ取引ガ出來ルデアラウト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、本案ニ依ツテ中間的搾取ガ殖産エルデハナイカド云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ私ハ必ズ中間的搾取ト云フモノハ減ツテ來ルト思ヒマス、事實ニ於キマシテ茲ニ此ノ市場ヲ中心トシテ取引ガ致サレルコトニナリマスレバ、色々ナ中間的搾取ハ出來ナイ譯デアリマス、是ハ私ハ中間的搾取ト云フモノハ少クナツテ、ヤハリ米穀業者ノ方々モ非常ニ奮發ヲ下サツテ、各々簡潔ナル取引方法ニ依ツテ消費者ノ利

益、生産者ノ利益ヲ御圖リ下サツテ成立ツヤウニ相成ルコトト考ヘルノデアリマス、取引所取引ノ實施狀態ニ付テ、米ノ一本建デ進ムベキモノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ御説ノ通りデアリマス、元來ガ米穀ノ一本建デイツテ、本案ハ米穀ヲ主體トシタニ相違ナイノデアリマス、唯先刻來申シマシタ通り、現ニヤツテ居ル人ガ不便ヲ感ズルト云フコトニ付キマシテハ、其ノ事情、場合ニ依ツテ之ヲ兼營ヲサセルコトガ出來ルト云フ、唯出來得ルト云フ規定ヲ設ケタノデアリマシテ、ソレガ若シモ不便デアアル、邪魔ニナルト云フ場合ニ於テハ、ソレハ兼營ヲ致サナイダケノ話デアリマシテ、兼營ヲ致スコトガ消費者及ビ生産者ノ利益、商人及ビ農民ノ利益ニナル場合ニ於テノミ、之ヲ實行致スト云フ趣旨デアリマシテ、主眼ガ米ノ一本建ニアルコトハ固ヨリデアリマス、ソレカラ集荷機構ヲ改正シテ配給ヲ圓滑ニシ、消費者生産者ノ利益ヲ圖ルニハ、專賣制度ヲ布クコトガ宜イノデハナイカト云フ御話デアリマス、此ノ問題ニ對シマシテハ度々御答ヘ申上ゲマシタガ、專賣竝ニ國營ニ付キマシテハ、是ハ十分研究致スベキ問題デアリマシテ、吾々ハ之ニ對シテ反對ヲ致シテ居ル者デモアリマセヌガ、

尙ホ十分ナル研究ヲ要シマスルノデ、今日ニ於テハ本案ニ依ツテ處理致シタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、勅令及ビ命令ガ多數デアツテ、官僚獨善ニ陥ルト云フ御話デアリマスガ、本法案ノ實施ニ付テハ民間ノ事業上ニ於ケル練達堪能ノ士ヲ主トシテ其ノ中樞ニ据エテ、働カセタイ考ヲ持ツテ居リマスカラ、左様ナ缺陷ハ起リ得ナイト考ヘテ居リマス、第七條ノ問題ニ對シテノ御尋デアリマスガ、是ハ所謂各方面ノ權威者ノ諸君ガ御集リニナツテ、多年研究サレマシタ標準ニ依ツテ、最高最低ヲ決メテ掛カルノデアリマシテ、其ノ最高最低ト云フモノニ付キマシテハ、十分ニ研究シテ決定ヲ致サルベキコトト思フノデアリマスカラ、之ニ依ツテ不合理ナコトガ起リ得ルトハ考ヘテ居リマセヌ、第六ハ米穀ニ對スル大陸政策ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ御質疑デアリマス、此ノ問題ニ對シマシテハ、此ノ席ニ於テ是亦度々申上ゲマシタ通り、今日ハ内地外地ヲ通ジテ自給自足ノ方策ヲ以テ、進ンデ參ツデ居リマスケレドモ、今後ハ日滿支一體、即チ一元のニ米穀政策ヲ確立致サナケレバナラスコトハ固ヨリデアリマシテ、當然將來ノ計畫ハ左様ナ見地ニ於テ立テタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、今日

ハソレヲ具體的ニ致スベク、企畫院其ノ他各方面ニ於テ十分調査ヲ致シテ居ル次第デアリマス、第七ハ計畫の生産及ビ兵農兩全ト云フ風ナ御話デゴザイマシタガ、農林當局ト致シマシテモ計畫の生産ト云フコトニ付テハ、最モ力ヲ入レテ居ルノデアリマシテ、今期議會ニ於テ御協賛ヲ願ヒマシタ豫算ノ中ニ於キマシテモ、農村計畫ト云フモノニ付キマシテハ、單ニ中央ニ於テ計畫委員會ヲ設クルノミナラズ、府縣並ニ町村等ニマデ計畫委員會ヲ設ケマシテ、計畫のニ農村ノ生産計畫ヲ確立シテ、其ノ米穀政策ニ對應スルヤウニ致シテ、是ノ實行ニ移リタイト思ツテ居リマス、第八ハ臺灣米管理ニ付テノ御意見デアリマシタガ、此ノ點ニ付キマシテモ、此ノ席デ屢、申上ゲテ居ル所デアリマス、ソレニ附帶シテ朝鮮米ヲヤハリ同様ニ管理シナケレバナラスノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、ヤハリ朝鮮ノ米穀モ一元的ニ統制致スコトガ、最モ必要ナコトデアリマシテ、今日朝鮮總督府ト常ニ緊密ナル連絡ヲ執リマシテ、農林省ノ立テマシタ自給自足ノ方法ニ即應スルヤウニ、總督府ニ於テモ進メテ居ルノデアリマシテ、今回本案ガ成立致シマスト同時ニ、臺灣ニ於キマシテ

モ、本案ニ即應スルヤウナ方法ヲ立テルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、要シマスルノニ、總督府ト少シモ其ノ間ニ扞格ノナイヤウニ相連絡シテ、需給關係ヲ調節シテ行キタイト思ツテ居リマス、第九ハ國營檢査ノ問題デアリマスガ、是ハ吾々モ同感デアリマシテ、出來ル限り速ニ國營檢査ノ實行ヲ致スコトヲ希望シテ居ルノデアリマシテ、各方面ト能ク話合ツテ、一日モ早く速ニ其ノ實行ノ出來マシヤウニ努力致シタイト思ツテ居リマス、產業組合、米穀商人、商業組合ノ反對ガアルガ、是ハ各々ノ任務ノ分限ヲ、ハツキリ區劃シテ其ノ間ニ於ケル所ノ圓滿ナル協調ヲ執ル必要ガアルノデハナイカト云フ御話デアリマス、是ハ洵ニ御尤ナコトデアリマス、之ニ附帶シテ產業組合デモ反對シテ居ル、米商人モ反對シテ居ル、商業組合モ反對シテ居ルト云フ風ナ御話デアリマシタガ、私ノ知り得テ居ル範圍内ニ於テハ、產業組合ノ中ニモ贊成者ガアリ、米穀商人ノ中ニモ贊成者ガアリ、又米穀商業組合ノ中ニ於テモ多數ノ贊成者ガアルト考ヘテ居リマス、要シマスルノニ、斯ノ如キ打ツテ一丸トシタル仕事ヲスル場合ニ於テハ、幾分カ反對ヲサレル部分ガアリマスコトハ、是ハ過渡の道程ニ

於テハ已ムヲ得ナイコトデアリマシテ、本案實行ノ曉ニ於テハ其ノ反對ノ理由ガ消滅ヲシテ、私ハ各方面カラ此ノ案ガ適當デアツタト云フコトヲ御認メ下サル機會ノ來ルコトヲ、信ジテ居ル次第デアリマス、大要御答致シマス

○伊東委員 詳細親切ナル御答辯ニ對シテ感謝致シマス、但シ政治的ノ説明トシテハ承服致シマスルケレドモ、私ハマダ不滿デアリマスルカラ、小サイ問題ハ事務當局ニ後刻御尋ヲ致シタイト思ヒマス、尙ホ大臣ニ一二此ノ場合ニ御尋致シテ置キマス、先程私ハ段々本案ノ缺點ヲ指摘致シマシタガ、反面ニハ特長モアルノデアリマス、殊ニ本案ノ狙ヒ所ガ食糧問題ノ重要性ニ鑑ミテ、米穀ノ配給統制上、是ガ一大進歩デアルトモ認メマス、殊ニ私ノ嬉シク考ヘルノハ、本案ガ政友會多年ノ主張アル米專賣ヘノ發展的過程デアルト信ジマシテ、私ハ愉快ニ堪ヘマセヌガ、只今大臣ノ御話ニ依ルト、此ノ點ガハツキリ致シマセヌノデ、洵ニ遺憾デアリマス、併シハ現在農林大臣ノ立場ニ於テ、專賣ノ前提デアルト云フヤウナ御言明ハ出來兼ネルカトモ思フノデアリマスルケレドモ、此ノ點ヲハツキリシテ戴クコトガ非常ニ望マシイト考ヘテ居

リマス、大臣ハ往年原内閣時代、我が黨ノ一人トシテ米專賣ニハ大イニ關心ヲ持ツテ御研究ニナツタ御方デアリマシテ、此ノ内容等ニ付テモ、能ク御承知デアリマスルノデ、其ノ立場ニ於テハツキリ御闡明ガ出來ヌトスルナラバ、何等カノ形ニ於テ御發表ニナルコトヲ望ミマス、私共ハ大概モウ修正セヌデ鵜呑ミシテモ宜イ位ニ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、此ノ點ガハツキリセヌト、ドウモ不滿ノヤリ所ガアリマセヌカラ、自然修正スルト云フヤウナコトニモナルノデアリマス、此ノ點ガ一ツ、ソレカラ次ハ取引所ヲ廢止シテ米ノ投機性ヲ排除スルコトガ、非常ニ必要ナコトデアルノデアリマス、此ノ點ノ實現ヲ本案ニ依ツテ見ルコトハ、愉快ニ堪ヘマセヌ、是ハ自分ノコトヲ引合ニ出シテハドウカト思ヒマシマス、實ハ父ガ米相場ニ手ヲ出シテ、田舎ノ地主デアアル私モ全部破産シタノデアリマシマス、父ハ其ノ體驗上カラ致シマシテ、米相場ヲ社會カラ除カカケレバ國民ノ生活ノ主要食デアアル米ノ安定ガ出來ナイ、是非米專賣ニハ今後大イニ盡セト云フコトヲ遺言シテ死ンダノデアリマス、是ハ丁度今カラ二十年前ノ話デアリマスガ、オ笑ヒノヤウデアリマスケレドモ、私ハ此ノ事ガ頭ノ中カ

ラ終始一貫離レナイノデアリマス、ドウカシテ此ノ取引所ト云フモノヲ無クシタイ、サウシテ之ニ代ルベキ安全妥當ナル米穀配給ノ機構ニ變ヘナケレバナラヌト云フコトヲ、實ハ私ハ政治ノ一ツノ生命ニ致シテ居ルノデアリマス、ダカラ此ノ法律案ノ提案ヲ見マシテ、二十年前ノコトヲ想ヒ出シテ感慨ニ堪ヘマセヌ、此ノ意味合ニ於テモ私ハ本案ノ成立ヲ望ムノデアリマスルケレドモ、ドウモ内容ニ於テ洵ニ缺點ガ多イノデアリマス、併シ此ノ米專賣ノ問題ヲ、モウ少シ大臣ガハツキリ御答ヘ下サルナラバ、モウ私ハ全部ノ犠牲ニシテモ鵜呑ミシタイト思フノデアリマス、是非此ノ點ヲモウ少シ何トカ言ツテ貰ヒタイト思フノデアリマス、
○櫻内國務大臣 伊東サンノ洵ニ悲痛ナル米ニ對スル御尊父ノ御話ヲ聽キマシテ、私深ク感慨ニ堪ヘヌモノガアリマス、米ノ問題ハ申スマデモナク昔カラ政治上ノ中心問題デアリマシテ、多年日本ノ重大ナル問題トナツテ居ルノデアリマス、古イ時ニハ御承知ノ通り常平倉ノ如キ問題ガ起リ、明治ニナリマシテモ此ノ米ノ問題ニ付キマシテハ常ニ政治家ガ苦心シテ居ルノデアリマス、私共淺イ政治上ノ經驗デアリマスケレドモ、議員ニ出マス前カラ此ノ米ノ問題ニ付キマ

シテハ頭ヲ悩マシテ居ツタノデアリマス、二十年前ニ議員ニナリマシテ以來、此ノ問題ハ常ニ議會ニ於テ論議サレタ問題デアリマス、即チ其ノ中ニ米ノ統制法ガ現ハレタ、而モ最初山本達雄男爵ノ農相時代ニハ、量ノ調節ヲ致スト云フ意味合ニ於テ統制法ガ行ハレ、續イテ量ト價格ヲ統制スルト云フハレテ參ツタノデアリマス、即チ私共カラ見レバ一歩々々國民全體ノ利益ヲ基準トシテ進ミツツアル道程ニアルト思ヒマス、只今專賣ノ問題ヲ御主張デアリマスガ、決シテ此ノ專賣ト云フ問題ニ反對ダト申スノデアリマセヌ、又專賣以外ニ於テ國營ノ方法モアルノデアリマスカラ、是ニモ反對デアリマセヌ、唯之ヲ實施致シマスノニハ相當研究ヲ致サナケレバナラヌ點ガ多々アルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ十分ナル研究ヲ致シタ上デ、專賣デモ國營デモ、國家全體、又農民全體ノ利益ニナルコトニ對シマシテハ、斷行スベキモノデアルト私ハ思フノデアリマス、即チ只今政友會デハ專賣ノ意見ダト云フ御話デアリマスガ、政友會ノ諸公ガ臺閣ニ御立チニナツタ時ニモ、其ノ方針ニ付テ可ナリ御研究ニナツタヤウデアリマス、又本席ニハ見エマセヌガ、吉

植代議士ノ御尊父ノ如キハ、昔カラ此ノ問題ヲ唱ヘテ、一本調子ニ其ノ意見ヲ立テテ研究セラレテ居リマス、併シナガラ今日マデソレガ容易ニ實施出來ナイト云フノハ、マダ研究ノ殘サレタ點ガアルノデアリマシテ、其ノ點ノ研究ヲ十分ニ極メテ、サウシテ、專賣若クハ國營ノ問題ガ結構デアルト云フコトナラバ、直チニハ實行スベキモノダト思ツテ居リマス、本案ハ先刻來申上ゲマシタ趣旨ニ於テ提案ヲ致シタノデアリマスケレドモ、本案ノ實行ガ偶、國營若クハ專賣ニ進ム一道路デアアル事柄モアルト思ヒマス、併シ本法案ガ專賣、國營ヘノ一過程デアルト云フコトダケハ只今私申上ゲマセヌ、即チ本法案ハ前カラ申上ゲマシタ趣旨ニ於テ提案ヲ致シタノデアリマシテ、御話ノ如ク本法案ノ或ル條項ガ國營、專賣ニ近付キツツアルト御認メ下サルコトハ、是ハ決シテ私ハ否ム者デモナケレバ、反對致ス者デモアリマセヌ、本案ヲ提出シタノハ前日來申上ゲマシタ趣旨ニ依ツテ出シタノデアリマシテ、國營、專賣ニ對シマシテハ今後引續キ十分研究ヲ致シマシテ、萬全ナル方策ヲ得タイト思ツテ居ルノデアリマス
○伊東委員 農林大臣ノ御信念ハ洵ニ有難ク拜承致シマス、農林大臣ハ永ラク大臣ヲ

シテ戴クコトト思ヒマスカラ、ドウゾ一ツ大臣御在職中ニ——私ハ本案ハ米專賣ノ前提デアルト云フ確信ヲ持ツテ居リマス、唯其ノ事ガ本案提出ノ立場カラ大臣トシテ、ハツキリ御答辯ガ出來ナイダケト私ハ想像致シマス、私ハ米專賣ヲ以テ米穀配給統制ノ最善ノ案ナリト信ジ、研究モシテ居リマスノデ、此ノ案ノ是非實現スルヤウニ御願致シマシテ、此ノ問題ハ是デ打切りマス、更ニ大切ナコトデアリマスカラ御尋シテ置キタイコトハ、本立法ハ戰時立法ダト言ヒマスケレドモ、事實ハドウモ其ノ色彩ガ薄イノデアリマス、而モ只今戰時中デアリマスカラ、米ノ生産確保ト同時ニ政府トシテ一番大切ナコトハ、軍用米ヲ十分ニ貯藏スルト云フコトデアルト私ハ思フノデアリマス、勿論戰爭ハ二年續クカ三年續クカ、否ソレ以上續クモノト信ジテ居リマスガ、今年ノヤウナ豐作ノ時ニウント米ヲ買上ゲテ、貯藏スルコトガ必要ダト思フノデアリマス、吉植君ノ説ニ依ルト本年ハ凶作デアルト云フコトデアリマスケレドモ、私ハ日本ハ天佑ノ國デアリマスカラ、戰爭中ニ凶作ハナイト思フノデアリマス、併シ用意スルコトハ非常ニ必要デアリマスカラ、今年ハ何百万石位御買上ニナル豫定デアリマスカ、

軍用米トシテ何百万石買フカト云フコトハ祕密ニ屬スルコトノヤウニ思ヒマスカラ、其ノ意味合ニ於テデハナクテモ宜シイノデアリマスガ、本年ノ政府ノ米買上ノ方針ト豫定ヲ聽イテ置キタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 軍用米ノ處理ニ付キマシテハ、御話ノ如ク軍機ニ屬スル問題デアリマシテ、其ノ取扱ニ對シマシテハ此ノ席デ申上ゲル自由ヲ有シマセヌ、政府ガ幾ラノ米ヲ買上ゲルカト云フコトニ付キマシテハ、御承知ノ通り最低價格ニナリマシタ場合ニ於テハ、無制限ニ買上ゲルノデアリマス、又出廻期ノ需給調節ノ買上ニ付キマシテ、之ハ適當ナル按排ヲ致サナケレバナラスノデアリマスガ、之ヲ今何石政府ガ買フトカ、ドウトカ云フコトハ、實ハ申上ゲナイコトニナツテ居リマスガ、是ハ適當ニ調節シテ行キタイト思ツテ居リマス、唯大體ニ於キマシテ前日來申上ゲマス通り、約九百二十万石位ハ端境期ニ繰越シ得ルト思ツテ居ルノデアリマシテ、本年ニ於ケル所ノ主要食糧ニ付キマシテハ、何等國民ニ不安ガナイト、斯様ニ思ツテ居リマス

○伊東委員 只今政府ガ相當ノ貯藏米ヲ持ツテ居リマス、尙ホ軍用米トシテハ、私共ノ信ズル所デハ二年分、三年分、或ハ五年

分モ十分アルト信ジテ居リマス、又其ノ數量、買上方法等ニ付テハ御發表ノ困難ナ點モ承知ヲ致シテ居リマス、併シ實際問題ト致シマシテ、獨逸ガ戰爭ニ負ケタノハ食糧不足ノ爲デアツタト言ハレマスケレドモ、實際ハ獨逸ニハアノ當時穀物ハアツタノデアリマス、唯眞實ニ穀物ヲ國內ニ政府ガ保有シテ、保管シテ居ナカツタト云フ所ニ缺點ガアツタヤウニ考ヘマス、ダカラ國ガ米ヲウント管理スルコトハ非常ニ必要ダ、併シ軍用上軍用米トシテ必要ガアツタ時ハ、國家總動員法ガ發動致シマス、併シ法律ノ發動ヲ俟ツズシテ、斯ウ云ツタヤウナモノガ十分準備シテアルト云フコトモ、承知ヲ致シテ居リマス、所デ一般的ノ買上法カラ言ヒマスルト、最高價格ニナレバ政府米ヲ放出シ、賣出スト云フノガ、米穀統制法ノ第二條デアリマス、所デ只今ノ米價ハ正ニ釘付サレテ、今ノ所デハ最高價格ニナツテ居リマス、ダカラ法律上買上ハ全然出來ナイコトニナツテ居リマス、事務當局ハ此ノ點ヲドウ云フ工合ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスカ、事務當局若クハ政務次官カラデモ構ヒマセヌ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

ハ、政府所有米ノ數量カラ致シマシテ、今直グニ買上ヲ致サナケレバナラスヤウニモ考ヘテ居リマセヌ、今後ノ米穀事情等ヲ能ク考慮致シマシテ、政府ノ手持所有米ニ付キマシテハ、善處致シタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 只今御答辯モアツタノデアリマスルガ、尙ホ私茲ニ御考慮ヲ煩シテ置クコトガアルノデアリマス、實際現在ノ米價ハ、統制法ニ依ル操作デハ、價格ノ調節上ニハ何等ノ意味ヲ爲サナイコトニナツテ居ルコトハ、先程申上ゲタ通りデアリマス、軍用米ノ買上ニ付テハ昭和十二年九月十日法律第九十號、米穀ノ應急措置ニ關スル法律ガアルノデアリマス、之ニ基キマスル米穀ノ應急措置ニ關スル法律ノ施行令ニ依リマシテモ「第十二條第一項但書ノ平均價格ガ同令第三條ノ標準最高價格ノ下値一割ニ相當スル價格以下ナル場合ニ限ル」トアルノデアリマスカラ、今ノ所デハ當然買上ガ出來ナイノデアリマス、ソコデ米穀ノ應急措置ニ關スル法律カラ言ヒマシテモ、私ノ解スル所デハ米ノ買上ハ出來ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、必要ガアツテモ出來ナイト思ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ譯カト言フト、此ノ法律ヲ改正セヌ以上ハ買上ハ

絶対ニ出来ナイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、

何トナレバ第二條ニハ斯様ニアリマス「政

府ハ支那事變ニ關聯シ必要ナル數量ノ米穀

ヲ保有スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ

勅令ノ定ムル所ニ依リ米價ガ米穀統制法ニ

基キテ發スル命令ニ定ムル標準最高價格ノ

一定割合ニ相當スル價格以下ナル場合ニ限

リ米穀統制委員會ニ諮問シテ米穀ノ買入ヲ

行フコトヲ得「トアル、ガカラ私ハ此ノ法

律ノ中ノ勅令ノ定ムル所ニ依リ米價ガ米穀

統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最

高價格ノ一定割合ニ相當スル價格以下ナル

場合ニ限リ「ト云フコトヲ取除カヌ以上ハ、

米ノ買入ハ出来ナイト考ヘテ居リマスガ、此

ノ點ハ如何デアリマスガ、大臣ノ御答辯ヲ

求メマス

○櫻内國務大臣 本法デハ只今御讀ミニナ

ツタ通りデアリマス

○伊東委員 サウ致シマスルト、政府米ハ

ウント貯藏シテアルト信ジテ居リマスケレ

ドモ、ドウシテモ是ハ新穀期ニ於テ相當買

上ゲナケレバナラスト思ヒマス、併シ買上

ゲル方法ハ全然只今ノ所デハ法律ノ表面ニ

ハアリマセヌ、又ドノ法律カラ考ヘテモ、

最高價格ニナツタ以上ハ、ドウスルコトモ

出来スノデアリマスガ、是ハ軍用米ノ立場

デナクテ、別ナ方面カラ一體之ヲドウスル

ノダト云フ、此ノ重要ナ點ヲハツキリ御明

示アルコトガ必要ダト思フノデアリマス

○周東政府委員 是ハ軍ニ對シマシテ必要

ガアリマス場合ニ於キマシテ、政府所有ノ

手持米カラ順次要求ニ依ツテ出シテ居ルノ

デアリマス、政府手持米ニ於キマシテハ只

今ノ所御話ノヤウニ、或ハ從來ノ古米ノ買

替ト云フ關係ニ於テ新米ヲ買フ、或ハ出廻

當初ニ於テ買上ヲ致シマシタ米等ガ、政府所

有米ノ主ナモノニナツテ居リマス、ソレ等

ニ依リマシテ軍ノ要求ニ應ジテ居ル譯デア

リマス

○西川委員 一寸關聯シテ……只今ノ問題

ニ付キマシテ御尋致シタイト思フノデアリ

マス、實ハ戰時ノ米穀政策ト致シマシテハ、

此ノ法律ニ依ル配給ノ調整ヲ試ミル外ニ、

何ト申シマシテモ緊急ノ需要ニ應ズル爲ニ

ハ、政府ノ手デ左右シ得ル所ノ米穀ガ、出

來ルダケ豊富デナケレバナラスト云フコト

ハ、戰時ノ獨逸ニ於ケル食糧政策ノ跡ニ鑑

ミマシテモ、極メテ明瞭デアリマス、出來

得ベクンバ政府ノ手ニ、米穀ヲ豊富ニ所有致

シテ置ク必要ガアル、然ルニ昭和十二年ニ

法律第九十號ヲ制定致シマシタ際ニハ、當

價ガ最高價格ノ一割以下デアル際ニ限ツ

テ、政府ガ必要ト認ムル場合ニ購入致スコ

トニナツテ居ツタノデアリマス、然ルニ現

在ノ米界ノ事情ハ餘程變ツテ來テ居リマス、

下値一割ト云フ制限ヲ撤廢致シマシテ、政

府ガ食糧調整上ノ必要ニ應ズル爲ニハ、市

場ノ狀況ニ鑑ミマシテ何時デモ米穀ヲ買上

ゲルコトノ出來ル途ヲ、開イテ置ク必要ガ

アルノデアリマス、サウシテ出廻リノ狀況、

米界ノ狀況ヲ考慮致シマシテ、少シデモ多

クノ米ヲ政府ガ所有シテ居ツテ、緊急ノ必

要ニ應ズル操作ノ出來ルヤウニシテ置カナ

イト、法律ダケデ緊急ノ場合ニ處スルト云

フコトハ、餘程困難デアルト思フノデアリ

マス、隨テ私共ハ昭和十二年法律第九十

號ニ改正ヲ加ヘル必要ガアルト信ジマス、

又應急措置ニ關スル法律ノ施行ニ付テノ勅

令ノ改正モ必要デアラウト思ヒマス、又或

ハ此ノ法律ノ何處カニ、サウ云フ風ナ機能

ヲ發揮セシムルノ條項ヲ設クル必要モ、或

ハアルデアリマセウ、ソレカラモウ一點重

大ナ點デ明ニシテ置キタイコトハ、此ノ法

律ニ依リマス既ニ最高價格、最低價格ノ

範圍内ニ於ケル價格ト云フモノガ、大體ニ

於テ法律ノ建前デアアルノデアリマスカラ、

操作ヲスルト云フ必要ハ、大體ナクナツテ

來ルノデアリマス、最高價格ニ依ル賣渡、

最低價格ニ依ル所ノ買上ト云フコトハ、其

ノ最低價以下ニ米價ガ暴落スルコトヲ防

ギ、最高價格以上ニ上ルコトヲ防グ建前デ、

アノ操作ヲ行フノデアリマスカラ、現在ノ

米穀統制法ニ於ケル操作ト云フモノハ、建

前上必要ガナクナツテ來ル、ソコデ政府ガ

米ヲ買上ゲ又之ヲ賣ルノハ、價格ノ操作ト

云フコトヲ離レマシテ、其ノ目的ガ變ツテ

來ナケレバナラストデアリマスガ、其ノ點

ニ付キマシテハ米穀政策ノ見地ニ於テ、此

ノ法律トドウ云フ關係ニ置クヤウニ考ヘテ

居ラレルノデアリマスガ、此ノ點ダケ承ツ

テ置キタイ

○周東政府委員 昭和十二年法律第九十號

ノ改正ノ問題デアリマスガ、之ニ付キマシ

テハ只今ノ所、法律ソレ自體ヲ變ヘルコト

ハ考慮致シテ居リマセヌガ、此ノ勅令等ニ

關シマシテ能ク考究ヲ致シテ見タイト思ツ

テ居リマス、ソレカラ第二點ノ、此ノ配給

統制法ト米穀統制法トノ關係ト云フ御話デ

アリマシタガ、是ハ何處マデモ相互補完シ

合フ法律ノ建前ト思ツテ居リマス、勿論新

法ニ依リマシテハ、法律的ニ市場ニ於ケル

リマスガ、經濟上ノ實質ニ於キマシテハ、非常ニ極端ナ場合ニ於テ米ノ需給ノ窮屈ト云フコトガアリマスレバ、ヤハリ一面ニ於テ必要ニ應ジテ政府ノ米ヲ市場ニ流シ出スコトニ依ツテ、經濟的ナ調整ハ行ハナケレバナラヌト思ツテ居リマス、法律的ニ言ヘバ御話ノヤウニ、ソレ以上ノ價格ノ取引ヲ禁止致スト云フ關係ガアリマスカラ、御趣旨ノヤウナ點ガ出テ參ルト思ヒマスガ、是ハ別途經濟的ノ作用ト致シマシテハ、ヤハリ其ノ關係ハ殘ツテ參ルヤウニ考ヘテ居リマス

○伊東委員 農林大臣御多用ノ時デモアリマスルシ、御疲レデアリマスカラ、農林大臣ニ對スル質問ハ止スコトニシテ、只今カラ政務次官ノ御答、及ビ米穀局長ノ御答デ宜イヤウナ内容ノ——小サイ問題ニ付テ、質疑ヲ試ミタイト思フデアリマス、第一ニ政務次官ニ御尋致シタイコトハ米價ノ問題デアリマス、是ハ大分今日マデ御話ガアツタノデアリマスガ、私ハ少々方面ヲ變ヘテ御尋シタイト考ヘマス、先ヅ適正米價ノ定義ト申シマスルカ、是ハモウ最高最低價格、所謂米穀統制法デハツキリシテ居ルデハナイカト御答ニナルカモ知レマセスガ、私ノ間ハ左様デハナイ、米ハ安イノガ宜イ

ノカ高イノガ宜イノカト云フ問題デアリマス、觀念的ニ言フナラバ、消費者ハ安イノヲ望ムノデアリマス、生産者ハ成ベク高イコトヲ要求スルノガ當然デアリマス、是ハ觀念論デアリマス、尙ホソレデハ、一番善イノハ高カラズ安カラズト云フコトガ理想ダト御答ニナルカモ知レマセスガ、斯ウ云ツタヤウナ問題ハ、ハツキリサレルコトガ審議ノ上ニモ、亦總テノ方面ニ於テモ一番必要デアルト思ヒマスガ、之ヲ簡單ニ御答出來ル言葉ヲ以テ言ヒ表ハシヲ願ヒタイト思ヒマス、理窟ヲ言ヘバ限リガアリマセス、此ノ點ノ御答ヲ願ヒタイ

○松村政府委員 只今ノ御話ハ最モ困難ナ問題デゴザイマシテ、若シモソレニ適正ナ値ヲ決メルコトガ出來マスナラバ、此ノ米價ハ一本建デ宜シイノデアリマス、專賣ナドノ直グ實行出來ナイ一ツノ點モ、米價ヲ生産消費兩者ノ間ニ、如何ニ一本デ適正ニ決メルカト云フコトノ、非常ニ困難デアルト云フ點ニ存スルノデアリマス、隨テ一本ノ觀念ヲ作ルコトハ容易ナラヌコトデアリマシテ、ソレデ此ノ米穀統制法ノ基準米價ヲ決メルノモ、ヤハリ或ル値幅ヲ決メテ、其ノ間ニ自然ニ動く作用ヲ作ツテ置キマセスト、今御話ノ何處ガ最モ適正カト云フコ

トガ決メ兼ねルノデ、斯ウ云フ値幅ヲ置カクテハナラナイト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デゴザイマス

○伊東委員 御話ノ通りデアリマス、併シ專賣ヲ實施スレバ、自ラ適正價格ト云フモノハ決ツテ來ルノデアリマス、ダカラ私ハ米專賣ヲスルコトガ一番善イト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ如何ニスレバ適正ナル價格ノ制定ガ可能ナリヤト云フ問題ニナルト、結局公定相場ノ制定ト

生産ノ確保、過剩米ノ貯藏、消費ノ調節デア、此ノ四ツノ問題ヲ組合セテ實施スルコトガ一番專賣ト云フモノノ可能性ガアルノデアリマス、國民生活ニハドウシテモ主食物デアアル米價ノ調節ト云フコトガ一番必要デアリマス、値段ノ變動ガナイト云フコトガ、生活ヲシテ行ク上ニ於テ非常ニ必要デアリマスガ、就中戰爭中ニ米ガ高クナルト云フコトハ好クナイノデアリマス、ソコデ暴利取締トカ色々ナ物價調節ニ關スル法律、機關ガ出來タノデアリマスケレドモ、簡明ニシテニ一番善イコトハ公定相場ノ問題デア、但シ米ダケガ最高最低ノ價格デ之ヲ決定スルコト云フコトニナツテ居リマス、併シ只今ハ最高價格ニ釘付ケサレテ居ルノデ、殆ド公定價格ト謂ツテモ宜イ程度ニナ

ツテ居リマス、所デ本年ノ米ノ最高價格ヲ釘付ケセネバナラヌト云フ意味ハ、戰時體制下ニ於ケル低物價政策ノ結果デアリマシテ、農家自體ガ此ノ犠牲ヲ忍バナケレバナナイ、忍ンデ居リマスガ、併シ忍ブニモ少シ無理デハナカラウカト思ヒマスルガ、是等ニ關スル御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○松村政府委員 曩ノ基準米價決定ノ際ニハ、低物價政策ノ爲ニ決メマシタカドウカハ存ジマセスガ、併シヤハリ今日ノ場合一番善イコトハ、農家ノ消費スル物、殊ニ農家ノ生産資材ノ物價ヲ上ゲナイデ、ヤツテ行クコトガ出來マスナラバ、米ノ値モ大體斯ウ云フヤウナコトデ、有ユル方面ニ於テソレガ理想デアルト思フノデアリマス、併シナガラ農業用ノ資材、其ノ他生活品ガ非常ニ暴騰致シマシテ、サウシテ米價トノ釣合ガ取レナイ時ニ、御話ノ通りニ農民ガ其ノ犠牲ヲ負擔スルコト云フコトニナルコトハ、御話ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ今後サウ云フ場合ガアリマシタナラ——此ノ暮ニ公定米價ヲ決メル際ニモ、其ノ決定ノ要件ガ法律ニ示シテアリマスカラ、之ニ隨ヒマシテ適正ナ價格ヲ出シテ、農民ノミニ犠牲ヲ強ヒルガ如キコトハ致シタクナイ考デ居

リマス、尙ホ又例年ノ基準米價決定以前ト雖モ、物價其ノ他ニ非常ナ變動ガアツテ、已ムヲ得ナイ場合ニハ、法律ニ依ツテ決定スルコトモアリ得ルト存ジマス

○伊東委員 十三年度ノ産米ノ生産費ハ、所ニ依ツテ違ヒマスガ、大體二十八圓六十錢ニナツテ居リマス、最高價格ハ据置キ其ノ儘デ、最低價格ダケガ二圓六十錢上ゲノ二十九圓九十錢ニナツテ居リマス、他ノ穀物ヲ考ヘマス、小麦ハ二十六七圓致シテ居リマス、大豆ハ十七八圓致シテ居リマスカラ、米價ハ是等トノ鈞合ヒモ取レナイノデアリマス、生産ヲ確保シヨウト思ヘバ、價格ヲ上ゲルコトガ一番増産ノ近道デアリマスケレドモ、是亦事實上今ノ戰時態勢下デハ出來ナイ、ソコデ生産費ノ取扱ガ最も重大化シテ來ル、然ラバ正當ナル價格ハ、生産費ニ何割ヲ加ヘタモノガ一番宜イカト云フコトガ、非常ニ難カシイ問題ニナリマス、此ノ點ニ付テハ先程御答ニナラナカツタノデアリマス、農民ハ國策ノ線ニ沿ウテ進ムコトニ付テハ犧牲ニ甘ンジテ居リマス、ソレデ百姓ト致シマシテハ、生産費ヲ少ナカラシメナケレバナラスノニ、昨年ニ比シテ今年ハ少クトモ二割乃至三割ノ生産費ノ増加ニナツテ居リマス、玆ニ非常ナ矛盾ガ

起キテ來ルノデアリマス、農民ハ先程カラ段々申上ゲルヤウニ、ドウシテモ低物價政策ノ犧牲ニ甘ンジナケレバナライ、併シナガラ米作者ダケヲ犧牲ニ供スル譯ニハ行カヌカラ、別箇ノ方法デ生産費ノ補償ヲシナケレバナラス、生産費以上ニハ賣レテ居リマスガ、他ノ物價トノ鈞合上、之ヲ補償スルノ途ヲ講ズルコトガ必要ダト思フ、サウシテ米ダケハ下ゲテ置ケレドモ、百姓ニ迷惑ガ掛ラヌヤウ、犧牲ヲ少ナカラシムル意味ニ於テ補償ヲシテヤル、斯ウスレバ米ハ三十圓デアラウト、二十五圓デアラウト、百姓ニ不服ハナイノデアリマス、ソレガイケナケレバ、百姓ハ米ノミヲ作ツテハ居ナイノデアリマスカラ、他ノ副業ノ所得ヲ多カラシムル意味ニ於テ、ソレヲ埋合セテヤレバ、農業經營、農家經濟ヲ維持シテ行クコトガ出來ルノデアリマス、私ハ此ノ二方面カラ考ヘテ、現在ノ釘付ケサレテ居ル米價ニ百姓ガ甘ンジテ、不満ヲ言ハナイヤウニスルコトガ、現在ノ農業政策ノ上ニ、最も緊要ナコトダト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御所見ヲ承リタイノデアリマス

○松村政府委員 是ハ非常ニ重大ナ點デアリマス、今日ノ米價ヲ鈞上ゲナイデ、ソレ

ニ對シテハ生産者ニ一定ノ助成ヲシテヤルト云フ御考モ一ツノ方法デアルト思ヒマス、或ハ更ニ農業用物資ニ對シテモサウ云フ考ヘ方行ハレル譯デゴザイマス、併シナガラ六七千万石ニ及ブ大キナ米ノ生産者ニ對シテ、國家ガ補償ヲスルコトハ、相當大キナ金額ヲ要シ、財政上ノ問題モアリマスノデ、サウ云フコトガ實行シ得ルトハ玆デ申上ゲ兼ネルノデアリマス、他ノ物價ガ上リマスレバ、米價ダケヲ抑ヘテ置クコトハ、非常ニ困難ナコトデアリマシテ、左様ナ場合ニハヤハリ基準米價モ引上ゲマシテ、他ノ物價トノ鈞合ヒヲ取ツテ參ラナケレバナラスノデハナイカト考ヘテ居リマス、只今デハ小麦ノ價格ガ米ノ公定價格ニ非常ニ近寄ツテ參リマシタ、昨年ノ基準米價ヲ決メル際ニハ、斯ウ云フヤウニ距離ガ接近シテ居リマセヌデシタ、ソレデ現在ノ米價ハ、他ノ農作物ニ比シテ尙且ツ非常ナ低位ニアルト云フ御意見ハ其ノ通りデゴザイマス、此ノ問題ハ考慮セネバナラスコトデアリマスケレドモ、併シ昨日モ申シマシタガ、只今ハ大體農家ノ、本當ノ生産者ノ方ニハ最早米ガアリマセヌデ、却テ米ヲ買ハネバナラスト云フ時機ガ近付イテ來テ居ル譯デアリマスカラ、新米ガ出マス場合ニハ、物價

ノ鈞合ガ取レナイト云フコトデアリマスレバ、先刻モ申スヤウニ十分基準米價ニ對シテ考慮ヲ拂ハネバナラスト考ヘテ居リマス

○伊東委員 只今非常ニ確信アル御聲明ヲ得マシテ、私洵ニ喜ブ所デアリマス、私ガ申上ゲルヤウナ政策ガ出來ストスレバ、基準米價ノ値上ハ當然デアリマス、ドウゾ其ノ點ニ向ツテ是非特別ナル御配慮ヲ仰イデ置キマス、尙ホ之ニ關聯致シマシテ、私ガ先程申上ゲルヤウニ、ドウシテモ米價ガ上ラナケレバ、他ノ副業的農業ヲ有利化シナケレバナラスト云フ點デアリマス、生産ノ増殖ガ國家的ノ要求デアリ、又農産物昂騰抑壓ノ要求ハ、單リ米バカリデナク、他ノ農産物ノ上ニモ亦新タナル問題ガ段々提供サレテ參リマシテ、一層此ノ矛盾ガ生ジテ參リマシタ、即チ戰時用農産物ノ供出ニ關スル問題ノ如キデアリマス、今一例ヲ舉ゲルト甘諸ノ問題デアリマス、九州デハ甘諸ガ米食ノ代リニ主要ナ百姓ノ食物デアリマス、所デ「ガソリン」國策ノ立場カラ致シマシテ、無水「アルコール」ノ原料ノ甘諸作ガ時局産業トシテ進出シテ參リマシタ、九州ハ日本デ一番産額ノ多イ所デ、全國ノ半分位ヲ持ツテ居リマス、ソコデ一寸御尋致シタイコトハ、此ノ唐芋ノ品質ハ、私ハ九州

ガ一番良イト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ヲ次官カラ御答願ツテ置キマス

○松村政府委員 九州ノ甘藷ノ品質ガ「アルコール」原料トシテ優秀デアルカドウカト云フ問題デゴザイマス、實ハ私素人デゴザイマシテ、殊ニ大藏省專賣ノ「アルコール」原料トシテ、ドレダケノ優秀性ヲ持つテ居ルカハ十分存ジマセヌ、併シナガラ九州ハ甘藷ノ非常ニ大キナ生産地トシテ、「アルコール」製造ノ原料ノ非常ニ大キナ部分ヲ持ち、非常ニ之ニ依存シテ居ルト云フコトハ、申上ゲ得ルノデゴザイマス

○伊東委員 成程「アルコール」原料ノ關係ハ大藏省ノ所管デハアリマスルケレドモ、芋ヲ作ル役目ハ、農林省デアリマスカラ、隨テ百姓カラ納メサセル品質數量其ノ他ニ付テハ、必ズ御承知ガアル筈デアリマス、農林次官御承知ノヤウニ、三月ノ十日ノ新聞ニ依ルト、米、甘藷、馬鈴薯其ノ他ノ計畫生産目標ガ、委員會ガ開カレテ決定ヲ致シテ居リマス、其ノ中ニモ「アルコール」原料ノ甘藷、馬鈴薯ノ問題ガ現ハレテ居リマス、是ガ非常ニ安イノデアリマシテ、此ノ値上ヲスルト云フコトハ農村ノ經濟關係カラ言ツテ、或ハヤハリ米ト關聯致シマシテ非常ニ必要ナコトト思フノデアリマス、併

シ値上ノ出來ナイ理由モアルヤウニ思ヒマス、無水「アルコール」ハ只今ノ大藏省ノ計算ニ依ルト、非常ナル損失ヲシテ行カナケ

○松村政府委員 御話ノ通りデアリマシテ、今日ノ「アルコール」ノ原料ハ多ク甘藷ニ依ル譯デアリマシテ、非常ナ大キナ増産ヲセネバナラスノニ拘リマセズ、値段ガ安クナイト專賣ガ引合ハスト云フコトカラ、農村ニ對シテ安イ價格デヤラネバナリマセヌト云フ惡イ條件ガ昨年モ附イテ居リマスノデ、今年ハ是非此ノ價格ヲ引上ゲタイト存シテ、農林省ト致シマシテハ大藏省ト種々折衝ヲ致シテ居リマス、大藏省ノ當局モ其ノ點ニ鑑ミラレマシテ、色々御話ノ末ニハ大體九州ヲ除ク——ト言ツテハナンデスガ、外ハ三十二錢ト記憶シテ居リマスガ、大體コチヲノ主張通りニナルコトニナツタノデゴザイマス、唯九州ハ御承知ノヤウニ非常ニ芋

ニ適シマスノデ、生産費モ安イ、又其ノ他ノ是マデノ行掛リノ事情モゴザイマシテ、之ヲ三十二錢ト云フ並ミニスルコトニハ、マダ折合ツテ居リマセヌノデゴザイマス、隨ヒマシテ其ノ點ニ付テハ私共モ苦心ヲ致シテ、何トカ大藏省ト諒解ヲ得タイト思ツテ、今日努力ヲ致シテ居ル譯デゴザイマス

○伊東委員 一番產地デアル九州ダケ差別待遇ヲスルト云フコトハ、甚ダ怪シカラヌ話デアリマス、是コソ戰時時局産業トシテ「アルコール」ヲ造ルト云フ本當ナ國策ノ産業デアリマス、其ノ原料ノ一番多イ九州ノ芋ヲ安ク買フ、私ノ見ル所デハ品質ハ日本

一ダト考ヘテ居ル、私ハ其ノ點ヲ言質ヲ取ル積リデアツタケレドモ、ドウモ上手ニ御答辯ナサツタモノダカラ、如何トモスルコトハ出來ナカツタノデアリマス、私ハ日本一ノ唐芋品質ヲ持つテ居ルノダト云フ御答ヲ取ル積リデアツタノデアリマス、事實ハ併シ日本一デアリマス、酒精分モ一番多イノデアリマス、産額モ一番多イノデアリマス、ダカラ是ハ安ク買フニアラズシテ九州ヲ高ク買フノガ當リ前デアルノデアリマス、ソレヲ安ク買フヤウニ協定スルト云フコトハ、是ハ農林省ガ腰ガナイノデアリマス、何時デモ農林省ハ腰ガナサ過ギル、今度モ

商工省ニ交渉スルニ負ケテ、遂ニ詰ラナイ附帶事業アタリヲクツ付ケラレテ、キユーキユー言ツテ將ニ此ノ案カラ修正サレヨウトシテ居ラレルヤウナ調子デアリマス、商工省ニ對シテモサウデアアル、又大藏省ニ對シテモ何時デモ其ノ通りデアリマス、中々大藏省ノ役人ハ普通並大抵ノコトデハ聞ク役人デハナイノデアリマスカラ、農林省デハ一寸腰ヲ入レテ戴カナイト困ル、是ハ唐芋ノ問題ダカラ言フ必要ハナイノデアリマスルケレドモ、ドウシテモ腰ヲ入レテ貰ハナケレバナラスノデアリマス、價格ノ如キモ、ドウシテモ是ハ引上ゲナケレバ實際ノ所、是ハ出來ルモノデヤナイノデアリマス、サウシテ成ベク餘計ニ出來ル所ヲ高ク買ヘバ、生産ハ幾ラデモ出來ルノデアリマスルケレドモ、餘計出來ルカラ安ク買フト云フコトニナルト、隨テ生産ガ出來ナイコトニナツテ居リマス、今デハ中々澱粉會社ガ高ク買ヒマスカラ、容易ニ集荷出來マセヌ、實際大藏省ハ弱ツテ居ルノデアリマス、ソコデドウシテモ農林省ハウント力ヲ入レテ貰ナケレバナラナイ、是ハ唐芋ノ例デアリマスルガ、煙草モサウデアリマス、中々大藏省ハ金儲ケガ上手デ、去年直チニ煙草ノ値上ヲヤツテドレダケ儲ケタカ、大シタモノデア

リマス、尙又煙草ノ葉ヲ納メル百姓ハドウ
カト云フト、少シハ値上ラシテ呉レマシタ
ケレドモ、大シタモノデハナイ、是デ何時
モ農林省ガ大藏省ニヤラレテ居ル、ドウシ
テモ農林省ニモウ少シ元氣ヲ出シテ戴カナ
ケレバナリマセヌ、幸ニシテ多クヲ言ハナ
イ謹嚴ナル農林次官ガ御入りニナリマシタ
カラ、私ハ非常ニ信賴ヲ致シマス、實際煙

價値ガアルニモ拘ラズ抑ヘラレテ甘ンジテ
居リマス、是ハ甘ンズルト致シマスルナラ
バ、是デ甘ンズルカラニハドウシテモ他ノ
方面ヲ、モウ少シ緩和シテ戴カネバナラス、
此ノ意味合ヒニ於テ農林省ノ是レ以上ノ御
發奮ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ點ニ關ス
ル御信念ノ在ル所ヲ、御漏シヲ願ヒタイノ
デアリマス

シタイト思ヒマス、農林省ノ生産目標ガ六
千七百五十万石、内地デ四百万石、外地臺
鮮ニ於テ百五十万石増産スルト云フ積リ
デ、割當制度ヲ御採用ニナツタノデアリマ
スガ、此ノ各縣ノ割當見込額ハドウナツテ
居リマスカ、或ハ書類デモ構ヒマセヌカラ
御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、臺鮮米ノ百
五、六十万石ノ増産ハ容易デアリマスルガ、

○松村政府委員 果シテソレダケノ増産ガ
出來ルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ天
候ノ如何ニモ係ハルコトガ非常ニ多イノデ
アリマスケレドモ、併シナガラ技術的ニ見
テ病虫害ノ豫防驅除、或ハ耕作方法ノ改良
施肥ノ改善等ノ技術的方面ヲ以テスレバ、
四百万石ノ増産ハ可能デアルト云フコトノ
結論ヲ得タノデゴザイマス、實際ニ於キマ
シテモ四百万石ヲ平年作ニ加ヘマシタ數量
即チ六千七、八百万石ト云フ數量ハ、過去ニ

草ノ如キデモ成ツテナイ、一體朝日煙草ハ
原價ガ何ボ掛ルカト云フト、生産費ハ三錢
幾ラシカ掛ラナイ、此處ニオ居デニナツテ
居ル方ハ御承知ナイカモ知レナイガ、原
價三錢ノモノヲ幾ラデ御買ヒニナツテ居ル

○松村政府委員 農林省ノ腰ノ弱イト云フ
コトハ洵ニ恐縮致シマスガ、煙草ノ方ハ全
然今日ハ大藏省ノ所管ニナツテ居リマシテ、
一寸私ノ方カラ之ニ對スルコトヲ彼此レ指
圖ヲスル譯ニハ參リマセヌガ、今辛ノコト
ニ付キマシテハ、九州ノ幾分ナリトモ安ク

内地ノ四百万石増産ハ可ナリ困難ガ伴ヒマ
スルカラ、之ニモ農林省ハ餘程腰ヲ入レラ
レヌスト、又豫定ノ四百万石ハ獲レナイト
思フノデアリマス、特ニ腰ヲ入レテ戴カナ
ケレバナラス點ハ、米ハ戰爭スル彈丸ヨリ
モ大切デアリマス、食ハズニ戰爭ハ出來ナ
イノデアリマス、歐洲大戰ノ時ニハ、獨逸ハ

過去ニ稀ニ見ル數デハナイノデゴザイマス
カラ、是ハ今日ノ場合努力モ不足シ、資材
モ不足スル際ニハ困難ナコトト思ヒマス
レドモ、幸ニ生産者タル農民ノ奮發努力ヲ
得マスナラバ、是等ノモノハ、今申スヤウ
ナ技術的改良指導ニ依ツテ、達成シ得ルモ
ノト考ヘテ居リマス、併シナガラ之ニ付テ

カ、此ノ差額カラ言ツテモドレダケ大藏
省ガ儲ケテ居ルカ、大シタモノデアリマ
ス、但シ是ハ税金ノ身代リニナルノデアリ
マスルカラ差支ナイヤウナモノノ、犠牲
ニナツテ居ル者ハ相變ラズ百姓デアルト云
フコトヲ御考ニナツテ戴キタイ、是ハ百姓

ニ付キマシテハ、九州ノ幾分ナリトモ安ク
スルト云フコトハ、甚ダ私共モ遺憾ニ思ッ
テ居ルノデアリマス、マア之ニ付キマシテ
ハ色々ノ事情モゴザイマシテ、例ヘバ九州
ノ農會ノ決議案等モアリマスルシ、色々ノ
關係デサウ云フヤウナコトニナリマシタガ、

人造食糧マデ提供シタト云ツテ居リマス、
歐洲戰爭ノ時ハ第三年目ニハ獨逸ハ四割五
分、佛蘭西ハ五割六分ノ減産ヲ致シマシタ、
幸ニシテ日本ハ減産ヲ致シマセヌ、加之非
常ナ大豐作デアツタ、併シ増産ハ唯單ナル
掛聲ノミデ出來ルモノデハゴザイマセヌ、

ハ非常ナ努力ヲシナクテハ其ノ目的ヲ達シ
マセヌカラ、民間ノ各團體ノ協力ヲ得
マシテ、農林省ト致シマシテハ、今年ハ各
局各課ヲ擧ゲテ、サウシテ此ノ生産確保ノ
爲ニ最善ノ努力ヲ致シタイト思ツテ居リマ
ス、尙ホ御問ノ各府縣ノ割當デゴザイマス

ガ税金ヲ納メテ居ルコトニナル、百姓ガ安
イ煙草ヲ納メテ、ソレヲ製品ニシテ專賣局
ガグント儲ケテ居ルノデアリマス、此ノ點
ヲドウシテモモウ少シ考ヘテ戴カナケレバ、

今御話モアリマスルシ、又是マデ九州方面
ノ方カラノ色々ノ御事情モ承リマシテ、出
來得ルダケ一ツ努力ヲ致シタイト存ジテ居
リマス

今後ハドウシテモ油斷ハ出來ナイ、殊ニ今
年ノ米ニ對シテハ油斷ガ出來ナイ、此ノ増
産ニ對スル確信アル具體的ノ考ヲ御述ヲ願
ヒタイト思ヒマス、是ハ詳シク述ベラレル
ト時間ヲ取リマスカラ簡單デ構ヒマセヌ

○伊東委員 米ノ増産問題デアリマスルガ、
此ノコトニ付テハ大臣カラモ度々御説明ガア
リマシタカラ、私少々方面ヲ變ヘテ御尋致

農村ア立ツ瀬ハナイ、私ハナゼ斯様ナコトヲ
申上ゲルカト云フト、米價ノ如キデモ先程
カラ段々申上ゲルヤウニ、最高價格以上ノ

○伊東委員 米ノ増産問題デアリマスルガ、
此ノコトニ付テハ大臣カラモ度々御説明ガア
リマシタカラ、私少々方面ヲ變ヘテ御尋致

ト時間ヲ取リマスカラ簡單デ構ヒマセヌ

レドモ、實際ニ當嵌メルノニハ、相當ニ研

究ヲシテ、實情ニ即シテ割當テネバナリマセスカラ、不日特ニ經濟部長會議ヲ開キマシテ、サウシテ各府縣ノ經濟部長ト打合せテ、ソレ等ノ縣ニ確信ノアル割當ヲ致シタイト存ジテ居リマス

○伊東委員 私ノ聽カントシタ重點ハ、其ノ割當制度ノ問題デアリマス、是ハ今御話ノヤウニ容易ナラザル問題デアリマス、先程唐芋ノ話ヲ致シマシタガ、アノ割當ノ如キデモ、到底實行ハ出來ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、ヨリ以上困難ナ米作ニ於テハ先程段々御話ガアツタヤウナ譯デ、増産或ハ産額ノ維持ト云フヤウナコトハ、容易デハナイノデアリマスカラ、御話ノヤウニ最善ナル注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ新シイ生産様式トシテノ生産計畫ハ、ソレゾレ農林省ハ御持チニナツテ居リマスル、即チ反當收穫ノ増大、收穫災害ニ因ル病蟲風害防止、栽培面積ノ絕對擴張、生産ノ割當制度、肥料其ノ他ノ經營資材ノ問題、農業經營ノ改善ノ問題等デアリマス、明年度ノ豫算ハ生産確保ヲスルノニ、極メテ貧弱ナル豫算デアリマス、ソコデ此ノ確保ノ爲ニ先日本會議ニ於テ決議案ノ提出致モシタヤウナ譯デアリマシテ、農林大臣ノ御盡力ニ依ツテ近ク之ニ關スル追加豫算ガ出ルコ

トト思フデノアリマスガ、此ノ追加豫算ハ本當ニ吾々ノ要望シテ居ル通りニ、追加豫算トナツテ現ハレルト思ツテ實ハ毎日待ツテ居ルヤウナ譯デアリマスルガ、私共ノ期待ヲ裏切ラナイヤウナ豫算ガ追加豫算トナツテ近ク現ハレ、私共ガ喜ブコトガ出來ルノデアリマセウカ、農林大臣ノ御話ヲ聽キタイ

○櫻内國務大臣 只今ノ件ニ付キマシテハ、當局ト致シマシテハ、財政ノ現狀ニモ鑑ミ、又實際ノ農村ノ現狀ニモ鑑ミ、其ノ間ニ於キマシテ非常ニ苦心ヲ致シマシテ、先づ是ナラバ、本年度ノ收穫ヲ確保スルコトガ出來ルデアラウト思フ程度ノ追加豫算ヲ御願致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、出來得ル限り明日ニ於テモ決定致シタイト思ツテ居ルノデアリマス

○伊東委員 非常ニ期待ヲ持ツテ居リマスノデ、ドウカ期待ヲ裏切ラナイヤウニ待ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、次ニ生産増大ヲ圖リマスニハ、ドウシテモ農業技術ノ總動員ヲヤラナケレバナリマセス、技術上ノ改善ノ餘地モ相當多イノデアリマス、殊ニ品種ノ改良ノ如キモ其ノ一ツデアリマス、此ノ品種ノ改良ニ依リマス品質ノ統制ノ方法デアリマス、更ニ地方別ニ品種ヲ統一ス

ルト云フ方法ノ如キ極メテ必要ダト思フノデアリマス、殊ニ本案ノ配給統制ノ中ニモ地方別ニ品種統制ヲヤルコトニナツテ居ル、今大體サウ云フ方針ノヤウデアリマスルガ、非常ニ是ハ必要ナコトデアリマス、品種統一ト共ニ之ニ聯關シテ必要ナノハ、品質ノ統一、生産米ノ銘柄ノ統制ト云フコトガ、本案配給事業ニ極メテ不可分ノ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此處デ先日來主張サレタ所ノ米穀ノ國營検査問題ガ論議セラレマシタ、之ニ付テハ來年度ハ成べく實現セシムルト云フ御發表デアリマシタケレドモ、此ノ國營検査ノ如キハ此ノ配給機構改革ト共ニ並行シテ行クベキモノデアアル、本案ノ執行ノ上ニ一番大切ナノハ此ノ米質ノ統制、或ハ銘柄ノ統一ト云フコトデアアル、今多種百態ノ米ヲ市場ニ出シテ、之ヲ販賣スルコトハ洵ニ厄介デアリマシテ、價格ノ點等ニ付キマシテモ、ドウモ圓滑ニ行キ兼ねルヤウニ思フノデアリマス、ソコデ實際現在ハ三府四十三縣及ビ朝鮮、臺灣モ府縣營ノ検査デアリマス、此ノ分立制度ノ検査デハ今言フヤウニドウシテモ宜シクナイノデ、統制下ノ權威アル検査ヲシナケレバナラスト思フノデアリマス、尙ホ國營検査ヲヤルト非常ニ便利ナコトハ、今後ノ統制

ノ上ニ一番必要ナコトハ、現在在高米ノ調、米ノ移動調、生産費ノ調、斯ウ云フヤウナ米穀政策運用ノ上ニ最モ必要ナル事項ガ、此ノ機關ヲ通ジテ出來ルト云フコトニナルノデアリマス、今言ツタヤウナ調査ハ米穀局デヤツテ居ラレマスケレドモ、是ガ國營検査ニ相成リマスト非常ニ單純化シテ、而シテ圓滑シニテ相成リマス、此ノ調査ノ如キ極メテ重要ナル問題デアリマスガ、是等ニ對シテ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○周東政府委員 只今ノ御話ハ現在ノ米穀ノ検査ガ府縣區々ニ行ハレテ居ルノデ、自ラ検査標準米等ガ區々ニナツテ居リマス結果、統一アル検査ガ出來ナイ、其ノ點ニ付テドウカト云フコトデアリマスガ、之ニ付テハ先日モ大臣カラ話サレマシタヤウニ、米ノ國營検査ニ付キマシテハ、曾テ豫算モ決定致シ、一應議案トナリ掛ケタノデアリマスガ、内閣ノ更迭等ガアリマシテ中止ニナリマシタ、併シナガラ此ノ國營検査ノ必要ト云フコトニ付キマシテハ、十分ニ考ヘテ居リマスノデ、只今御話ニナリマシタヤウナ意味ニ於キマシテ、各地方ニ於ケル検査標準米ノ統一ト云フコトニ對シマシテハ、農務局ト協力致シマシテ、検査標準米ノ統一ノ指導ニ付キマシテハ、只今デモ十分致

シテ居ル譯デアリマス、唯國營検査ト云フ徹底的ナ形ガ現ハレマセヌノデ、徹底シナイ憶ハアルノデアリマス

○伊東委員 國營検査ニ關聯致シマシテ、是非御願ヲ致シ所見ヲ質シテ置キタイと思ヒマスノハ米穀ノ生産費ヲ下ゲルト云フ方法ニ付テ、少シク政府ガ意ヲ用ヒラレルト、相當澤山ナ國益ヲ生ズル方法ガアルノデアリマス、ソレニハ色々ナ方面ガアリマシマス、第一私ハ國營検査ニ移サレルト同時ニ、米ノ俵裝ヲ改善ヲヤツタケデ、二千五百万圓ハ斷ジテ儲カルト云フ一ツノ案ヲ持ツテ居リマス、只今ハ各縣デ爭ウテ此ノ俵米ノ外裝ヲ立派ニスルト云フコトヲヤツテ居リマスガ、此ノ米ノ外裝ハ概ネ俵デアリマスガ、其ノ俵ノ代金ノ内容ヲ申上ゲマスト、普通俵代ハ一俵ガ二十五錢、之ニ繩ガ十五錢、俵裝料ガ十錢デアリマスカラ計五十錢ニナリマス、之ヲ私ハ改メタイノデアリマス、改メタルト代ガ三十錢、繩ガ五錢、包裝料ガ五錢デアリマスカラ計四十錢、俵トノ差額ハ十錢デアリマスケレドモ、此ノ穀ガ利用ガ出來ルノデアリマス、俵米ノ穀ハ賣レバ五錢方シカアリマセヌガ、叭ハ少クトモ二十五錢方アツテ、而モ是ガ二回モ三回モ使ハレルノデ、殆ドタ

ダノヤウニナルト思フノデアリマス、ソコデ一回叭ノ方ヲ使ツタト致シマシテ、片一方ハ二十五錢ヲ差引キマスト、ソコニ一俵ニ付テ二十五錢ノ差ガ起ツテ來ルノデアリマス、サウスルト俵米ニスル米ガ現在日本デ四千万石ト致シマスト一億万俵デアリマス、之ニ二十五錢ヲ掛ケルト、二千五百万圓ノ差額ガ起ツテ來ルノデアリマス、此ノ問題ハ少クトモ吉植君ノ言フ七分搗キノ問題ト併セテ、非常ニ大切ナ問題ダト私ハ思フノデアリマスガ、是コソ眞ニ生産費ヲ下ゲル所ノ唯一無二ノ方法ダト思フ、而モ國益二千五百万圓ヲ生ミ出ス方法デアリマスカラ、斯ウ云ツタヤウナ意味ニ於テモ、是ハ國營検査ト同時ニ實行スルコトガ必要デアリマスナラバ尙ホ有利デアリマスケレドモ、是ハ只今ノ事情ヨリシテ已ムヲ得ナイノデアリマス、俵米ノ利益ハ今マデ保管ノ上ニ必要ガアツタノデアリマスケレドモ、今ヤ燻蒸ノ方法ガ發達致シマシタカラ、左様ナ必要ハナイノデアリマス、九州デモ佐賀縣ダケハ叭専用ニナツテ居リマス、福岡、熊本縣ハ併用ニナツテ居リマス、東北

約ニナル、一面ニ於テハ勞力ノ節約ニナリマスカラ、就中勞力ノ節約ヲ加ヘルト夥シイ金額ニナルノデアリマス、斯ウ云フ大キイ益ガアルノニ、何故ニ農林省ハ今日マデ之ヲ放置サレテ改善ヲ爲サラスノデアリマスカ、御意見ヲ承リタイ

○周東政府委員 御話ノ俵裝ノ改善ト云フ點ニ付キマシテハ、農林省ニ於テモ非常ナ關心ヲ持チマシテ調査ヲ致シテ居ル譯デアリマス、殊ニ地方ニ依リマシテ叭ニ依ル取引ノ慣行ガ非常ニ多イノデ、叭ニ依リマシテ何等ノ弊害ノナイ所デハ、既ニ政府ニ於テモ政府米ノ買上等ノ場合ニ於テ叭ノ受入ヲ認メテ居リマス、唯之ヲ全國的ニ全部叭ニ變ヘルト云フコトニ付キマシテハ、地方ノ取引慣行等モゴザイマスノデ、直チニ之ニ變ヘテ行クト云フコトハ實際上色々問題ガアリマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ各米穀事務所等ニ於テ十分研究ハ致シテ居ル譯デアリマス、今日ノ場合ニ於テ御話ノヤウニ穀等ノ用途ガ色々殖エテ參ツテ居リマスノデ、是等ノ點ヲ考慮致シマスト、初メニ於テハ多少不利ナ點ガアリマシテモ、御話ノヤウニ此ノ叭ガ二度三度使ヘルト云フ點カラ致シマシテ、十分此ノ點ニ付テハ考慮スル必要ガアルト云フ意味合ヲ

以チマシテ、特ニ最近ニ於テ考究ヲ重ネテ居ルヤウナ次第デアリマス

○伊東委員 次ニ米ノ搗減リ歩合ト云フノハ產地々々ニ依ツテ違ヒマシマスガ、大體ドウ云フコトニナリマスカ、四斗俵ヲ白米ニシテ何斗ニナルノガ普通デアリマスカ

○周東政府委員 是ハ今御話ノヤウニ大體各地方デ色々違ツテ居リマスガ、大體五分内外ト云フコトニナツテ居リマス

○伊東委員 五分ト致シマスト四斗俵カラ三斗八升ノ正白米ガ出來ルト云フコトニナリマス、普通サウ云フモノデアルト思ヒマシマス、ソコデ御尋致シマシマスガ、只今ノ容積重量兼用ノ米穀検査ニ依ツテ百姓ハ非常ナル損ヲ致シテ居リマス、ナゼナラバ五分減ニ依ツテ四斗俵ガ三斗八升ノ正白米ニナルト仰シヤイマスガ、例ヲ九州ノ方ニ取リマスト、日向米ハ日本デ一番良イ米デアリマシマス、此ノ四斗俵ト云フモノハ幾ラアルカト云ヘバ、四斗若クハ四斗一升アル、茲ニ非常ナル矛盾ガアル、サウ云フ馬鹿ナコトガアルカト云フコトニナリマシマスガ、事實アルノデアリマス、ナゼ左様ナ矛盾ガアルカト云ヘバ是ハ容量主義ヲ採ツテ居ルカラデアリマス、ソコデ容量主義ヲ全廢シテ重量主義ニ改メルト斯様ナ矛盾ハナクナルノデアリ

マス、此ノ矛盾コソ非常ナル農民ノ損害デアリ、農村ノ損失デアルノデアリマスカラ、斯様ナコトコソ一刻モ早く農民救済、農民擁護ノ意味合ニ於テ改ムベキデアル、然ラバ何故今日マデ改メラレヌカト云フト、各縣各様ノ検査ニ依ツテ各検査所ノ役人達ガ、東京或ハ大阪ノ市場デ他縣ノ米ヨリモ少シデモ高クアルコトヲ喜ンデ居ル、ソレハ一俵ノ値段ガ高イコトヲ喜ンデ居ルノデアリマス、ソコデ唯役人ノ名利心ノ爲トノミハ思ハレマセヌケレドモ、ドウモ其ノ傾向ガアル爲ニ遂ニ四斗俵ニハ餘枴ヲヤラシテ居ルノデアリマス、ソコニ非常ナル農民ノ損失ガアルト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌガ、將來斯ウ云ツタヤウナ問題ヲバ是非改善シナケレバナライ、茲ニモ國營検査ニ依ツテ全國統一ヲ圖ル必要ガ起ル、就中吾々ガ國營ノ検査ヲ主張スル所以ハ其ノ點デ、左様ナ意味合ニ於テ色々ナ方面ニ付テ研究致シテ居リマス、ソコデ初メテ米價ト云フモノガ多少抑ヘラレテモ、生産費ニ關シ、及ビ農家ノ懷ロニ入ル金ガ多イノデアリマスカラ、ソコデ我慢ガ出來ルト云フヤウナコトニナルノデアリマス、是ハ理論デハナクテ實際問題デアリマス、斯ウ云フヤウナ問題ヲ拾ヒ集メテ見ルト、局長ハ

米専門ノ御方デアリマスケレドモ、ヨモヤ御知リニナライト私ハ考ヘルノデアリマス、私ハ時間ガアルナラバ斯ウ云フ例、斯ウ云フ缺陷ノ數字ト事實ヲ示シテ、全部拾ヒ上ゲテ御説明申上ゲタイト思ヒマスケレドモ、時間ガアリマセヌカラ申上ゲマセヌガ、此ノ點ニ對スル御所信ノアル所ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點ハ全ク同感デアリマシテ、實ハ今日ノ取引關係ガ御説ノヤ

ウニ、白米ハ重量取引デアル、ソレニ玄米ノ取引ノ方ハ容量取引ガ依然トシテ行ハレテ居リマスコトカラ生ズル種々ノ矛盾ナドガアルノデアリマシテ、理論上カラ申シマスト、是ハ出來ルダケ早く重量取引ニ總テヲ致スコトガ理想デアルト私共モ考ヘテ居リマス、唯今御話ノアリマシタヤウニ、從來ノ容量ヲ如何ナル割合ニ重量ニ換算スルカト云フ此ノ點ガ、各方面ニ可ナリ問題ヲ殘シテ居ルノデアリマス、或ハ小作問題ニ付キマシテモ、此ノ點ハ非常ニ問題ニナルト思フノデアリマス、殊ニ米ニ付テ、其ノ種類ニ依ツテ、ドノ位ノ程度ニ乾燥スルカト云フヤウナ點ガ、重量取引ヲ決定スル上ニ於テ色々ナ關係ヲ持ツト思ヒマス、只今御話ノ日向ノ米ノ問題等ハ、從來ノ惡イ慣

習デハゴザイマセウガ、兎モ角餘枴ヲ入レ込ムト云フヤウナ關係デ、サウ云フ結果ヲ齎シテ居ルト思フノデアリマスガ、ソレダケニ又農政問題トシテハ、容量ノ換算率ヲ如何ナル重量ニスルカト云フコトニ付キマシテ、地方別ニ、各品種別ニ、或ハ乾燥ノ度合ヲ如何ニスルカト云フヤウナ問題ト關聯シテ、可ナリ問題ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テハ如何ナル換算率ヲ拵ヘ

於キマシテモ、愛知縣及ビ宮城縣ニ於キマシテハ、容量及ビ重量ノ兩建デ買上ヲ致スト云フコトヲ、今年カラ致シテ見タノデアリマス、是等ノ實績等ヲモ考ヘマシテ、出來ルダケ早く御示ノ御意見ニ副フヤウニ努力致シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○伊東委員 日向米ガ非常ニ枴ガ多クテモ、實際ハ高ク買ハレテ居ルノデアリマスカラ

宜イヤウナモノデアリマスケレドモ、斯ウ云ツタヤウナ點ハ餘程考慮スベキ問題ダト思フノデアリマス、更ニ粃ノ検査、粃ノ賣買、百姓ノ白米賣買、斯ウ云ツタヤウナ問題ニ付テ弊害ヲ指摘シテ御意見ヲ承リタイト思ヒマスケレドモ、是ハ省略致シマス、最後ニ一點關聯シテ御尋シタイコトハ、米穀検査料ノ統制ノ問題デアリマス、從來米ノ共同販賣ヲ獎勵スル爲ニ、産業組合ニ限ツテ無料若クハ検査料ヲ安クシテ居ルノガ各縣ノ情勢デアリマス、而シテ商人取引ノ分ハ検査料ガ高クナツテ、其ノ差金モ可ナリ多イノデアリマス、但シ内地デハモウ之ヲ統一シタ縣モ相當ニアルノデアリマスガ、此ノ均一主義ヲ執ツテ居ル縣ハ何處々デアリマスルカ、斯ウ云ツタ問題モ此ノ米穀検査ヲ國營トラシムルナラバ、隨テ統制ガ出來ルト思フノデアリマス、御所見ヲ承リ

マス

○周東政府委員 只今御話ノ産業組合ト商人トノ間ニ於ケル検査料ノ統一ヲシテ居ル

縣ハドレダケカト云フ御話デゴザイマスガ、只今其ノ府縣ノ統計ヲ持ツテ居リマセスカ

ラ、午後御話ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○添田委員長 是デ休憩致シマス、午後一時半ヨリ開會致シマス

午後零時二十分休憩

午後一時四十分開議

○添田委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、——伊東君

○伊東委員 委員長ノ御注意モアリマスル

ノデ、成ベク簡潔ニ致シマスガ、二三ノ政策ニ關スル問題ガ殘ツテ居リマスルカラ、

ソレヲ御尋シテ本案ノ内容ニ入ツテ事務的

ノ質問ヲ若干致シマス、勞働對策ノ問題デ

アリマスガ、農村勞働力ノ量的減少、質的

低減、勞銀ノ昂騰ニ對スル對策、即チ政府

ノ企圖スル所ノ戰時下ノ軍需工業、及ビ一

般工場若クハ鑛山、炭坑等ニ必要ナル職工

又ハ人夫トシテ、必然的ニ農村ヨリ青壯年

ガ吸收サレルノデアリマス、今ハ農家百戸

ニ付テ二十人位ノ離農者ガアルヤウデアリ

マス、ソレニ出征軍人等ヲ考ヘルト農村ノ

ハ老幼ノミデ、質的ニ非常ニ低減ヲシテ居

リマス、是ガ對策ハ生産力ノ擴充ニ極メテ

肝要ナ點デアリマスルガ、農村勞働力ノ量的

減少其ノ他ニ付テノ對策ハドウデアリマス

カ、昨年國營ノ職業紹介所ノ法律ガ通過致

シマシテ、各縣ニ其ノ設置ヲ見マシタノデ

アリマス、宮崎縣邊リノヤウナ最モ人ノ不

足シテ居リマス處ニ其ノ一例ヲ取リマス、

洵ニ困ツテ居ルノデアリマシテ、之ガ爲ニ

農業經營ガ出來ナイヤウニナリ、今デハ續

續職業紹介所ノ紹介ニ依ツテ流レテ出ルノ

デアリマシテ、是ハ縣自體トシテ縣外ヘノ

出稼防止ヲ縣令カ何カデ何トカ對策ヲ講ジ

ナケレバナラスヤウナ事態ガ、起ツテ來テ

居ルヤウニ思フノデアリマス、國トシテハ

勞働調整法ト云フヤウナ法律デモ出サナケ

レバナラスヤウナ時代ガ來ルノデハナイカ

ト思フノデアリマス、サウシテ人口ト耕地

等ヲ睨ミ合セテ割當制度デモヤラナケレバ

困ルデヤナイカト云フヤウニ、事實ガナツ

テ居ルノデアリマス、是ハ事實デアリマス

ヲ要求サレテ居リマス、之ニ對シマシテ農

村ノ優秀ナ青年ガ送ラレテ行キマス云フ

コトニ付キマシテ、非常ニ農村ノ生産力ノ

方面カラ致シマシテモ、其ノ他農村ノ中堅

ノ人間ヲ失フト云フ點カラ考ヘマシテモ、

非常ナ問題デアルト思フノデアリマス、是

等ニ付キマシテハ、單ニ農村ノ生産力ノ維

持ト云フ點カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ

此ノ農村勞働力ノ出テ參リマスルニ付テ何

カ計畫的ニ之ヲ考ヘナクテハナラナイ、餘

力アリマスル農村カラハ出來ルダケ軍需工

業等ヘノ要求ニ應ズルコトモ、目下ノ必要

デアリマスガ、農村ノ事情ニ依リマシテ既

ニ相當不足致シテ居リマス所ニ於キマシテ

ハ、可ナリ此ノ點ニ於テ調整ヲシテ出スコ

トガ必要デハナイカ、斯ウ云フ農村ノ勞働

力ノ調整ト云フコトニ付キマシテハ、農林

省ニ於キマシテモ十分ニ其ノ點ヲ關係ノ各

省ト連絡ヲ取ツテ調整ヲシテ行クヤウニ、

目下話ヲ進メテ居ル譯デアリマス

ノ時ニ學生ノ總動員ヲヤルコトハ、非常ニ

適宜ノ處置デアリ、又學生ニ勤勞精神ヲ打

込ムト云フコトモ非常ニ必要ナコトダト思

フノデアリマス、サウシテ此ノ集團勤勞ヲ

シテ農繁期ノ田植等ニ應用スルト云フコト

モ、頗ル良イコトダト思フノデアリマスガ、

併シ中學校以上專門學校ニ斯ウ云ツタヤウ

ニ準正科ニスルコトハ、精神的ニ好イノデ

アリマスケレドモ、之ニ對シテ農林省側ト

シテハ非常ニ關係サレル譯デアリマスルガ、

何カ御相談ヲ受ケテ居ルノデアリマスルカ、

今一ツハ勞働奉仕ノ問題デアリマスルガ、

宮崎縣等ニ於テハ祖國振興隊ト云フモノガ

出來テ小學校、中學校、青年團、處女團併

セテ隊數ガ千隊以上出來マシテ、非常ニ有

效適切ニ活躍ヲ致シテ居リマス、併シ是ハ

總テ勞働奉仕ヲ目的ト致シテ居リマスケレ

ドモ、斯様ニ勞働力ガ不足致シマスルヤウ

ニナリマスルト、唯無料デ奉仕ヲスルト云

フヤウナコトハ、段々困難ニナツテ參リマ

スノデ、農林大臣モ段々勞働班ノ編成ニ付

テ研究サレテ居ルヤウデアリマスルガ、此

ノ勞働班ハ有給勞働班ヲ編成シヨウト云フ

點マデ進マナケレバ、唯從前ノ精神的ノミ

ノ勤勞倍加ノ勤メ方デハ駄目デハナカラウ

カト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デ

アリマスルカ、更ニ從來ヨリ婦人ガ農業勞働マデ進出スルヤウニナリマシタ、又ソコマデ行カケレバナラスノデアリマスルガ、地方デハ今婦人ノ馬耕會ナドト申シテ、婦人ニ耕耘ヲサセルト云フヤウナコトヲヤツテ居リマシテ、驚クベキ技術ト能力ヲ擧ゲルヤウニ向イテ居リマス、斯ウ云ツタヤウナ方面ヲバモウ少シ農林省ガ積極的ニ助成サレト、是ハ非常ニ勞働力ヲ有效ニ使ヒ得ル方法ダと思フノデアリマス、是ハ積極的ナ考ヘ方デアリマスルガ、消極的ニハ今一番農村デ困ツテ居ルノハ、農村ニ團體ガ多イト云フコトデ、其ノ餘弊トシテ會合ガ非常ニ多イノデアリマス、何會、カニ會、殆ド戸主一人位ハ何時モ會ニ出席シテ居ラナケレバナラスト云フヤウナ狀態デアリマシテ、此ノ結果トシテ費消勞働力ト云フモノガ夥シイノデアリマスガ、是等ニ關スル整理、制限ト云フコトハ決シテ是ハ輕視スルコトガ出來ナイ、長期戰ニナレバナラダケ、斯ウ云ツタ方面ニ注目ヲスベキモノデハナカラウカト思フノデアリマスルガ、御所見如何デアリマスカ

○櫻内國務大臣 只今ノ勞働力補充ノ問題ニ付キマシテ、小學生徒ノ活動ヲ希望スル點ニ付テ何等カ考ヘテ居ルカト云フヤウナ御尋

デアリマスガ、其ノ點ハ只今御話ノ如ク、勤勞精神ノ發揚ノ上カラ申シマシテモ、今日ノ如キ際ニハ特ニ左様ナコトガ最モ宜シイト考ヘテ居リマシテ、先日來文部當局トモ話合ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、此ノ問題ニ付テハ其ノ實現ヲ期シタイト思ツテ居リマス、現ニ又之ヲ實施致シテ居ル所モ相當ニアルヤウニ見受ケルノデアリマス、進ンデ現在勞働奉仕團ガアツテヤツテ居ルガ、是ハ長期戰ニナレバ相當ノ費用ヲ出シテ、所謂有給の組織ニ依ツテ勞働ノ擴充ヲシタラドウデアラウカ、此ノ點ニ付キマシテモ、私共全然同感デアリマシテ、此タビ目論ンデ居リマス所ノ集團の勞力移動班ノ如キハ、此ノ趣旨ニ基イテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、兩方面カラ、所謂犧牲的勞働奉仕團並ニ組織的勞力移動班等ノ兩方ノ協力ニ俟チタイト思ツテ居リマス、第三點ノ、團體ガ多數アツテ始終集會等ニ時間ヲ潰シテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマシテ、實際御話ノ如ク今日農村ニ於キマシテハ、實ニ十數ニ互ル團體ガアリマシテ、此ノ爲ニ少カラザル集會時間ヲ要スルコトハ、御説ノ通りデアリマス、相成ベクハ之ヲ整理統一一致シマシテ、一ツ若クハ二ツノ團體ニシテ、サウシテ其ノ活動ヲ迅速ナラ

シメ、以テ時間ノ經濟ヲ致スト云フコトハ、非常ニ結構ナコトデアリマス、吾々モ是非左様ニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、今日農林協議會ト云フガ如キ團體ガ出來テ居リマシテ、色々ナ團體ヲ綜合シタ協議會ガ出來テ居ルノデアリマスガ、是等ガ次第ニ進ンデ理想的團體統制ガ出來ルヤウニナレバ、甚ダ結構ダと思ヒマス、ト同時ニ吾々ト致シマシテモ、此ノ方面ニ對シマシテハ相當力ヲ盡シタイト左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 朝鮮總督府當局ニ御尋ヲ致シマス、内地ノ勞働力ノ補給策トシテ、一番手ツ取早イ方法ハ、直接ノ問題トシテ朝鮮人ヲ内地ニ移入スルト云フコトデアリマス、朝鮮人ハ勞働賃銀モ非常ニ安いノデアリマス、併シ此ノ雇入ニ付テ色々厄介ナ點モアルヤウニ思フノデアリマスガ、之ヲ日本内地ノ勞働力補給ノ立場カラ適當ニ緩和ノ途ヲ、内地のニハ考ヘナケレバナラナイノデアリマス、サウシテ尙ホ連レテ來タ以上ハ、移入後ノ教育指導ヲ適當ニセナケレバナラナイノデアリマス、併シ朝鮮側カラ言ヒマスルト、今後色々ナ方面ニ事業ガ起リ、色々ナ方面ニ段々勞力ヲ必要トスルヤウニナツテ參ツタノデアリマス、併シ私共ノ見ル

所デハ、可ナリ朝鮮ニハ勞働力ガ殘ツテ居ルト考ヘテ居リマスルガ、此ノ餘剩勞働力ノ殘餘ヲ地方別若クハ其ノ他ニ付テ御調ニナツテ居リマスルナラバ、ソレヲ御知ラセシテ戴キタイト思フノデアリマス

○大野政府委員 朝鮮ニ於ケル勞働力ノ配分ノ狀況デアリマスガ、是ハ一寸一概ニ申上ゲ兼ねマスルガ、全體ヲ申上ゲマスルト、北部ノ朝鮮ニ於キマシテハ、諸種ノ工業等ノ開發ニ伴ヒマシテ、元來人口ノ多クナイ所デアリマスル關係上、不足致シテ居リマス、併シナガラ南ノ方ノ既ニ開ケテ居リマスル、南鮮地方ニ於キマシテハ、可ナリ人口ガ稠密デアリマシテ、自然相當ノ餘力ガアルト考ヘラレマス、併シ仕事ノ情勢カラ申シマスルト、諸種ノ或ハ公營ノ仕事、又工業等モ南ノ方面ニ於テハ可ナリ出テ參ツテ居リマスルノデ、從前ノヤウニ仕事ガナクテ困ツテ居ルト云フヤウナ情勢デハゴザイマセヌ、ソレカラ今各地方別ニドレダケノ餘剩勞力ガアルカ、其ノ調ガアルカト云フ御話デゴザイマスガ、左様ナ調ハ具體的ニハ致シテ居リマセヌ

○伊東委員 日滿鮮ヲ連絡スル勞働力ノ調整ノ問題デアリマス、一時日本ノ農村ノ勞働力ガ餘ツテ困ツタ時代ガアツテ、サウシ

テ遂ニ是ガ分村計畫トナツテ滿洲移民ヲヤ
ルコトニ只今計畫ヲ致シテ居リマスルケレ
ドモ、此ノ戰時態勢下ニ於テハ、新ウ云ツタ
ヤウナ問題ガ行詰ツテ参リマス、併シハ
別箇ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス
ルカラ、此處デハ論ジマセヌ、ソコデ殘ッ
テ居ル問題ハ、朝鮮人ノ餘剩勞力ヲ日本ニ
取込シテ適當ニ之ヲ調整スルコトガ、非常
ニ大切ナ時代ガ來タノデアリマス、是ハ内
地ノミデハ到底解決ガ付カナイ、只今一番
農村アタリデ困ツテ居ルノガ作男デアリマ
ス、下女下男等モドウシテモ之ヲ雇入レル
コトガ出來ナイ、又農繁期ニナリマス、
男デ一日少クトモ三圓以上、女デ二圓五十
錢ト云フヤウナ勞働賃銀ニナリマシタノ
デ、左様ナ高イ勞働賃銀ヲ使ツテ、サウシ
テ米作其ノ他ヲヤリマシテモ、到底收支相
償フモノデハナイノデアリマスノデ、茲ニ
私ハ段々行詰リガ出來テ、生産擴充ノ問
題ニ一ツノ暗影ヲ投ズル時代ガ來、隨テ矛
盾ガ起ツテ來ルノデハナカラウカト思フノ
デアリマス、特ニ今朝鮮ノ方デハ、餘剩勞
働力ノ調査等ハナイト云フノデアリマスケ
レドモ、是ハ非常ニ大切ナコトト思ヒマス
ノデ、政府トシテモ可ナリ是ニハ重點ヲ置
カレルヤウニ切望致シマス、更ニ私、斯ウ

云フ案ヲ持ツテ居ルノデアリマス、果シテ
朝鮮ノ總督府當局ガ御賛成ニナルカドウカ
分リマセヌガ、今回ノ事變デ人的要素ニ移
動ノ少イ朝鮮半島人ニハ、未ダ産業戰線ニ
携ツテ居ナイ純眞ナル學生ガ居ルノデアリ
マス、例ヘバ普通學校ヲ卒業シタ新卒業生
ノ如キヲ、總督府ノ推薦ニ依ツテ、内地農
業ノ訓練生トシテ、各地ニアリマスル農民
道場等ニ入場セシメル、或ハ林業訓練生ト
シテ林野局下ニハ營林事業員ノ訓練所ト云
フモノガアルノデアリマスルカラ、斯ウ云
フ方面ニ一箇年位修業ヲサシテ、而シテ日
本精神ヲ打込シテ、サウシテ一面ニ農林技術
ヲ打込シデシマフ、之ヲ修業致シマシタナ
ラバ、之ヲ各方面ノ見習生トシテ三箇年若
クハ五箇年位、勞力不足ノ家庭方面ニ勞働奉
仕的ノ精神ヲ「モットー」トシテ活動セシメ
ルト云フヤウナコトニナリマスコトハ、勞
働力ノ補給ニハドノ程度ニ役立ツカ知リマ
セヌケレドモ、私ハ相當ニ役立ツト思フノ
デアリマス、サウシテ茲ニ初メテ日鮮農業
連鎖ガ出來テ、延イテ歸ツテハ朝鮮ノ農村
開發ノ上ニ貢獻スルヤウニナリ、日本ガ困
ツテ居ル勞力ノ補給ニナルト云フコトニナ
ツテ、非常ニ良イ事デアルト私ハ信ジテ居
ルノデアリマスガ、斯ウ云ツタヤウナ案ニ

付テ、政府ト朝鮮總督府トノ間ニ御協議等
ガアツタコトハナイノデアリマスルカ、又
斯ウ云ツタヤウナ方針ニ付テノ御所信ヲ承
リタイト思ヒマス

○大野政府委員 只今朝鮮ノ勞働者デ内地
ニ參ツテ居リマスル者ガ、約七十万人デア
リマス、大體ニ於テ從來ハ御承知ノヤウニ
日鮮融和ノ上デ、或ハ言葉ガ出來ナイトカ、
或ハ諸種ノ風俗ガ違フトカ云フヤウナ理由
デ、唯イキナリヤツテ参リマシテモ仕事ガ
アルカナイカ分ラナイノニ、漫然渡航シテ
來ル、斯様な者ガ色々誤解ヲ生ム結果、
諸種ノ社會上ノ事象ヲ醸ス爲ニ、多少制限的
ナヤリ方ヲ執ツテ居ツタノデアリマスガ、
今日ハ其ノ點ニ付テモ餘程寛大ニ致シテ居
ル譯デアリマス、ソレデハ今ノ御話ノヤウ
ニ何カ集團のニ朝鮮ノ人ヲ一時ニ澤山持ツ
テ來ル計畫ガアルカト云フコトニナリマス
ト、是ハ中々難カシイ問題デアツテ、現在
澤山ナ壯丁ガ兵トシテ前線ニ行ツテ居リマ
スノデ、是等ノ復員ノ場合ヲ考ヘマス、
一寸ノ間朝鮮ノ人ガ勞働ニ參ツテモ、直ニ
又其ノ問題ニ逢著スル譯デアリマシテ、大
集團ノ鮮人ガ内地ニ參ルト云フコトニ付キ
マシテハ、關係當局ニ於テ具體的ニ相談ハ
致シテ居リマセヌ、又左様ナ點ニ付テハ十

分ノ考慮ヲ致シタ上デナケレバ、決定ガ出
來ナイト思ツテ居リマス、併シ比較的渡航
ガ樂ニナツテ参リマシテ、アチコチニ鮮人
ノ數ガ殖エテ居ルヤウデアリマス

○伊東委員 朝鮮ノ産米改良ハ最近長足ノ
進歩ヲ見マシテ、米質モ内地米同様、若ク
ハソレ以上ニナリマシタコトハ洵ニ結構ナ
コトデリマス、ソコデ朝鮮米トシテモ今度
ハ統制ノ必要ガ起ツテ來タノデアリマスガ、
本案ガ提案サレマシテモ、此ノ朝鮮米ノ統
制ノ問題ニハ何等觸レテ居リマセヌ、本案
ト朝鮮ノ産米ノ關係ハドウデアリマスガ、
朝鮮米ヲ顧慮セザル結果ハ、遂ニ本案ノ實
施ノ上ニ障礙ヲ見ルコトニナルト思フガ、
ドウデスカ、私ハ朝鮮米ヲ無視シテハ量ノ
調節モ、價格ノ維持安定モ不可能ダト考ヘ
テ居ルノデアリマス、此ノ點ドウ云フ工合
ニナツテ居ルノデアリマスガ、殊ニ朝鮮ニ
ハ投機的ノ期米取引所ガ現存致シテ居ルノ
デアリマスガ、同ジ領土内デ斯ウ云ツタヤ
ウナ矛盾ガアルコトハイケナイト考ヘテ
居リマス、隨テ此ノ投機的ナ取引所ノ存
廢問題ニ付テ、御伺シテ置キタイト思ヒ
マス

○大野政府委員 其ノ問題ニ付キマシテ
ハ、過般一寸御答ヲ致シテ置イタノデアリ

マスガ、内地ノ米穀配給機構ノ改正ニ伴ヒマシテ、朝鮮ニ於キマシテモ、之ニ順應シテ此ノ政策ガ圓滿ニ遂行サレルヤウニ致サナケレバナラスコトハ當然デアリマス、隨ヒマシテ取引所ノコトモ只今御引例ガアリマシタガ、是モ大體内地ノ制度ニ應ジマシテ半官半民ノ會社ヲ作りマシテ、所謂清算取引ヲ止メマシテ此ノ仕事ニ響應シテ、米穀配給ノ完全ナル實現ニ付テ朝鮮ニ於テモ協力致シタイト考ヘテ居リマス、是等ノ豫算等ニ付キマシテハ、ソレハ別途要求ヲ致シテ譯デアリマス、唯法域ヲ異ニスル關係カラ致シマシテ、是等ノ事柄ハ制令ヲ以テ規定スルコトニナツテ居リマスノデ、此ノ法律ノ決定ニ伴ウテソレハ處置ヲ致ス積リデアリマス

○伊東委員 朝鮮米關係ニ付テハ尙ホ伺ヒタイノデアリマスガ、大體其ノ程度デ朝鮮關係ダケハ質問ヲ打切りタイト思ヒマス、勞働問題ト共ニ必要ナ問題ハ肥料ノ問題デ、昨日來段々御話ニナリマシタカラ、詳シイコトハ御尋致シマセス、殊ニ昨日農林大臣カラ硫酸ノ増産關係ニ付テモ詳シク御答辯ガアリマシタノデ、能ク了承致シマシタ、唯御尋シテ置カケレバナラス問題ハ、過燐酸ノ問題デアリマス、是ハ只今殆ド原料ヲ

輸入シテ居リマス、併シ其ノ配給ノ圓滑ヲ圖ルニハ、ドウシテモ硫酸同様一ツノ統制會社ヲ作ツテ行クコトガ必要デアル、就中領土内ノ原料ヲ以テ製造シテ行ク工夫ヲシナケレバナラスコト私ハ考ヘテ居リマス、然ラバ内地ニ燐礦石ガアルカト云フト、高度ノモノハナイニシテモ、輕度ノモノハ相當ニアリマス、負礦ハ到ル處ニアリマスカラ、私ハ此ノ燐礦石ノ原料ヲ探礦シテ、内地デ自給自足ノ途ヲ立テタラドウカト云フヤウニ考ヘテ居リマスガ、ドウデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 過燐酸ニ付キマシテハ、先月二十三日ニ此ノ配給ヲスル會社ヲ設立致シマシテ、一元的ニ統制ヲ執ルノ途ヲ講ジテ居リマス、其ノ原料タル燐礦石ノ問題ニ付キマシテハ、日本ニハ高度ノ燐礦石ハ少イノデアリマスガ、輕度ノ燐礦石ハ多少アリマスノデ、是ガ開發ニ付テハ特ニ力ヲ盡ス考デ、來年度豫算ニモ、亦近ク御願致シマス豫算ニモ之ヲ計上致シマシテ、力ヲ盡シタイト思ツテ居リマス

○添田委員長 伊東君、此ノ法案ニ直接關係ノナイ問題ハ御遠慮ヲ願ヒマス

○伊東委員 能ク分リマシタ、モウ一點ダケ伺ツテ置キマス、無機質の肥料ヲ専用スルコトハ、地力ヲ非常ニ破壊致シマスノデ、

是ハ將來ノ農村維持上餘程考ヘナケレバナラス問題デアリマス、ソコデ必要ナノハ有機質肥料デアリマスガ、魚肥モ大豆粕モ非常ニ値段ガ上ツテ、殊ニ大豆粕ノ暴騰ニ依ツテ内地農民ハ二千五六百萬圓ノ損失ヲ受ケテ居ル譯デアリマスカラ、私ハ内地デ之ニ代ハル肥料ガ相當多量ニ補給出來ルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ何カト申スト、都市衛生カラ申シテモ一番困ツテ居ル所ノ人糞デアリマス、是ハ處理ノ上ニモ非常ナ苦痛ノ種トナツテ居リマス、此ノ處理ヲ適切ニヤルコトニ依ツテ非常ナ有機質肥料ガ出來ルト思ツテ居リマスガ、此ノ合理的處理ニ付テ政府ガ相當ノ金サヘ掛ケレバ出來ルト私ハ考ヘテ居リマス、一體斯ウ云フ方面ニ相當ニ御考ニナルナラバ、一舉兩得ノ妙案ガ案出サレルト考ヘテ居リマス、又加里ニ困ツテ居リマスケレドモ、都會デ一番困ツテ居ル人糞ノ處分處理ヲ適切ニスルナラバ、是亦相當量ガ取レルノデアリマス、或ハ日常家庭デ出來ル木灰ノ如キモノモ、其ノ處理ヲ適當ニヤルナラバ、絶對的ニ日本デ困ツテ居ル加里肥料ガ相當補給サレルノデアリマス、斯ウ云ツタ問題ニ付テ機械的、化學的ノ處理研究ヲヤル必要ガアルノデアリマシテ、農林省ニ於テハ

是等ニ關スル化學的研究所ヲ作ツテ、是ガ合理的處理ガ出來テ、有效ナル有機質肥料ヲ農村ニ供給スルノ途ヲ開イタラ如何デアリマスカ、此ノ點ヲ御伺致シマス

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノ點ニ付キマシテハ既ニソレヲ利用シテ居ル所モゴザイマスシ、尙ホ更ニ私共ニ於キマシテモ全ク御同感ノ點デアリマスカラ、其ノ點ニ付テ十分ノ力ヲ盡ス考デアリマス

○伊東委員 事務的ノ問題ニ付テ御尋ヲ致シマス、白米ノ小賣制度ノ問題デアリマス、白米ノ小賣相場ト公定相場ト睨ミ合セテドウ云フ風ニスルノデアリマスカ、且又小賣人ノ利益ヲドノ程度ノ「パーセンテージ」デ置クノカト云フ點デアリマス、モウ一ツハ都會ノ白米ハ銘柄ニ依ツテ之ヲ混合シテ、味ヲ適當ニ付ケルト云フコトニナツテ居リマス、併シ白米屋ハ自分ノ利益ヲ基礎トシテ混合スルコトニナルト、消費者ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケルノデアリマスガ、是等ニ對スル取締ノ方法ニ付テ御聽キシタイト思フノデアリマス

○周東政府委員 公定致サレル價格ト白米ノ價格ヲドウ云フ風ニ決メルカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、實施ノ際ニ十分ニ研究致サナケレバナラスコト

思ヒマスガ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、大體今日ノ白米ノ取引サレテ居ル價格ト云フモノト、ソレト對等ノ原料ノ玄米價格ト云フモノノ間ニ、長年ノ間ノ比率ト云フモノガゴザイマス、サウ云フモノヲ斟酌致シマシテ適正ナ價格ヲ指導致シタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 米穀業者ハ卸賣、小賣ヲ合セマスト内地ガ十二萬六千人、外地ガ一万六千四百五十人、計十四万二千四百五十人ト相成ツテ居リマシテ、其ノ中、小賣人八万人以上トナツテ居リマス、ソレ等ハ總テ下級ノ小サイ商人デアリマスガ、是等ニ對スル免許關係ヲ明ニシテ置キタイト思ヒマス、現在米穀小賣商人デ營業ヲヤツテ居ル者ハ、全部是ハ一應免許サルベキモノト考ヘテ宜イノデアリマス、モウ一ツハ地方ノ米穀商業組合ニ加入シテ營業ヲヤツテ居ル者ハ、無論右ノ者ト同様ニ免許ヲ受クルモノト解セラレマスケレドモ、地方デ組合ニ入ツテ居ラナイ白米商ガ居ツタ場合ニハ、是等ノ免許關係ヲ如何ニサレルノデアリマスカ、又白米ヲ受賣ヲシテ歩ク小サイ商人ガアルノデアリマスガ、是等ノ免許關係ヲドウ云フ工合ニサレルノデアリマスカ

○周東政府委員 第一點ニ付キマシテハ大

體御話ノヤウニ法律ノ第五十九條ニ、現在ニ於テ米穀ノ買入、賣渡、代理、媒介ト云フヤウナ業務ニ當ルコトヲ致シテ居リマス者ハ、一應許可ヲ與ヘルコトニナツテ居リマス、ソレカラ同業組合等ニ加入シテ居ル米穀商ハ同様ニ受ケルノカト云フ御質問デアリマスガ、是モ同様ニ許可ヲ受ケルコトニ致シテ居リマス、第三點デアリマスガ、是モ第一條ニ示シテ居リマスル資格ニ當ル者ハ、勿論之ニ依リマシテ許可ヲ受ケルコトニナルト思ヒマス

○伊東委員 會社ノ區域及ビ支店關係、市場ノ開設地及ビ其ノ資格、ソレカラ從前ノ取引所ハ其ノ儘市場化スルト解シテ宜イガ、新市場ノ資格及ビ分場ノ制度ヲ採用サレルノデアリマスカ、モウ一ツハ第一條ノ如キ業務許可ハ支店出張所モ許可ヲ取ラレルノデアリマスカ、此ノ點御伺致シマス

○周東政府委員 第一點ノ會社ノ地區ノ問題デアリマスガ、是ハ本法ハ全國ニ施行サレマスガ、會社ノ設ケマス市場ニ付テ其ノ市場毎ニ市場ノ許可ヲシテ參ル積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ市場ノ設置箇所ノ問題デアリマスカ、是ハ只今ノ所ハ先ヅ從前ノ正米市場ノアリマシタ場所ハ、大體ニ於テ其ノ箇所ハ

取入レテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスカ、實施ニ當リマシテ米穀ノ集散狀況等ヲ考ヘマシテ、之ニ多少ノ増減ガアルコトハ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ現在ノ取引所ノ箇所ハ設置スルカト云フコトニ付テハ、只今第二點ニ付テ御答ヲ申上ゲタト同様デアリマス、ソレカラ分場ヲ設ケルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ會社ガ市場ヲ設ケマシタ際ニ、其ノ地域内ニ必ズシモ一箇所ノ市場ヲ設ケルニハ限ラズ、場合ニ依ツテハ分場ヲ設ケルコトガアルト思ヒマス、次ニ許可ノ問題デアリマスガ、之ニ對シテ支店、出張所ニ付テ許可スルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ御意見ノ通り支店營業所毎ニ許可ヲ致シテ行キタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 市場員ノ資格ニ付テ疑義ガアリマスカラ、御尋致シマス、第一ハ從來ノ產地賣出商、移出商ハ市場員タルコトガ出來ルト思ツテ居リマス、所ガ仲買商ハ卸商デアリマセヌカラ、資格ハナイデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、此ノ疑義ヲ明ニシテ戴キタイト思ヒマス

○周東政府委員 米ノ問屋行為或ハ卸行為ト云フヤウナコトヲ全然致シマセヌデ、純粹ノ媒介業者ト云フモノハ、市場員トナル

資格ハナイカト考ヘマス
○伊東委員 目論見書ニ依リマス、事業主ノ中、八百五十萬圓ガ、全國米穀取引所及ビ正米取引市場其ノ他ニナツテ居リマス、ソコデ取引所ハ優先的ニ出資スルコトニ相成ツテ居リマスノデ、此ノ八百五十萬圓ト云フ金ハ直グニ肩代リスルノデアリマスカ、若クハ此ノ中ドレダケガ肩代リヲスル御見込デアリマスカ、モウ一ツ取引所員ノ出資スル金額ハ一千五百萬圓ノ中、ドノ程度ノ出資ヲスル見込デアリマスカ、尙ホ其ノ他ノ出資持株ノ見込デアリマスガ、就中販賣組合聯合會ガドレ位出資スルノデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○周東政府委員 第一點ニ付テ御答致シマスガ、事業主トアリマス八百五十萬圓ノコトデアリマスガ、是ハ只今御話ノアリマシタヤウニ、善後處置トシテ行ハレマス全國米穀取引所及ビ正米市場ノ所有土地建物ヲ買ヒマスル金額デハゴザイマセヌ、此ノ中ニハサウ云フモノ及ビ新シク初年度カラ必要ナ設備ヲ致シマスル經費モ此ノ中ニ入ツテ居ル譯デアリマス、第二點トシテドノ位ニ買收スベキモノヲ考ヘテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ何レ特別委員會等ニ於キマシテ決定サレルト思ヒマス、只今確タ

ル數字ハ申上ゲルコトガ不可能デゴザイマス、ソレカラ出資ノ問題デアリマスガ、是ハ現在ノ取引所ノ拂出資額ノ範圍内ニ於キマシテ申込ガアリマスレバ、之ニ依ツテ優先的ニ持タセルト云フコトニナツテ居リマス、具體的ノ額ニ付キマシテハ何レ設立委員會ニ依ツテ決定サレコトと思ヒマス、隨ヒマシテ産業組合等ノ持株モ是等ノ法律決定メマスル取引所ニ對スル優先割當ノ額ガ決マリマシテ、ソレ等ヲ差引イタ後ニ於キマシテ全販聯等ノ持株ハ決マルコトデアリマスノデ、只今申上ゲルコトハ困難デアルト御承知置キテ願ツテ置キマス

○伊東委員 此ノ法律案ガ實施サレルト云フコトニナリマスルト、從前ノ投機取引ガナクナツテ參リマス、而シテ實物取引ト未著物取引ト延取引ノ三ツニナルデアリマスケレドモ、然ル所人間カラ投機心ト云フモノヲ中々去ラセルコトハ容易デハナイノデアリマスルカラ、隨テ人氣ハ未著物取引若クハ延取引ニ集中スルノデハナカラウカ、隨テ市場ノ現物取引ト云フモノハ僅ニナルノデハナイカト、左様ニ考ヘルノデアリマスルガ、當局ハ三ツノ取引ノ豫想高ヲ大體御示テ願ヒタイト思フノデアリマス、モウ一ツノ點ハ、未著物ノ取引デアリマスルガ、

是ハ十五日以内ニ受渡スルコトニナツテ居リマス、若シ十五日以内ニ品ガ著カナカツタト云フ場合ニハ、ドウ處置サレルノデアリマスカ、無論銘柄取引デアリマスルカラ、著品シナケレバ受渡ガ出來ナイ、併シ組合セ銘柄等ニ依ツテ代品ノ一部分ガアル場合モアルカモ知レマセスケレドモ、斯ウ云ツタ場合ニハ中々困ルデハナカラウカ、無論罰則規定ニ依ツテ處罰スル規定ハアリマスルケレドモ、サウ云ツタヤウナ方面デナクテ、是ハ往々アリ得ルコトダと思フノデアリマスルカラ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○周東政府委員 實物取引ノ市場ニ於キマスル取扱見込數デアリマスルガ、是ハ大體千四百萬石位ト豫想致シテ居リマス、是ハ主ト致シマシテ現在ノ六大都市等ニ入りマスル米ハ大體實物市場ヲ通ズルモノデアアル、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ六大都市所在地府縣内ニ入ツテ來ル内地米ノ移入高ノ相當部分ト云フヤウナモノヲ中心ニ置キマシテ、之ニ朝鮮米ノ移入高ノ相當分、臺灣米ノ移入高ノ大部分ト云フモノヲ中心ニ置キマシテ考ヘテ居リマス、ソレカラ第一點ノ未著物取引ニ於キマシテ、十五日以内ニ豫定シタルモノガ到著シナカツタ場合ニドウス

ルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ此ノ場合ノ色々ノ事情モゴザイマセウシ、一律ニ到著シナイ場合ニドウスルカ云フコトヲ、只今申上ゲルコトハ困難ダと思ヒマス

○伊東委員 現物取引ハ市場中心主義ニナツテ居リマス、所ガ市場委員ガ市場外ニテ賣買スル場合ニ於テモ、其ノ取引ハ市場區域内デアレバ宜カラウト考ヘマスルガ、サウデアリマスカ、モウ一ツハ其ノ取引ハ全部市場ニ申告シテ、市場ノ取引ト同率ノ手数料ヲ納メナケレバナラヌヤウニナルノデアリマスルカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○周東政府委員 是ハ法律ノ關係カラ出マスル命令ニ規定致ス積リデアリマスガ、大體市場ニ依ラザル取引ノ中デ、市場ノ場員ガ市場地區内ノ市場員ニアラザル者トノ取引ニ付キマシテ、ソレガ大體現物ノ取引ト同様ニ見ラレマスル五日以内ニ受渡ヲ致シマスモノニ付テハ、之ヲ市場ノ取引ト看做シテ附屬ヲサセ、サウシテ手数料モ取りタイト思ツテ居リマス、モウ一ツノ市場ノ場員ノ地區外ノ者トノ取引ニ付キマシテハ、是ハ單ニ附屬ダケヲサセマシテ手数料ハ取ラヌ積リデアリマス

問ガアツタヤウデアリマスケレドモ、ドウモハツキリ致シテ居ラヌヤウデアリマスカラ、特ニ必要ナコトデアリマスルカラ明瞭ニ致シテ置キタイト思ヒマス、此ノ點ガ今回ノ法律案中デ非常ニ厄介ナ點デアリマス、ドウシテモ産業組合ト云フモノト所謂商業者ト云フモノノ境ヲハツキリシテ、此ノ明瞭化ヲ圖ツテ行クト云フ所ニ非常ナ努力ガ要リ、吾々此ノ委員會ノ使命ガアリハシナイカト思フノデアリマス、ソコデ私ハ決シテ左様ニハ信ジマセスケレドモ、世間往々産組ガ行過ギタト云フヤウナコトヲ言葉ノ上デ言フ者ガアリマスルガ、左様ナコトハ洵ニ注意スベキコトダト私ハ思フノデアリマス、ソコデ行過ギルト云フ議論カラ言ヘバ、延取引ニ參加サセルコトガ危險ダト云フコトニ相成リマス、此ノ議論モ一應尤デアリマス、所デ本當ノ取引ノ公正圓滿ヲ期スル上ニ於テハ、サウシテ其ノ適正ナルコトヲ欲スルトスルナラバ、或ハ産業組合モ參加セシメタナラバ宜イデハナカラウカトモ思ハレル、然ルニ延取引ニ參加セシムルコトハ營利行爲デアルト云フ此ノ意義ハ洵ニ「デリケート」ノ關係ニナリマスノデ、一番私共ノ解釋ニ苦シム點デアリマスルカラ、隨テ是ハハツキリサシテ戴カナ

○伊東委員 生産者團體ニ延取引ヲ許可スルカ許可セヌカト云フ問題ニ付テ、先日質

ケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ之ヲシナイト云フコトニナルト、隨テ米穀會社ニハ出資金ガ出來ナイト云フコトニナリマスカラ、出資ハ認メラレテ居リマスカラ、隨テ延取引モ産業組合所謂販聯ヲ参加セシムルコトハ當然デアルト思フノデアリマス、

尙ホ出資金ニ付テモ先程ハ御答ニナリマセヌケレドモ、生産者團體ト販賣業者ノ關係ノ持株ヲ適當ニスルト云フコトモ、米穀會社ノ將來ノ上ニ非常ニ必要ナコトデアルカノヤウニ思フノデアリマスガ、斯ウ云ツタヤウナ問題ニ付テハ先程モハツキリ御答辯ニナリマセヌケレドモ、販聯ノ營利行為ノ問題ヲ明瞭ニスル上ニ於テ、此ノ實際問題ト理論、之ヲ綜合シテ考ヘテ、ハツキリ斷定ヲ下スコトガ出來得ル、ソコデ從來ノ産業組合ガ非常ニ商權ヲ侵害シテ進出シ過ギタト云フ議論、サウシテ今度ノ政府ノ方針ニ依ツテ其ノ點ガ非常ニ明瞭ニナルコトト思フノデアリマスルカラ、此ノ點ハツキリ致シテ戴キタイト思ヒマス、此ノ點ハ農林大臣カラ御答辯ヲ御願致シマス

○櫻内國務大臣 販賣組合ノ延取引ノ關係デアリマスガ、ソレハ販賣組合ガ現ニ地方ニ委託サレテ居ル所ノ米ヲ所有致シテ居リマスル場合ニ於テ、現實ニ其ノ米ガアリマ

スレバ、ソレハ延取引ニ賣ツテ差支ナイノデアリマス、ソレカラ産業組合ガ市場ニ入ルニハ營利云々ト云フ御話デアリマスガ、ソレハ要スルニ賣一方ノモノデアリマスカラ私ハ營利主義ニハナラヌト思フノデアリマス

○伊東委員 全販聯ノ業務ハ生産者ノ代理行為デアルト考ヘテ居リマス、此ノ考ハ總テノ場合ニ於テ適用シテ行クト考ヘテ居リマスガ、此ノ點如何デアリマスカ、其ノ次ハ全販聯ノ場外取引ヲ禁止セザルモノト解シテ居リマスガ、左様デアリマスカ、尙ホ場外取引ノ制限程度ヲ明瞭ニシテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ場外取引ヲ自由ニ放任サレルト云フコトニナリマス、米ノ主流ハ全ク場外ニ參リマシテ、場内ニハ集マラナイヤウニナルト私ハ想像致シマスカラ、是ハ總テノ場合ニ於テ場外取引ノ制限程度ヲ明瞭ニシテ戴キタイト思フノデアリマス

○周東政府委員 第一點ノ、産業組合ハ生産者デアル所ノ農民ノ委託ヲ受ケテ居ルモノト考ヘルガドウカト云フ御話、即チ代理關係デハナイカト云フ御質問ハ御説ノ通りデアリマス、ソレカラ第二點ノ場外取引ノ制限ノ問題デアリマス、是ハ大體ニ於キマ

シテ市場員トナリマシタ者ハ、市場ニ於テ取引スルコトヲ原則ト致シマスガ、市場以外ノ者ニ付キマシテモ特ニ勅令デ規定致シマスモノ、即チ先程申上ゲマシタヤウニ當該米穀市場ノ地區外ノ者トノ取引、ソレカラ米穀市場ノ地區内ノ取引デアツテ、市場員ニアラザル者トノ取引デ五日以内ニ履行スルモノハ、市場取引ニ準ジテ付届ヲサセル、殊ニ後段ノモノニ付キマシテハ手数料ヲ取ルト云フコトニナツテ居リマス、此ノ範圍ニ入ラナイ總テノ他ノ賣買行為ニ付キマシテハ、場外ノ取引ハ自由デアリマス

○伊東委員 モウ一點、此ノ免許關係ニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマス、購買組合及ビ消費組合ハ免許外ト考ヘテ宜イノデアリマスカ、モウ一ツハ産業組合ノ白米販賣ノ點デアリマスルガ、從前通りデ差支ハナイ、是ガ當然ト考ヘテ居リマス、隨テ白米販賣ハ激増スルモノト思ハナケレバナリマセヌガ、此ノ點ニ付テ御伺致シマス

○周東政府委員 第一點ノ御質問ニ對シマシテハ、御話ノヤウニ購買組合、消費組合等ハ此ノ許可ノ外ニ置イテ居リマス、ソレカラ販賣組合ノ白米ノ小賣ニ付キマシテハ、第一條ノ關係ニ於キマシテ今後許可ニ掛ケテ參リマス、隨テ其ノ許可ヲ致シマス

場合ニ能ク其ノ地方ノ米穀ノ配給ノ事情等ヲ考慮致シマシテ、許可ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 米ガ不足スルコトハナイト私ハ信ジテ居リマスガ、萬一米ノ品不足ノ起ツタ場合ノ配給統制ヲ、一應考ヘテ置カナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、ソコデ最高最低ノ公定相場ノ制度ガアル以上ハ、農家ノ賣惜ハナイノガ建前デアリマス、隨テ品不足ノ時ニハ却テ中間機關カラ賣惜ガアリハシナイカト想像サレルノデアリマス、ソコデ斯ウ云ツタ品不足ヲ生ジタ場合ニハ、政府ノ持ツテ居ル在米ヲ放出スルコトニナルノデアリマスガ、尙ホ凶作乃至在米不足ノ事態ガ惹起スレバ、買溜若クハ賣惜ニ對シテハ移出又ハ販賣ヲ強制スルコトガ出來ルノデ、午前中御尋致シマシタ本法第四條ノ發動ガアルト思フノデアリマスガ、農家ノ持米ニ對シテハ此ノ第四條ノ發動ハ、下ノ程度ニ法ノ發動ガアルノデアリマスカ、此ノ程度ヲ明瞭ニシテ置クコトガ必要ダト思フノデアリマス

○周東政府委員 農家ニ對シマシテ第四條ノ規定ヲ發動スル場合ニ付テノ御尋デアリマスガ、斯ノ如キ個人ニシテ、配給ニ携ツテ居リマセヌ者ニ付テノ命令ハ、極端ニ米

穀ノ需給ガ急迫シタ場合ニ限ルノデアリマス、ソレガ如何ナル場合カト云フ具體的ノ場合ハ、其ノ場合々々ニ依ツテ自ラ異ルト思ヒマス、要ハ本條ハ何處マデモ傳家ノ寶刀デアリマシテ、極端ナ場合ニ農家ニ適用スル、斯様ニ御諒承願ヒマス

○伊東委員 酒造用ノ米、及ビ菓子用ノ米ソヤウナ特殊米ノ價格決定ヲ、ドウサレルノデアリマスカ、是ハ地方ニ依リマスト重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、本法及ビ米穀統制法ト睨合セテ、一應聽イテ置ク必要ガアラウト思フノデアリマス、更ニ是等ノ米ハ市場ヲ通過セシムル必要ハナイト考ヘテ居リマスガ、政府ハドウ御考ヘデアリマスカ

○周東政府委員 酒造米ノ取引關係ニ付キマシテハ、市場ノ地域内ニ其ノ取引關係ガ起リマス場合ニ於テハ、理論的ニ申シマスト、ヤハリ市場ヲ通ル、即チ其ノ酒造米ノ取引ヲ爲シマス米問屋等ガ市場員デアリマス場合ニ於テハ、理論上ハヤハリ市場ヲ通ルモノダト考ヘテ居リマス、併シナガラ先程申シマシタヤウニ、市場ニ於ケル取引ト云フモノハ原則的ニ場合ガ限ラレテ居リマス、實際問題トシテハ酒造米等ガ市場ノ取引ニ依ラザル場合ハアリ得ルト考ヘテ居リ

マス、ソレカラ先程ノ酒造業者ニ對スル問題デアリマスガ、是モ餘程米穀ノ需給ガ窮屈ニナリマシテ、節米等モ積極的ニヤラナケレバナラスト云フコトニナリマスト、自ラ酒造業者ニ對シテモ米ノ價格問題トカ、或ハ數量ノ制限トカ云フヤウナ問題ガ起ル場合ガアルカト思ヒマス

○伊東委員 米穀統制法ニ依リマスト最高價格、最低價格ガ決ツテ居ルノデアリマス、所デ酒造米ハ年ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、大體昨年ノ如キハ四十圓若クハ四十二圓致シテ居リマス、或ハ高イ時ニハ四十五六圓モ致スノデアリマス、是ハ最高價格ガ決定サレテ居ツテモ之ヲ外ニ考ヘテ宜イノデアリマスカ、之ヲ明瞭ニシテ置キタイト思フノデアリマス

○周東政府委員 酒米ハ特殊ナ用途ニ當テラレルモノデアリマスルガ、米ノ需給配給ノ圓滑ト云フ、總體的ナ食糧問題ト關係シマス時ハ、ヤハリ總體的ノ數量ヲ見ルノガ妥當デアラウト考ヘマス隨ヒマシテ、酒造米ノ特殊價格ト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、其ノコトガ他ノ一般米價ニ及ボスト云フヤウナコトガアレバ、ヤハリ此ノ方面ニ付キマシテモ、價格ニ付キマシテ、必要アル場合ニ制限ヲ致スコトガアリ得ルト御

承知ヲ願ヒタイ

○伊東委員 此ノ價格ヲ制限サレルト云フコトニナリマスルト、酒造業者ノ一大脅威ガ起リハシナイカト思フノデアリマス、是ハ米ガ安イ時ニハ宜イノデアリマスルケレドモ、今ノヤウナ情勢、或ハ今年來年ニナルト、普通ノ米デサヘモ、漸ク斯ウ云フ工合ニ抑ヘテ初メテ釘付ケサレテ、維持サレテ居ルト云フヤウナモノデアリマス、斯ウ云ツタヤウナ特殊米ニ對シテハ、何等カノ方法デ緩和融通ノ出來ル途ヲ御開キニナツテ置イタラ如何デアリマスカ

○周東政府委員 是ハ言葉ガ少シ足りマセヌデシタガ、最高最低價格ヲ各銘柄ニ付テ決メマスカラ、普通ノ場合ニ於キマシテハ、酒米ニ付テハ自ラ除カレルト思ヒマス、併シ飯米等ノ非常ナ窮迫ノ場合ニ於キマシテハ、別ニ其ノ場合ニ於ケル情勢ヲ考ヘナクチャナラスト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、普通ノ場合ニ於キマシテハ、酒米ハ銘柄別ニ決メテ、最高價格、最低價格カラ別ノ取扱ヲ受ケルト云フコトニ相成ル譯デアリマス

○伊東委員 モウ一點御尋致シマシテ私ノ質問ヲ終了致シマス、是ハ農林大臣ト、商工大臣ガオイデニナツテ居ラナケレバ政務

次官デモ差支アリマセヌ、最後ノ結論的質問デアリマス、商工大臣ガオイデニナツテ居レバ、私ハ二十九條ノ附帶事業ノ問題ニ付テ、ハツキリ突キ止メテ置キタイト思ヒマスルケレドモ、政務次官ガ午前中ニオイデニナツテ御答ニナツテ居ルノデアリマスカラ、一番大切ナ第二十九條ノ問題ニ觸レマセヌ、本案ハ米穀配給ノ全面的統制ヲ狙ツテ居リマス、サウシテ米穀取扱業者ヲ總テ許可制トシテ、市場ヲ境ニシテ、産組ハ市場ヘ賣リ、米穀商ハ市場カラ後ロノ販賣ニ一方的ニ制限サレテ居ルノデアリマス、ダカラ大局的ニハ産組モ商組モ相剋摩擦ハ是デ排除サレルコトニ理窟ノ上デハナルノデアリマスガ、併シナガラ此ノ議案ガ出レバ出ルダケ、益、紛糾激化ヲ致シマシタコトハ、午前中モ申上ゲタ通りデアリマス、現政府ノ總親和ト云フモノト一致シナイ點ヲ洵ニ遺憾ニ考ヘマス、仍テ此ノ機會ニ商人ノ立場ヨリハ、商權ヲ獨立セシメ、産組ノ進出點ヲ明ニスルコトガ極メテ適切ナ時期デアルト私ハ思フノデアリマスルガ、此ノ對策ハ如何デアリマスカ、今一ツハ集荷機能ノ刷新ト、合理統一ノ如キハ極メテ必要ナコトデアリマス、斯ノ如キ事業ハ現在ノ産業組合ノ基礎ヲ益、強化シテ行ク所ニ、斯

ウ云ツタヤウナ方面ニ革新性ガアルノデア
リマス、ソコデ米專賣ニナレバ此ノ點ガ順
調ニ活動シテ、更ニ生産擴充及ビ指導ノ所
マデ行クコトガ出來ルノデアリマス、農村
ノ明朗化ハ共存共榮ノ産業組合ノ適正ナル
發達ニアルノデアリマス、農民ノ救済モ實
行性ノアル彈力性ノアル自立自助ノ大精神
ガ一番必要ダト私ハ思フノデアリマス、配
給過程ニ於ケル操作上ノ經費ノ輕減ノ立場
カラハ、商組ノ機構ノ整備活動ト共ニ簡易
ニシテ便利ナ、而シテ消費者ノ日常主食物
デアル米ノ配給ヲ圓滑ニスルコトガ期待サ
レルノデアリマス、茲デ考ヘベキハ現在ノ
商人ガ多ウ過ギル、殊ニ中小商工業者ノ惱
ミハ茲ニアルト私ハ思フノデアリマス、此
ノ多ウ過ギテ居リマスル所ノ中小商工業者
ノ調整ニ對シテ、或ハ轉業サスル、強制ス
ルト云フヤウナコトハ、國策上ノ最モ大キ
イ問題デアリマス、勞力不足ヲ懸ヘテ居ル
今日ニ於テ小サイ商人界ニハ非常ニ失業シ
テ、餘ツテ居ルト云フヤウナ洵ニ矛盾ナ
現状ガアルノデアリマス、ダカラ此ノ
過剩人員ト、不必要ナ不正ナ商業組織
ヲ如何ニ改善スルカト云フ點デアリマ
ス、商人ノ不滿一掃モ私ハ懸ツテ此一點
ニアルト考ヘルノデアリマス、米穀商ノ如キ

ハ米專賣ニ依ツテ初メテ救ヒ得ラレルモノ
ト私ハ思フノデアリマスルカラ、午前中モ
熱心ニ米專賣論ヲ、御迷惑デハアリマシタ
ケレドモ、主張致シタノモ茲ニアルノデア
リマス、即チ米專賣ハ不滿ヲ持ツテ居ル米
穀商ヲ助ケルコトモ出來、又産業組合ニ對
シテモ其ノ機能ヲシテ益、適切ニ利用スル
コトガ出來ルノデ、洵ニ結構ナコトダト云
フコトヲ考ヘテ居リマス、前段ノ産業組合
ニ關スル問題ニ付テハ農林大臣カラ後段ノ
商業組合及ビ小サイ商人ノ救済案ニ對スル
大キナ國策ノ見地カラ商工政務次官ヨリ一
ツ是ダケハ時間ヲ取ツテモ構ヒマセヌカ
ラ、ユツクリ御話ヲシテ戴キタイト思フノ
デアリマス

○櫻内國務大臣 産業組合ノ問題ニ付キマ
シテハ度々申上ゲマシタ通り、此ノ米ノ問
題ニ關スル限リ農民ノ委託ヲ受ケテ、其ノ
委託セラレタル米ヲ市場若クハ消費者ニ賣
却ヲ致スト云フ建前デアリマスガ故ニ、此
ノ市場ニ於キマシテモ賣リ一方、即チ委託
サレタ米ヲ賣ルノガ本能デアリマスガ故
ニ、之ヲ賣リ一方ト決メテ制限シタノデア
リマス、隨ヒマシテ消費者階級ノ商業團體
ノ人トモ摩擦ハ起リマセヌ、又從來ノ米穀
ヲ取扱ツテ參リマシタ米穀商人ハ販賣組合

ガ市場員ニナル結果、販賣組合ノ方ニ集荷
機能ガ完備シテ居ルカラ、其ノ方ニ大イニ
集ツテシマツテ、自分達ノ範圍内ニ於ケル
所ノ集荷ガ減ル、取扱ガ減ルト云フ風ニ御考
ヘニナツテ居ル人モアリマスケレドモ、實
際問題ニ於テ今日既ニ産業組合ノ方ニ於キ
マシテハ相當完全ナ集荷機構ヲ持ツテ居リ
マシテモ尙ホ二割何分デアリマス、尙ホ此
ノ米穀取扱業者ノ方ガ七割以上ニ達シテ居
ルノデアリマス、ソレデ若シ産業組合ノ販
賣組合ガ市場員ニナリマセヌデモ、自由ニ
市場員ヲ通ジテ賣ルコトガ出來ルノデアリ
マス、故ニ是ガ市場員ニナリマシテ平均的
ニ順次賣ツテ行クト云フコトニナリマス方
ガ、即チ米ノ價格ノ上ニ於キマシテモ、配
給ノ上ニ於キマシテモ、便利デアリマスノ
ミナラズ、米取扱業者ノ諸君ニ於カレマシ
テモ、却テ其ノ方ガ將來ハ宜クナルデアラ
ウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ本
會社ガ出來ルナラバ、其ノ市場員ニ對シテ
相當ナ便宜ノ方法ヲ講ズル譯デアリマスガ
故ニ、一層其ノ方ニ對シマシテ有利ナ立場
ニナラレルダラウト、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス、而シテ商業組合ノ問題ニ對シマシテハ、
商工當局ニ御質問デアリマスカラ、私ハ是
ハ答辯致シマセヌガ、專賣問題ニ對シマシ

テ更ニ御高調デアリマスガ、此ノ專賣問題
ニ對シマシテハ、先程モ御答申上ゲマシタ
シ、昨日モドナタカニ對シテ御答申上ゲマ
シタ通り、是ハ大イニ研究ヲ致シテ、若シ
幸ニ其ノ理想ノ實現ガ出來ルコトニナリマ
スレバ結構ナコトデアツテ、吾々ト致シマ
シテ十分ニ研究調査ヲ致シテ、若シ適當ナ
リト致スカラバ、其ノ法案ニ對シテ進ミタ
イトモ考ヘマスケレドモ、今日只今ノ所デ
ハ、此ノ法案ニ依ツテ配給統制ヲシテ戴ケ
レバ、ソレデ私ハ調整ガ取レルト斯様ニ考
ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲルノ外ハナイノ
デアリマス

○今井政府委員 只今伊東君カラノ御尋デ
アリマスガ、此ノ米ニ關スル限リニ於キマ
シテハ、先ヅ此ノ程度ノ取扱デ商工業者モ
我慢ヲスルコトガ出來ルデアラウ、斯ウ私
共ハ考ヘマシタ、併シ若シ米一ツノ問題デ
商業者ト産組トノ爭ガ解消スルノデアリマ
スルナラバ、是ハ又何ヲカ言ハンヤデア
リマス、今日ノ現勢カラ見マスケレバ、米ダ
ケノ問題デナクシテ、全面的ニ商業組合ト
産業組合トノ軋轢ト言ヒマスカ、相剋ハアル
ト思ヒマス、此ノ根本問題ヲ解決スルノデナ
ケレバ、米ノ問題ダケ一ツ解決シテモ、イカ
ナイノデハナイカ、根本的ノ問題ヲ考ヘル

ノガ一番宜イノダ、斯ウ考ヘマシテ、先般モ此ノ米穀法ノ協議ノ時ニモ、農林當局ニモ相談ヲ致シマシタ、成ベク早イ機會ニ於キマシテ其ノ方針ニ向ツテ進ミタイト思ヒマス、私ノ私見ヲ申上ゲテハ甚ダ恐入リマスガ、私ハ本當ニサウ考ヘテ居リマス、今産業組合ハ商人ノ領域ニ喰込ミ、商人ハ産業組合ヲ目ノ敵ノヤウニ考ヘテ居リマスルガ、元々ハ同ジ國ノ國民デアリ、同ジ畑カラ出タ所ノ人間デアル、是ガ互ニ争ツテ行カケレバナライノデアラウカ、産業組合ガ出來マスレバ出發點カラ考ヘテ見マシテモ、生産カラ消費ヘト云フ過程カラ致シマシテ、産業組合ハ發達シタノデアリマセウ、サウシタナラバ商人ノ領域ニ是ガ段々喰ヒ込マレテ行カレルト云フコトモ明瞭デアリマス、其ノ時ニ此ノ商人ハ何處ヘ行クノデアリマセウ、商人ハ偶然ニ出來タノデハナイ、農村ノ生活ノ苦シイ間カラ致シマシテ、次男三男ガ生レテ、之ヲ別家ヲ出サウト致シマシテモ、別家ヲ出ス土地ハナイ、已ムヲ得ナイカラ此ノ次男三男ガ商人トナリ、俸給生活者トナツテ他處ニ行ク、此ノ商人ハ農村ノ子弟デアル、此ノ子弟ヲ倒シタ時ニ是等ノ人ハ何處ニ行ク、此ノ次男三男ハヤハリ農村ニ歸ラナケレバナラス

ト致シマスナラバ、農村ヲ救フ一ツノ方法ト致シマシテモ、此ノ中小商業者ノ生キテ行ク道ヲ考ヘネバナラスト私ハ思ヒマス、仍テ獨リ此ノ米ノ問題ニ限ラズ、全面的ニ此ノ産組ト商人トノ間ノ摩擦相剋ヲ解消スルコトニ努力致シタイト思ヒマス、既ニ農林省ニ於キマシテモ同ジ心持ヲ以チマシテ成ベク速ニ其ノ方策ヲ講ズルト云フコトニ協議ヲ今進メツツアルノデアリマス、之ヲ以テ伊東君ノ御質問ニ答ヘマス

○伊東委員 長時間質問致サセテ戴キマシテ洵ニ恐縮デアリマス、是デ打切りマス

○添田委員長 杉山君一寸豫メ御願シテ置キマスガ、成ベク此ノ法律案ニ直接關係ノ御質問ヲ願ヒマス

○杉山委員 承知致シマシタ、多數ノ同僚諸君ノ御質問デ大體法案ノ全貌ガ明ニナツテ參リマシタ、併シ尙ホ伺ツテ見タイ點モアリ、且ツ疑念ヲ持ツテ居リマス點モゴザイマスノデ、重複ヲセナイヤウニト云フ委員長ノ御言葉モゴザイマスノデ、私モ其ノヤウニ進メテ參リタイト存ジテ居リマス、ガ併シ問題ハ同一問題デゴザイマシテモ、多少方面ヲ變ヘ、角度ガ變ツテ見テ居リマスルノデ、其ノ點ハ豫メ御諒承戴キマシテ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、本案ハ

米ノ配給統制ニ關シマスル法案デゴザイマスルガ、配給ヲ致シマスルニハドウシテ見テモ生産ト消費ト云フモノヲ一貫シテ考ヘテ行カケレバナライト存ジマス、私ハサウ云フ意味デ一貫シテ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、先ヅ初メニ政策ノ方面ヲ御伺致シマシテ、次ニ事務的ナ條項ニ付テ御伺ヲ致シテ見タイト存ジテ居リマス、ソコデ第一ニ御伺致シテ見タイト思ヒマサル點ハ、本法案ガ米穀政策ノ理想的ナモノカドウカデアリマス、現在トシテハ是レ以上ノモノヲ望ムコトヲ得ナイ案デアル、斯ウ云フヤウニモ今伊東サンノ米穀專賣ニ關シマスル御尋ニ對シテ大臣ノ御答ガアツタヤウデアリマスガ、米ハ申スマデモナイ國民的食料デアリ、又國民經濟ノ點カラ考ヘテ見テモ、國民所得ノ約一割ヲ占メテ居ル農家經濟カラ申シマスナラバ約五割ヲ占メテ居ル、斯ウ云フヤウニ重要ナモノデゴザイマスルノデ、十分慎重ニ考慮致シテ米穀政策ト云フモノヲ立テテ行カケレバナライ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデゴザイマスルガ、今日マデノ米穀政策ノ進ンデ參リマシタ跡方ヲ見マスルト、是ハ甚ダ失禮ナ申分デアルカモ分リマセヌガ、ドウモ行付キバツタリ主義ト云フヤウナ感じガ致スノデアリマ

ス、サウシテ行付キバツタリ主義デアルカラ、朝變幕改ト云フヤウナ嫌ヒモナイデハナイカト思フノデアリマス、例ヘテ申シマスナラバ、米穀法ガ出來タ、併シ之ニハ既ニ御承知ノヤウニ賣買ノ基準ガナイ、ソコデ米穀統制法ト云フモノニナツタ、米穀統制法ガ出來テ、如何ニモ最低最高ノ買上或ハ賣渡ノ基準ガ出來マシタケレドモ、外地米ニ對スル統制ガ缺ケテ居ツタ爲ニ、遂ニ米穀自治管理法ト云フ法律ニナツタ、米穀自治管理法ガ出來テ、内地外地ヲ通ジテ統制ガ出來テ參リマシタガ、今日ノ情勢ニ際シマシテ、色々論議ガゴザイマシタヤウニ、最高米價ノ釘付ケヲシナケレバナライ、基準米價ノ決定ニハ、マア法律的ニハ差支ヘナイデゴザイマセウケレドモ、事實ハ動搖ヲ來タシテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ狀態ニナツテ參リマシタ、今回ノ米穀配給統制法ト云フモノガ出來マスルニ付テモ、是ハ農林省ガ米穀政策ノ理想的案トシテ御考ニナツタト云フヨリモ、寧ろ是ハ臺灣米管理ノ問題ガ起ツテ來テ米穀配給株式會社ト云フモノガ出來、ソレガ變化シテ此ノ案ニナツタト云フコトハ申スマデモナイコトグラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ米穀政策ノ事情ヲ見マスルト、一步々前

進ハ致シテ居リマス、農林當局ノ御努力ニ

依ツテ段々理想ニハ近付キツアルヤウニ

ハ思フノデアリマスガ、唯打突カツテハ之

ヲ變更シ、行キ當ツテハ之ヲ改正シテ行ツ

タ、斯ウ云フヤウニ見エマスルノデ、私ハ

此ノ議場ニ於キマシテ同僚議員カラモ色々

御話ガゴザイマシタガ、モウ今日ハ一ツ根

本的ナ米穀政策ト云フモノガ立テラレナケ

レバナライ時期ニ到達シテ居ルノデハナ

イカト思ヒマス、私ハ米專賣ニ付テハ色々

同僚議員カラ質問ガアリ、大臣カラ懇切ナ

ル御答辯ガゴザイマシタカラ、是レ以上米

ノ專賣ニ付テハ御尋シヨウト致シマセヌ、

併シドウシテ見テモ今日ハサウ云フ時期ニ

到達シテ居ルノデハナイカ、ソコデ私ノ御

伺致シタイコトハ、大臣ハ此ノ案デ已ムヲ

得ナイノダ、今ノ場合はヨリ適當ナ方法ハ

ナイノダ、米穀專賣モマア宜イデアラウカ

ラ研究スル、斯ウ云フ御話デゴザイマスル

ガ、私ハ唯單ニ議場ニ於キマスル所ノ通り

一遍ノ應答デナシニ、サウ云フヤウニ御考

ニナリマスルナラバ、近い將來、少クトモ

今年ノ中ニデモ米專賣ニ關シマスル所ノ研

究委員會トデモ申シマスルカ、ソウ云フヤ

ウナモノヲ御作りニナル御所信ヲ御持チニ

ナツテ居ルカドウカ、先ヅ此ノ點ヲ第一ニ

御伺シタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 本案ガ理想的案ト考ヘル

カドウカ、自分ノ見ル所デハ臺灣移出米管

理ヲ行フ結果トシテ、是ガ起ツタノデハナ

イカト思フガドウデアルカ、斯ウ云フ風ナ

御尋デアリマスガ、本案ハ臺灣移出米管理

トハ全ク切離シテ考ヘタモノデアリマス、

當初カラ申上ゲマス通り、此ノ困難ナ非常

ニ難カシキ米穀問題ヲ解決致シマス上ニ於

テ、種々研究ヲ致シタ結果現在ノ狀態ニ於

テ、本案ニ依ツテ之ヲ解決シ得タイ、斯様

ナ信念カラ之ヲ提案致シタノデアリマシテ、

臺灣米移出管理或ハ朝鮮米ノ取扱ト云フ

コトハ、日本國內ニ於ケル所ノ米穀ノ一

元的統制ヲ致ス機關ガ出來マシタ以上、

當然此ノ機關ニ取扱ハセルコトガ至當デ

アルトハ考ヘテ居リマスケレドモ、是ガ

主タルモノデ本案ヲ提案致シタ譯デハ決

シテゴザイマセヌ、ソレカラ專賣ニ對シ

テハ贊成ノヤウナ意見デアルケレドモ、今

調査研究シタイト云フ風ナ意向デ、何等具

體的考ガナイヤウデアアルガ、專賣ニ關ス

ル所ノ委員會デモ設ケテ研究スル意思ガ

アルカナイカト云フ御話デアリマスガ、

私ハ度々繰返シテ申シマス通り、專賣ニ依

ルカ、或ハ是ト同様ナル國營ニ依ツテ、一

ツノ國策會社ニ依ツテ全部ヲ統制シテ行ク

他ノ方法モ考ヘラレルノデアリマス、何レ

ニ致セ、之ヲ其ノ程度マデ進メテ、米穀問

題ヲ根本的ニ解決スルト云フ議論ハ古クカ

ラアツテ、歷代ノ農林當局ガ非常ニ研究ヲ

致サレテ居リ、自分モ亦此ノ問題ニ對シテ

深ク研究致シテ居リマス、併シナガラ色々

ナ角度カラ尙ホ研究ノ餘地ガ殘サレテ居ル

ノデアリマシテ、只今此ノ專賣ニ對スル所

ノ法案ヲ出スカ出サスカト云フコトニ付キ

マシテハ、マダ自分ノ考ガ決ツテ居リマセ

ヌ、即チ現在ニ於キマシテハ本法案ニ依ツ

テ配給統制ハ行ヒ得ル、斯様ナ信念ヲ以テ

提案ヲ致シタノデアリマスカラ、御審議ヲ

願ヒタイ、斯様ニ申シタ譯デアリマス、隨

ヒマシテ此ノ專賣ノ問題ニ對スル所ノ委員

會ヲ置クカ置カスカト云フコトニ付キマシ

テハ、凡ソ見當ガ附キマシテ、專賣ノ問題

ニ進ムコトガ適當ナリト云フ自分ニ見透シ

ガ附キマシタ時ニハ、直チニソレハ實行致

シタイト思ヒマスケレドモ、今此ノ席ニ於

テ、之ニ對シマシテドウ取扱フカト云フコ

トヲ申上ゲルコトノ出來ナイノヲ、甚ダ遺

憾ト致シマス

○杉山委員 後段ノ點ニ付テハ、私ノ言葉

ガ惡カツタカ、大臣ニ少シ聽達ヒガアツタ

ヤウデアリマス、私ハ米專賣ノコトヲ大臣

ガ腹ニ入ツタ時ニオヤリニナルト言ハレル

コトニ對シテハ、ソレハ結構デアツテ、今

ソレヲ兎ヤ角申スノデハナクテ、米專賣ナ

リ或ハ他ノ方法デ米ヲ國營ニスルカ、サウ

云フ點ニ付テ研究スル必要ガアルト再々御

話ニナツタノデ、ソレ程米ニ對シテ熱意ヲ

持タレ、此ノ問題ニ付テ御研究下サルト云

フナラバ、唯此ノ議場デ研究スルト言ハレ

ルダケデハナシニ……

〔委員長退席、長野委員長代理著席〕

何カソレニ對スル具體的ナコトヲヤツテ欲

シ、サウスレバ恐ラク此處ニ居ル多クノ

專賣ニ關スル發議ヲ致シマシタ議員達モ、

非常ニ心ヲ強クスルノデハナイカ、斯ウ云

フヤウニ感ジマシタノデ、此ノ點ヲ實ハ御

伺シタ譯デアリマス

○櫻内國務大臣 只今米穀ノ統制問題ニ對

シマシテハ米穀統制委員會等ヲ設ケマシテ、

常ニ研究ヲシテ戴イテ居ルノデアリマスガ、

其ノ以外ニモ米穀ヲ中樞トシテ研究スル機

關ガ色々農林省ノ中ニゴザイマス、此ノ機會

ニ於テ更ニ專賣問題ヲ一ツノ主題トスル委

員會ヲ設ケルカ設ケスカト云フコトニ付キ

マシテハ、マダ本日此處デ御答致ス順序ニ

ナツテ居リマセヌケレドモ、御趣旨ノアル

所ハ能ク了承致シテ居ルノミナラズ、私ト致シマシテモ深く關心ヲ持ツテ居ル者デアリマシテ、若シ見透シガ凡ソ付キマシタ時ニハ、直チニ左様ナ委員會ヲ設ケテ研究ヲ御願致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○杉山委員 名稱ハ何デモ結構デゴザイマス、從來ゴザイマス米穀制度調査委員會デモ結構デゴザイマス、ドウカ米專賣ニ關スル題目ヲ捉ヘテ一層御研究戴キタイト云フコトヲ御願シテ置キマス、第二ニ農林省ト商工省ニ御尋致シタイノデアリマスガ、少シ愚問ニナルカモ知レマセスガ、聽イテ戴キタイト思ヒマス、本法案ノ提案理由書ニモ書イテアリマスヤウニ、米ヲ投機ノ具ニ供スルコトハ絕對ニ許スコトハ出來ナイコトデアリマス、提案理由ノヤウニ投機取引ヲ抑制スルト云フコトハ非常ニ結構ナコトデアリマス、而シテ今マデノ清算市場ト云フモノハ、投機的ナ取引ニ用ヒラレタト云フコトモ私ハ能ク認メルノデアリマス、又統制時代ニ入ツテ清算市場ノ賣買高ガ近年急激ニ減ツテ來タ

〔長野委員長代理退席、委員長著席〕

ニハ一億二千四百三十二万八千石、若シ前ノ十二ヶ年平均ヲ一〇〇ト見マスト五・三ニ減ツテ居リマス、九年ト十年トヲ見マスト十年ノ如キハ「パーセンテージ」カラ致シマスト三九・三デ、非常ナ減リ方ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フ譯デ自然消滅ノヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマスガ、私ハ投機取引デアルト云フコト、或ハ統制時代ニ入ツテ段々清算市場ハ自然消滅ノ形ニナル、此ノ事ト別問題ニ致シマシテ、清算市場ノ機能ガ今日マデドウ云フ働キヲシテ居ツタカト云フコトニ付テ御伺シタイノデアリマス、申スマデモナク清算市場ノ機能ト申シマスルモノハ二ツノ機能ヲ持ツテ居ル、第一ハ價格ノ指導作用ヲスルコトデアリマス、第二ハ價格ノ保險作用ヲ致スコトデアリマス、此ノ二ツノ作用ニ依ツテ米價ガ平準化ヲシテ居ル、詰リ實米デアリマスタラバ、急激ニ上リ急激ニ下ル實情ヲ持ツテ居リマスガ、清算市場ハ此ノ間ニ立ツテ早く上リ下リヲスル結果、之ヲ平準化スル機能ヲ持ツテ來テ居ツタ事實ヲ見ルノデアリマス、例ヘバ歴史的ニ考ヘテ見マシテ日本ノ米穀市場ノ最初ノモノデアリマス大阪ノ堂島ノ歴史ヲ見マシテモ、或時ハ正米バカリヲ致シテ居リマシタガ、併シ正米ダ

ケヲヤツテ居リマスト、今申上ゲマスルヤウニ急激ナ變動ガ來ルノデ、遂ニ清算市場ヲ許シタ、又弊害ヲ認メテ之ヲ禁止シタ、又許シタ、斯ウ云フ例ハ徳川時代ニモ數回アルヤウニ覺エテ居リマス、弊害モアルケレドモ事實米ノ値段ノ平準化ヲ來シタト云フコトハ是ハ事實デハナイカ、ソコニ私ハ疑問ヲ持ツノデアリマス、本法案ハ投機ヲ廢メサセテ、正米ニ依ツテ適正價格ヲ取引ヲサスノダト云フガ、ドウモ清算市場ノ歴史ヲ見マシタ時ニ、其ノ正米ノ急激ナ價格變動ヲ矯正シテ居ル事實ガアリマス、私ハ商人デナイカラ能ク分ラナイガ、サウ云フ事實ヲ見マシタ時ニドウモコニ矛盾ガアルヤウナ氣ガ致シマスノデ、實ハ此ノ御問ヲ致スノデアリマス、古イ徳川時代ノコトハ拾テ置キマシテ、明治三十三年カラ昭和十年ノ三十六年間ニ清算市場デ米價ガ上リ下リヲシタ回数ヲ見マスルト十一回アルヤウデアリマス、正米市場ノ米價上下ノ狀態ヲ見マスト、十三回アリマス、併シ其ノ十三回ノ中大正十二年ニ二回動イテ居リマスノハ震災ノ時ノ米價ノ上下デゴザイマスノデ、是ハ普通ニ考ヘルコトハ出來ナイ、是ハ異常ノ事例トシテ、之ヲ除キマスルト、ヤハリ清算市場ト同ジヤウニ十一回上下ガアツタ

ト云フコトニナリマス、其ノ十一回ノ値幅ヲ見マスルト、何レモ正米ノ値幅ヨリモ清算市場ノ値幅ノ方ガ低イト云フ事實ニナツテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シマスナラバ、大正二年ガ上ツテ大正四年ニ下ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ時ノ定期ノ値幅ガ五圓五十五錢、所ガ正米ノ値幅ハ八圓三十八錢トナツテ居リマス、大正四年ガ今申シタヤウニ四シデ八年ニ上ツテ居リマス、此ノ上リ下リノ値幅ヲ見マスルト、清算市場ノ方ハ二十四圓三錢デゴザイマスルノニ、正米ノ方ハ三十二圓八十錢ニナツテ居ル、斯ウ云フヤウニ一々申上ゲルコトハ面倒デゴザイマスカラ省略致シマスガ、昭和ノ統制時代ニ入リマシテモ、同一ノ傾向ニアルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、昭和六年ニ米ノ値段ハ十九圓七十八錢デ非常ニ低ウゴザイマシタ、所ガ是ガ段々上ツテ參リマシテ昭和十二年ニハ三十三圓四十錢ニ上リマシタ、此ノ清算市場ノ値幅ハ十圓六十五錢デアリマスルガ、同ジ昭和六年ト十二年ノ間ニ於キマスル正米ノ値幅ハ、十一圓五十四錢ニナツテ居ルノデアリマスカラ、何レヲ見マシテモ清算市場ノ値幅ヨリ正米市場ノ値幅ノ方ガ強イノデアリマス、是ハ單ニ年ヲ通ジテノ値幅ノ變動バカ

リデゴザイマセスデ、月次別ニ見マデシモ、或ハ日次別ニ見マシテモ、同様ニ米價ガ平準化シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ統制時代ニ入ツテモ清算市場ハ米價ノ平準化ト云フ機能ヲ發揮シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、此ノ配給統制法ニ依ルト清算市場ヲ全部閉鎖シテシマフノデアル、サウスルト一方最高最低ノ米價ヲ以テ抑ヘテ居ルト云ツテモ、其ノ間ニ於テ今言フヤウナ平準化機能ト云フモノヲ無クスルコトハナイデアラウカ、私ハ市場關係ハ能ク知ラナイノデアリマスケレドモ、今私ガ引例致シマシタコトハ、日本學術振興會デ鐸々タル其ノ道ノ學者達ガ御研究ニナツタ「米穀取引所」機能「中ニ書イデアリマス、勿論投機ヲ無クスルコトハ結構デス、先程カラ申シマスルヤウニ食糧ヲ投機ノ具ニ供スルコトハ萬々宜クアリマセヌ、併シ投機ニ供スルト云フ問題ハ別ニシテ、米價ヲ平準化スル機能ガアルト云フコトナラバ、一應是ハ考ヘナケレバナラス、本法案ニ於テ之ヲ全部除ケテモ、丁度徳川時代ニ一旦廢シタガ又之ヲ置イタ、斯ウ云フヤウナコトニナラナイデアラウカ、此ノ事實ヲ商工省ナリ農林省ハドウ云フヤウニ御覽ニナツテ居ルデアラウカ、私ハ其ノ點ニ疑念ヲ持ツテ居リマスノデ、

御伺スル譯デアリマス

○櫻内國務大臣 只今杉山君ノ御話ニナリマシタノハ、清算市場ガ從來米價ニ對シテドウ云フ働キヲ致シテ居ツタカト云フコトニ付テ、正米市場ノ取引ヨリモ清算市場ノ取引ノ方ガ値幅ガ少ナク賣買サレテ居ルデハナイカ、隨テ價格ノ平準化ニ對シテ相當清算市場ハ役立ツテ居ルデハナイカ、然ルニ何故ニ此度清算市場ヲ廢止スルノデアラカ、斯ウ云フ御質疑デアツタト思フソデアリマス、私モ從來ノ清算市場ガ價格整調ノ上ニ或種ノ機能ヲ持ツテ居ツタコトハ、確ニ認メマス、ナゼナラバ米ガ非常ニ不足シタ場合ニ正米ヲ買ハウト思フト、正米ガナイカラ非常ニ暴騰スル、其ノ時ニ清算市場デハ全國ニアル所ノ米ノ數量ニ目ヲ著ケテ買ツテ持ツテ來レバ、或ル程度高ク賣レルノダト云フ考ガアリマスカラ、現物ハナクトモ先物ニ對シテ或ル種ノ値段ヲ以テ賣ルト云フコトガ出來マスカラ、其ノ市場ノ暴騰ヲ抑ヘル力ガアル、又低落スル場合ニ於キマシテモ、是ハ餘リ安イ、見當違ヒデアル、故ニ是ハ此ノ際ニ於テ買ツテ置クガ宜イト云フノデ、定期清算市場デテ買フ人ガ出テ來ル、此ノ關係カラ今御話ノ通りノ値幅ヲ狭メタト云フ效果ハアツタラウト

思ヒマス、私モ左様ニ考ヘルノデアリマス、併シナガラ御承知ノ如ク、現在マデノ米穀取引所ニ於ケル所ノ清算取引ノ狀態ヲ見マスルト、左様ナ時ノ作用ヲ致スヨリモ、其ノ大部分ハ、斯ウ申スト甚ダ如何カト思ヒマスケレドモ、投機の意味ニ於テ賣買サレテ居リマス、即チ高クナルト云フ見當ヲ付ケルト、例ヘバ百石買ヒマス、而シテ其ノ翌日デモソレガ一石ニ對シテ幾ラカ利ガ乗ツテ來タト云フコトニナルト、直グソレヲ賣渡シマス、サウスレバ其ノ差金ハ其ノ翌日直チニ受取レルノデアリマスカラ、遂ニ是ガ投機ノ目的トナツテ、投機取引ト云フモノニ主力ガ注ガレテ居ツタト云フ結果ニナリマス、論ヨリ證據、御手許ニ出テ居リマス表ヲ御覽下サイマシテモ、亦今ノ杉山君ノ御話ニナツタ所ニ依リマシテモ、清算取引ノ數量ト云フモノハ非常ナ數ニ上ツテ居リマス、日本全國ノ米穀ノ石數ガ六千万石位ノ時代ニ於テスラ、二百萬石ヲ超過シテ居ルノデアリマス、最近ニ於テモ九千万石トカ一億石、又十二年度ニ於テハ八千四百萬石、昨年度ニ於キマシテモ四千二百萬石ト云フ取引ガ行ハレテ居リマス、併シ實際ニ於テ商品ヲ受渡スノハ幾ラカト云フト、殆ド一%カ或ハ一%半

ト云フ風ナ取引狀態デアリマシテ、實際ノ取引ト云フモノハ殆ド行ハレテ居ナイ、アトノ大部分ハ謂ハバ投機ト云フモノニナツテ居ルノデアリマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、清算ノ取引ガ市場ノ米價政策ノ上ニ於テ、或ル種ノ働キヲ致シタコトハ認メマスケレドモ、是ハドウシテモ投機ニ主トシテ用ヒラレテ居リマスガ故ニ、米穀對策トシテハ止ムベキガ當リ前ダ、斯ウ云フ見地カラ之ヲ今回止メタノデアリマス、但シ然ラバ正米ダケ、現物ダケデ宜シイカ、斯ウ申シマス、現物ダケデハ又非常ニ不自ナギゴチナイ點ガアリマスノデ、ソコデ未著物取引竝ニ延取引ト云フモノヲ認メタノデアリマス、即チ東京ノ市場ニ於テ現ニ仙臺ナラ仙臺デ汽車ニ積込ンダ米ヲ、コチラニ著カナイ前ニ賣ツテ、著イタ時ニハ秋葉原カラ直グニ需要家ニ配ルト云フ手續ヲ執ルコトハ、即チ中間ノ費用ヲ少クシテ、サウシテ米穀商人ノ手ヲ經テ消費者ノ方ニ圓滑ニ廻ルコトニナリマスルガ故ニ、マダ茲ニ品物ハ無イケレドモ、イツ何日ニ何處ニ著クト云フ品物ヲ賣ラセル手續ヲ執ツタノデアリマス、延取引ニ付キマシテハ、延取引ソレ自身ニ對シテ今日清算取引ト同ジデハナイカ、是ハ投機ニナルデハナイカ、斯様ナ御説モア

リマスケレドモ、即チ米價政策ノ上カラ申シマシテ、米價ノ調整上必要ナリト認メタコトハ、今清算取引ニ付テ申上ゲマシタト殆ド同ジヤウナ理由デアリマス、併シナガラ異ツタル點ハ、從來ノ清算取引ハ米一石幾ラ、即チ何處ノ米ト云フコトハ決マツテ居ナイ、チヤント格付ノ決マツタ標準ノ米ヲ相場ト致シマシテ賣買ヲシテ、サウシテ何處ノ米ヲ渡シテモ構ハナイ、チヤント格付ガ付イテ居ルノデアリマスカラ、其ノ格付ノ差金ダケ良イ米ナラ多ク取レルシ、惡イ米ナラソレヲ値引キシテ渡シサヘスレバ宜イノデアツテ、全國ノドノ米デモ賣ツタリ買ツタリ出來ル、茲ニ投機ノ妙味ガアルノデアリマシテ、此タビハ銘柄取引、即チ信州米ナラ信州米、或ハ尾州米ナラ尾州米ヲ何石ト言ツテ、相對的ニ取引スル、斯ウ云フ譯ニナリマシテ、從來ノ如ク競賣買ノ形式ニ依ラズシテ、相對的ニ何ノ米ヲ何石ト云フ風ニ取引ヲサセルコトニ致シマシタ結果、是ハ投機ヲ抑制スル力ガアルト思フノデアリマス、又先刻來申上ゲマス通り、是ハ轉賣、買戻ヲ許シマセヌ、即チ來月ノ末ナラ來月末ノ期限デ賣リマシタナラバ、來月ノ末ノ期限ニナラナケレバ決濟ヲ許サナイノデアリマシテ、從來ノ式トハ餘程違

ツテ居リマシテ、實際現實ニ米ヲ取扱フヤウナ式ニ致シマシタケレドモ、兎ニ角ニモ茲ニ二箇月間ト云フ期間ヲ置イテ、其ノ調節ヲ執ツテ米價政策ノ調整ヲ執リタイ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、清算市場デ一番妙味ノアル所ダケハ取入レタ考デアリマス
○今井政府委員 大體今農林大臣カラ御説明ガアリマシタガ、從來ノ生産取引市場ニ於テモ無論宜イ所モドツサリアツタト私共モ思ヒマス、併シ過當投機ノ弊害ノアツタコトハ是ハ矯正シテ行カナケレバナラスト思ヒマスガ、今度ノ此ノ米穀法案ハ私共ハ經濟的原理ヲ考ヘル意味カラ、實際ノ運用及ビ國民ノ主食物デアリマスル米ノ價格ノ維持、之ニ重點ヲ置イテ考ヘマス、或ハ經濟論トシテハ杉山サンノ言ハレルヤウナ嫌ヒガアルカモ知レマセヌ、實際問題トシテ私共ハ此ノ道ヲ進ムノガ一番宜イト思ヒマシテ之ヲ提案致シタ次第デアリマス
○杉山委員 私モ最初ニ述ベマシタヤウニ、米ヲ投機ノ具ニ供スルコトハ絕對ニイケンアイ、斯ウ存ジテ居リマス、唯併シ從來ノ生産市場ト云フモノノ事實ニ平準化ノ働キガアル、ソレヲナクシテシマフテハ折角ノ米價ノ適正化ニ支障ヲ來サナイカ、斯ウ云フ御尋ヲ致シタノデアリマスガ、大臣ハ延取

引ニ依ツテ之ヲ補フコトガ出來ル、詰リ生産市場ヲ閉鎖シタコトハ投機ノ弊害ガアル點ニ於テ之ヲ爲シタ、斯ウ云フヤウニ諒承致シマシタ、是ハ脱線デアルカモ分リマセヌガ、若シサウ云フコトダト云フト、競馬ノ如キハ今日ハ本當ノ馬ノ問題ヨリモ投機ノ點ノ方ガ私ハ随分甚クナイカ、斯ウ云フ點ガ考ヘラレルノデアリマスガ、若シ投機ノ點デ生産市場ガ閉鎖サレタト云フコトニナルト、競馬ノ如キモ非常ニ投機的デアルカラ是ハヤメタ方ガ宜イデヤナイカト云フ議論モ立ツテ來ルノデアリマスガ、併シ是ハ本問題デハアリマセヌカラ、是ハ意見トシテ申上ゲテ置キマス、次ニ御尋致シタイノハ先程カラ再三問題ニナリマシタ増産ノ問題デアリマス、私ハ出來ルダケ西川サンナリ、福田サンナリ、或ハ先ノ伊東サンナリガ觸レマシタノデ、重複ヲ避ケテ行キタイト思ヒマスガ、話ヲ進メテ行キマス上ニ言葉ノ上ニ多少重複スル點ガアルカモ知レマセヌガ、御辛棒ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ドウシテ見テモ圓滑ナ配給ヲシヨウト致シマスノニハ、豊富ナ米ヲ持つテ居ラナケレバ駄目デアルト云フコトハ是ハ申スマデモゴザイマセヌ、ソコデ政府ハ今日ノ需給關係ヲ御覽ニナツテ増産計畫ト云フ

モノヲオヤリニナツテ居ル、斯ウ云フコトヲ能ク諒承スルノデアリマスガ、總テノ議員ノ申サレマシタヤウニ今日ノ情勢ハ勞働力不足ノ問題、肥料ノ問題、農具ノ問題、三年間豐年ガ續イタ、斯ウ云フヤウナ情勢ヲ考ヘマスルト常識的ニハドウシテ見テモ減産ヲスル、斯ウ云フコトニナツテ參リマス、其ノ一方ニ於マシテ人口ノ自然増加、或ハ軍需米ノ必要量ノ増加、之ニ加ヘテ宣撫米ト云フヤウナモノヲ考合セマスルト、消費ト云フモノハ益々増加シテ行ク傾向ガゴザイマス、唯普通消費ノ狀態ヲ見マシテモ十二年度ヨリ十三年度ノ消費量ガ約百万石モ値エテ居ルト云フヤウナ狀態デゴザイマスガ、此ノ勢デ進シデ參リマスルナラバ、消費量モ相當ニ殖エルデアラウト思ヒマス、尙ホ色々議論ガゴザイマセウガ、臺灣米ノ問題ハドウシテ見テモ臺灣ニ於ケル米ノ生産ヲ増加スルトハ誰モ是ハ考ヘテ居ラナイノデアツテ、ドウモ減少スル傾キニアルデアラウト思ヒマス、又西川君モ申サレタヤウニ最高米價ト云フモノガ釘付ラレテ居ル、又本會議デ平野君ガ御述べニナツタヤウニ低米價政策ノ傾ガアルカラ隨テ増産ガ難カシイデアラウ、斯ウ云フヤウナ色色ノ點ヲ考合セマス時ニ誰モ一致シマスル

コトハ、ドウモ十四米穀年度ハ非常ニ望マ
ナイコトデアルケレドモ、不作デアルト云
フヤウナ豫感ガサレルノデアリマス、併シ
不作デアツテハナラナイ、ドウシテモ増産
ヲシナケレバナラナイノデアリマス、斯ウ
云フノデ政府ノ方ニ於キマシテモ先程御話
ニナツタヤウニ、平年作六千三百四十六万
石ヲ基準ニ致シマシテ、今年ノ産業目標ハ
六千七百四十六万石ト、四百万石ヲ増産ス
ル、斯ウ云フヤウニ申サレテ居ルノデアリ
マス、其ノ計畫、其ノ意圖ニ對シ私共ハ非
常ニ結構デアリ、贊意ヲ表スルノデアリマ
スガ、併シ唯増産スルト申シマシテモ、サ
ウ簡單ニ農産物ノ増産ト云フモノガ出來ル
モノデナイコトハ、萬々御承知ノ通りデア
リマス、農林省ノ増産計畫ト云フモノヲ新
聞デ拜見シ、且又前ノ伊東君ノ御問ニ對シ
テ、次官デゴザイマシタカ、御答ノアツタ
ノヲ見マス、一ツハ技術的ナ方法デアル、
一ツハ病蟲害ノ驅除豫防ヲ徹底スルコトニ
依ツテアル、此ノ二ツデ大體可能デアルト
云フ確信ガ付イタノダ、斯ウ云フ御答ガコ
ザイマシタガ、新聞デ見マスルト、技術改
善ノ爲ニ三十万圓ノ豫算ヲ取ツテ居ルヤウ
デアリマス、病蟲害驅除豫防ノ爲ニハ、八
十七万圓ノ豫算ヲ取ツテ居ルヤウデアリマ

ス、百万圓ソコノ金デ四百万石ガ増産
出來ルナラバ、是ハ非常ニ安イ、有難イコ
トデアリマスガ、ドウモ私共ハ唯耕種改善、
或ハ病蟲害驅除豫防デ増産ガ出來ルト云フ
御話ヲ聽イタダケデ、一寸納得ガ出來兼ネ
ルノデアリマス、ソシテ僅ナ金デ増産ガ出
來ルカドウカ、ソコデ私ハ耕種改善ハドウ
云フ方法デアルカ、又其ノ三十万圓ハドウ
云フ方面ニ之ヲ使用スルカ、害蟲驅除豫防
ハドウスル、斯ウ云フコトヲモウ少シ、私
ノ納得ノ行クヤウニ御説明ヲ願ヒタイと思
フノデアリマス

○櫻内國務大臣 私ハ今手許ニ豫算ノ内容

書ヲ持ツテ居リマセスカラ、數字ニ互ツテ
ノ御答辯ハ致シ兼ねマスガ、御話ノ如ク現
在ノ日本ノ國情ニ於テ、即チ勞力不足、肥
料不圓滑、馬匹缺乏、有ユル條件ノ惡イ現
狀ニ於テ、増産計畫ヲ立デルト云フコトハ、
容易デナイノデアリマス、政務次官カラ御
説明ヲ申上ゲマシタト云フ御話デアリマス
ガ、即チ害蟲豫防、或ハ冷温床ノ活用、或
ハ施肥ノ改善、サウ云フヤウナ事柄ハ固ヨ
リ種々計畫ヲ致シテ居リマス、ノミナラズ
農具ノ共用、又勞働力ノ組織ノ移動班、其
ノ他種々ナル計畫ヲ持ツテ居リマス、又各
府縣並ニ郡市町村ニ於テ増産計畫ヲ確立シ

テ戴キマシテ、即チ各農村ノ有ユル團體ノ
活動ヲ促進致ス計畫モ立テテ居リマス、又
總テノ指導員ヲ總動員致シテ、サウシテ其
ノ指導員ノ力ニ依ツテ、所謂増殖ノ方法ヲ
講ズルコトモ計畫致シテ居リマス、其ノ他
幾多ノ方法ヲ計畫致シテ居ルノデアリマシ
テ、其ノ費用ハ只今御話ノ金額トハ餘程懸
隔ガアルト思ツテ居リマス、殊ニ四百万石
ト云フ此ノ計畫ヲ立テマス時ニ當リマシテ、
更ニ各般ニ互リマシテ詳細ナル再檢討ヲ致
シマシテ、之ニ依ツテ適當ナル追加豫算ヲ
御願致シタイ、斯ウ考ヘマシテ、今明日ノ
中ニモソレヲ決定シテ、御願致ス考デアリ
マス、何レニセヨ所謂各農村、進ンデハ各
部落ノ方々ノ、非常ナル努力ヲ御願シナケ
レバナリマセヌノデ、其ノ部落團體ノ活動、
之ニ對スル所ノ適當ナル施設ヲ致シタイト
思ヒマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、
農村ノ總力ヲ此ノ際發揮シテ戴キタイ、前
回モ勞働力不足ノ御話ガ出マシタガ、場合
ニ依ツテハ小學生ノ勤勞奉仕ヲモ認メタイ、
有ユル手段方法ニ依ツテ、此ノ増産計畫ダ
ケハ間違ヒナクヤリ遂ゲタイト、斯様ニ考
ヘテ居リマシテ、實ハ議會中デアリマシタ
ケレドモ、一刻ヲ爭フ問題デアリマスガ故
ニ、明日ノ日曜ヲ利用シテ、全國ノ經濟部

長會議ヲ開イテ、篤ト私ノ信念ヲ懇ヘテ、
御協力ヲ求メテ、其ノ案ノ完全ニ實施サレ
ルヤウニ致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノ
デアリマス

○松山委員 増産計畫ニ對スル大臣ノ熱

意ニ對シテハ感謝致シマス、併シ私共モヤ
ハリ協力ヲ致シタイ考カラ致シマシテ、若
シ事務當局ナリ、技術方面ニ明ルイ方ガ其
處ニオ居デゴザイマスナラバ、今申シマシ
タ耕種改善デドレダケ增收スルカ、病蟲害
豫防デドウ云フ見込デアルカ、斯ウ云フ見
込ダケデモ結構デゴザイマスカラ、御示シ
ヲ願ヒタイと思ヒマス

○周東政府委員 只今關係ノ者ガ居リマセ

スカラ、暫ク御待チヲ願ヒマス

○杉山委員 ソレデハ後程伺ヒマス、ソコ

デ大臣ノ御話ノヤウニ、増産ヲ致シマスノ
一ツノ必要ナ要素ハ、何ト言ウテモヤハ
リ勞働力ヲ補給スルト云フコトデアリマス
ガ、政府ハ事變ノ初メカラ勤勞奉仕團ヲ御
作リニナツテ、之ニ御骨折ヲ戴イテ居ルコ
トニハ、私共感謝シ、又敬意ヲ表シテ居ル
譯デアリマス、併シ先程カラ色々御話モゴ
ザイマシタヤウニ、事變以來隨分町村ニ於
キマシテハ、色々ナ集會ガ多イノデアリマ
ス、ソレニ色々引出サレマスノデ、勤勞

奉仕團員モ心ノ中デハ色々奉仕シナケレバ

ナラナイト考ヘツツモ、事實自分ノ生活、

或ハ經濟等カラシマシテ、是デハヤリ切レ

ヌト云フヤウナ者ナドモ、相當ニ私ハ田舎

ヲ歩イテ見マシテ、見ルノデアリマス、政府

モソレニ對シマシテ、色々ト助成ヲスルコ

トヲ御考ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、

少クトモソレ等ニ對シマシテハ、モウ少シ

何トカスルデナカッタナラバ——一年或ハ

二年ト云フ僅ナ期間デゴザイマスルド、是ハ

犠牲モ喜ンデ忍ブコトガ出來マセウケレド

モ、長期戰ニナツテ參リマスト續カナイ、

斯ウ云フ情勢ガ來ルデアラウト思フノデア

リマス、先程伊東君カラモ、勤勞奉仕ニ對

シテ適當ナ勞働報酬ト云フモノヲ出スヤウ

ニシナケレバナラスト云フヤウナ、御言葉

モアツタヤウニ思フノデアリマスガ、サウ

云フ點ニ對シテ、何カ政府ニ於テモ御考ヲ

持ツテ居ルノデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 先刻伊東君ニモ御答致シ

タト思ヒマスガ、單ニ勤勞奉仕、即チ皇道

精神ニ依ツテ勤勞奉仕ヲ致ス團體以外ニ、

所謂集團の勞力移動班ト云フモノヲ設ケマ

ス場合ニハ、勿論之ニ對シテ相當ナ經費ヲ

支出スルト云フコトガ伴フノデアリマシテ、

即チ二筋ノ途ニ依ツテ進ンデ行キタイト思

ツテ居リマス

○杉山委員 勤勞奉仕團ノ中ノ移動班ト云

フモノガ、非常ニ有效ナ働ラシテ居リマスル

コトモ、私共ハ實際ニ之ヲ見テ居ルノデア

リマス、併シ勤勞奉仕團ノ本當ノ全能力ヲ

擧ゲテノ働キト云フモノハ、全村一體のナ

移動班ヨリモ、寧ロ部落々々ノ勤勞奉仕團

ト云フモノノ方ガ非常ニ良クヤツテ居ルコ

トハ、御承知ノ通りデアリマス、私ハ、他ニ

移動シテ行クモノガ良イ働キヲスルケレド

モ、マダ何カ他ノ場所ヘ行ツテ働クト云フ

ヤウナコトガ潛在意識の働キノカ、十分

ノ結果ハ出テ居ラスト云フ事實モ見テ居ル

ノデアリマス、ダカラ移動班モ結構デアル

ケレドモ、本當ニヤハリ部落ノ者ガ部落ノ

爲ニ働クト云フヤウニ、又若シ勤勞奉仕團

ガ經濟的ニ足ラスト云フコトガアレバ、今

御話ノヤウニ何カ是ハシテ戴クトガ宜イ

ノヂヤナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル

ノデアリマス、是ハ別段ニ御答ヲ戴カナク

テモ結構デアリマスガ、ソレト同時ニ尙ホ

人口問題デ一ツ伺ツテ置キタイトハ、今

言フヤウニ、農村ノ人口ガ一面カラ見ルナ

ラバ多クアルヤウデアツテ、季節的ニハ足

ラナイ、勞働力ガ不足スルト云フコトモ是

ハ要スルニ季節的デアル、其ノ結果現在デハ

一方デ移民ヤ、青少年義勇軍ナドモ出シテ

居ルノデアリマスガ、併シ茲ニ日本ノ農村ニ

一定量ノ勞働力ヲ保有スル爲ニ、農村人口

ト云フモノヲ、適當ニ保有ヲシテ置カナケ

レバナラス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノ

デアリマスガ、農村人口ノ適當ナ保有量ト

云フヤウナモノニ付テ、何カ政府ノ方デ御

考ニナツテ居ルカ、移民モ非常ニ結構デア

リマシテ、國策デアリマスカラ、是ハヤラ

ナケレバナラスガ、併シ國內ニ於テ非常ニ

農村人口ガ足りナイ所ガ出テ來ル、斯ウ云

フヤウナコトガアツテハナラナイ、一方

是ハ工業方面トノ關係デモゴザイマセウ

ガ、名古屋地方ノ如キハ、或ル所デハ既ニ

モウ農村ニ人ガ居ラナイデ、土地ガ一部荒

廢シタ所モアル、斯ウ云フヤウナコトヲモ

伺ツテ居リマスノデ、私ハヤハリ適當ナ農

村人口ト云フモノハ保有シテ置カナケレバ

ナラナイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ

付テ政府ノ御考ヲ御伺シテ置キタイト思フ

ノデアリマス

○櫻内國務大臣 第一ノ、部落ノ隣保相助

ニ依ル勤勞奉仕、是ノ活動ヲ促進スル途ニ

付テノ御尋デアリマスガ、此ノ點ハ御尤ナ

點デアリマシテ、吾々モヤハリソレハ考ヘ

テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、十分ト

ハ行キマセヌデモ、政府トシテハ出來得ル

限リ此ノ點ニ對シテモ考慮ヲ拂ツテ居ルノ

デアリマシテ、近ク御協賛ヲ仰グヤウニナ

ルダラウト思ヒマス、次ニ農村ノ人口ヲ維

持スルト云フ問題デアリマスガ、是ハ最モ

大切ナ問題デアリマス、今日農村ニ於テ勞

力ガ不足シテ居ルノハ、出征將士ノ多數ア

ルト云フコトモ、一原因デアリマスルケレ

ドモ、御承知ノ通り重工業方面ニ多數ノ從

業員ヲ出シテ居リマス、斯ウ云フ譯デアリ

マシテ、農村ガ勞力ニ於テ非常ナ缺乏ヲ來

シテ居ル、此ノ見地カラ致シマシテ、常ニ

農村ノ保有スベキ人口ニ付テハ、是ハ深ク

考ヘナケレバナラスコトデアツテ、隨ヒマ

シテ、滿洲移民ノ如キハ、分村計畫ヲ立テ

マシテ、相當ナ移民ヲシテモ宜シイト云フ

町村カラ、移民ヲサセルヤウナ式ヲ採ツテ

居ルノデアリマス、今後都會其ノ他ニ出テ

大イニ働ク爲ニ村外ニ出ラレル人々ニ對シ

テ、ドウ云フ方策ヲ執ルカト云フコトニ付

キマシテハ、是ハヤハリ農村ノ計畫委員會

ニ於テモ御研究ヲ願フ考デアリマスガ、第

一ハ言フマデモナク農村ノ收入ノ増加ヲ圖

ルト云フ事柄ト、農村ニ於テ修養並ニ娛樂

機關ガ整備シテ居ツテ、農村ニ於テ自ラ愉

快ニ暮シ得ルト云フヤウナ途ヲ開イテ、農

村ヲ離レテ都會ニ出ルコトガ決シテ幸福デ
ナイト云フヤウナ、即チ農村ヲ尊ブト云フ
美風ヲ養成サセルト云フコトモ亦、一ツノ
必要ナ事柄デアルト思ヒマス、即チ收入ノ
増加ト、一面ハ修養娛樂ト、此ノ兩方面ニ
付テ相當ナ計畫ヲ確立シテ、ソレト並行シ
テ農村ノ人口ヲ維持スル、斯ウ云フ計畫ヲ
立テナケレバ相成ラスト思ヒマシテ、此ノ
問題ニ對シテモ今研究ヲ致シテ居ル所デア
リマス

○杉山委員 増産ノ問題デ、色々肥料ノ問
題ガゴザイマシタガ、私ハ此ノ點ニ付テハ
餘リ多クヲ申シマセヌガ、唯一點、政府ノ
方デ色々御配慮ニナツテ、春肥料ニ付テノ
輸入許可ノ見込モ付キ、大體支障ノナイヤ
ウニ御計ラヒテ戴イタト云フコトニ對シマ
シテハ、私共モ感謝致スノデアリマスガ、
ソレヲ偏シナイヤウニ、割當制度ヲ御實
行下サルノデゴザイマセウガ、例ヘバ、此
ノ村ニハ何ホド、此ノ村ニハ何ホドト、消
費實績ニ應ジテ御配當ヲ戴キマシテモ、恐
ラク貧農階級ハ、今日ノ情勢カラ致シマシ
テ、其ノ肥料ヲ購入シテ十分使用スルコト
ガ出來ルカドウカ、怪シク考ヘラレルノデ
アリマス、ソレハ色々御話モゴザイマシタ
ヤウニ、農産物價ト云フモノハ、多少上ツ

テハ居リマスケレドモ、日用品或ハ其ノ他
ノ農業用品ノ價格ノ騰貴カラ見マスルト、
非常ニ相違ガアルノデアリマス、ソコデ米
ノ騰貴ナドデ大分農村ノ生活ハ好イデハナ
イカト云フ話モアリマスケレドモ、事實實
農階級ノ生活ニハ相當ノ窮屈ガアルヲ見
ルノデアリマス、ソコデ村々ニ割當ヲシテ
下サルト共ニ、次ノ方法ヲ講ジテ戴クコト
ハ出來ナイデアラウカ、ソレハ捨テ置イ
テハ肥料ヲ購入スルコトガ出來ズ、其ノ爲
ニ生産力ヲ擧ゲ得ナイ百姓ニ對シテハ、先
ニ至ツテ生産物ヲ拂ハセルト云フ固イ條件
ノ下ニ、肥料代ノ貸付ヲヤル、斯ウ云フ制
度マデ徹底シテ戴カスト、無肥料ニ依ツテ
農産物ノ増産ガ甚シク落チル嫌ヒガアリマ
ス、斯ウ云フコトガ出來ルカ出來ナイカ、
其ノ御骨折ヲ何カノ方法デ取ラレ、御指導
ヲ戴キタイノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ
ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノ件ハ洵ニ御
尤デアリマスケレドモ、其ノ實行ハ可ナリ
困難ナ問題デアリマス、唯現實ノ問題ト致
シマシテハ、農事實行組合即チ農會等ノ御
盡力ヲ煩シ、ソレニ對シテ政府ガ助成スル
ナリシテ、適當ナル方策ヲ講ズル以外ハ途
ガナイト思ヒマス、此ノ農事實行組合助成

等ニ付キマシテハ、多分多少ノ費用モ出シ
テ居ルト思ヒマスガ、今御話ノ如キ意味合
ヒノモノハナイト存ジマス、併シ御趣旨ノ
點ハ承リマシテ、更ニ此ノ問題ニ對シマシ
テハ考慮シテ見タイト思ヒマス

○杉山委員 ソレハ政府直接デナクトモ、
農會ナリ産業組合デモ結構デアリマス、政
府ノ方カラサウ云フ御言葉ガゴザイマス、
サウ云フコトガ稍、可能デアルト思ハレマス、
唯此ノ儘ニシテ置キマス、肥料ヲ購入シ
得ル者ダケガ之ヲ使用シテ貧農ハ無肥料デ
耕作スル結果ニナラウト思ヒマスカラ、是非
御配慮ヲ願ツテ、サウ云フ御指導ヲ思ヒ願
ヒタイト思フノデアリマス、次ニ尙ホ増産
ノ問題デ、先程カラ米穀國營検査ノ問題ナ
ドモ色々御話ガゴザイマシタガ、私ハ品種
ノ問題デ政府ノ御意見ヲ御伺シタイト思フ
ノデアリマス、今マデハ米ノ品種ヲ市場中
心ニ考ヘテ栽培シテ來タ、即チ品質本位、
味本位ノモノヲ作ツテ來タ、斯ウ云フ状態
デアリマス、隨テ米ノ検査モサウ云フヤウ
ニ指導サレテ參ツタヤウデアリマス、今日
ハ味本位ノ品種ヲ栽培スルコトモ考ヘナケ
レバナリマセヌガ、増産ノ立場カラ考ヘテ
參リマス、サウ云フコトダケヲ考ヘテ居
ル譯ニハ行カナイノデアリマス、戰時米穀

政策トシテ、ドウシテモ米ヲ豊富ニ持ツテ
居ナケレバナラストスレバ、寧ろ増産ヲ主
トシタ品種ヲ栽培スルヤウニ努メタ方宜
イノデハナイカ、技術改善、害蟲驅除等ノ
増産ノ方法ハ色々ゴザイマセウケレドモ、
若シ増産品種ヲ栽培セシムルト云フコトデ
ゴザイマシタナラバ、味ハ落ちルカモ分リ
マセヌガ、恐ラク五分ヤ一割位增收スルコ
トハサウ困難デハナイ、私ハ斯ウ考ヘテ居
リマス、今日ノヤウナ増産ヲシナケレバナ
ラヌ時代ニ至ツタ時ニ、相變ラズ味本位、
市場本位ノ品種栽培獎勵ノミヲヤツテ居ル
ノカドウカ、サウデナシニ増産品種ヲ栽培
獎勵スルノカ、其ノ點ニ付テノ御所見ヲ伺
ヒタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 杉山君ノ御話ハ、恐ラク
今日ノ米穀増産獎勵ニ付キマシテ、特定ノ
品種ノ増産ヲ獎勵スルヨリモ、多收穫ノ品
種ヲ獎勵シタラドウカト云フ御意見デナイ
カト思フノデアリマス、勿論政府ト致シマ
シテモ、其ノ點ニ付キマシテハ多少研究致
シテ居リマシテ、地方々々ニ依リマシテ多
收穫ヲ獎勵致シタ所ト、又品種ノ優良ナル
モノヲ獎勵致シタ所トアルヤウニ記憶致シ
テ居リマス、要シマスルニ御説ノヤウナ多
收穫米穀ノ増産ヲ獎勵致シテ居ル部分モア

ルノデアリマシテ、一樣ニハ今ノ所取計ツテ居リマセヌ

○杉山委員 私人増産計畫トシテハ、ソレガ一番近道デハナイカト諒承致シテ居ルノデアリマス、次ニ尙ホ増産ノ爲ニ米價ヲ相當ノ値段ニ維持スル、其ノ爲ニ米穀委員會ニ依ツテ、最低最高米價ヲ決メラレテ居ルト仰セニナルカモ分リマセヌガ、十四米穀年度ノヤウニ、最高米價ガ据置ニサレタト云フコトニナリマス、生産者ハ非常ニ打撃ヲ受ケル、例ヘテ言ヒマス肥料ニ於キマシテモ、十三年度ト比較致シマスルト、一割二分位餘計ニ掛ツテ居ル、勞働賃銀モ一割餘リ高クナツテ居ル、或ハ小作料ノ如キモ五升餘増加シテ居ル、斯ウ云フヤウニ生産ニ要スル費用ハ相當ニ嵩シデ参リマシテ、最高米價ハ釘付ケサレテ一向動カナイ、斯ウ云フコトデハ折角増産計畫ヲ致サレマシテモ、サウ云フ點ニ付テ心理的ニ鈍リハシナイカト考ヘルノデアリマス、次官カラ今度ノ最低最高米價ヲ決メル場合ニハ、サウ云フコトハセスト云フヤウナ先程ノ言明ガゴザイマシタノデ、稍、安心ヲ致シタノデアリマスガ、尙ホ此ノ點ニ付テ大臣カラモ若シ御伺スルコトガ出来マシナラバ御伺シタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 今日ノ米價ノ最高ガ釘付ケニナツテ居ルヤウデアアルガ、ソレデハ増産ガ出来ナイデハナイカト云フ風ナ御話デアリマス、現在ノ米價ノ最高最低ハ昨年ノ十二月ニ米穀統制法ニ基イテ米穀統制委員會ニ於テ決定サレタ筈デアリマス、其ノ中物價ノ騰貴シタコトモ騰貴致シテ居リマシマス、生産費ノ増加致シタコトモ、是ハ私モ認メマスケレドモ、今之ヲドウスルト云フコトニ付キマシテハ異常ナル變化ノナイ限りハ之ヲ本年ノ十二月マデ尊重スベキモノデアリマシテ、ソレ以上ニハ御答ヲ致シ兼ねマス

○杉山委員 今日直グニ改正セヨト云フ私ノ願デハナクテ、今度決メマス場合ニ今年ノヤウナコトノナイヤウニト云フ御考慮ヲ願ツタ譯デアリマス、モウ一ツ増産ノ爲ニ御伺シタイ點ハ、同僚三宅議員ガ本會議デモ御伺致シマシタガ、今日ノ農業機構ト云フモノヲ相當ニ改善ヲシナケレバ増産ハ難カシイノデハナイカ、例ヘバ勞働力ノ調整ノ問題ニ致シマシテモ、曩ノ勤勞奉仕ナリソレムノコトニ依ツテモ結構デアリマシマスガ、ヤハリ機械力ヲ使用スルト云フヤウナコトヲ努メテヤツテ行カネバナラヌ、併シ機械力ヲ使フニ致シマスルニシテモ、例ヘ

バ日本ノ今日ノ田畑ノ形ト云フモノガ小さい、或ハ非常ニ色々ナ形ヲシテ居ル、斯ウ云フコトノ爲ニ非常ニ不便デアリ、ヨリ以上ノ勞働力ヲ要スル、斯ウ云フコトモ既ニ御承知ノ通りデアリマス、共同作業ヲ致スニ致シマシテモ、普通ノ形デハ出来ナイ、ソコデ所謂土地ノ交換分合ト申シマスルカ、一村デ同一ノ場所ニ固メル、例ヘバ耕地整理法ナドガサウ云フコトヲヤルノデアリマシマスガ、耕地整理法デ耕地整理其ノモノヲヤラナクテモ、或ハ農地調整法デ交換分合ノコトナドモ許サレテ居ルノデアリマシマスガ、併シ唯農地調整法ト云フモノダケニ任セテ置イテハ、サウ云フコトハ餘程難カシイト思フノデアツテ、政府ガ積極的ニサウ云フ方法ヲ指導シテ、サウシテ此ノ共同作業ナリ、或ハ機械力ナドヲ使用出来ルト云フヤウナ方法ニ、仕向ケテ行カナケレバナラナイト思フノデアリマシマスガ、今政府ノ方デハドウ云フヤウナ指導ヲオヤリニナツテ居ルノデゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 機械力ヲ使フト云フコトハ、勞働力ヲ補充スル上ニ於テ最も重要ナコトデアリマス、政府モ是ハ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマシマスガ、御承知ノ通りニ、今日機械ヲ得ルコトハ甚ダ困難デアリマス

ノデ、機械ヲ共同使用致スヤウナ途ヲ今日講ジテ、其ノ機械力ニ依ツテ勞働力ヲ補充致シタイト思ツテ居リマス、ソレニ附帶シテ、只今御話ノ如ク、日本ノ現在ノ耕地狀態ハ機械力ヲ使用スルニ甚ダ不適當デアルト云フ點ニ付キマシテハ御尤ト思ヒマシマスガ、是ガ即チ耕地整理ヲ促進致シテ居ル原因デアリマシテ、此ノ耕地整理ニ付キマシテモ力ヲ盡シテ居ル譯デアリマス、ソレニ加ヘテ農家ノ勞働力ヲ調整致ス爲ニ、自分ノ住ンデ居ル所カラ遠イ所ニ持ツテ居ル土地ト又向フノ村ノ人ガコチラニ地所ヲ持ツテ居ツテ遠イ所ヲ歩イテ來ルト云フ風ナ地所ヲ互ニ交換セシメテ、耕ヤシテ行ク時間ヲ減少スルト云フ事柄ニ付キマシテハ、政府モ之ニ對シテ大イニ力ヲ盡シテ居ルノデアリマシマス、農村ノ團體ト協力シテ之ヲ勸誘致シマスバカリデナク、即チ此ノ交換ヲシマシタ場合ニ於ケル税金其ノ他ニ付キマシテモ、考慮ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○杉山委員 御努力ハ結構デアリマシマスガ、ソレト同時ニ法的ニ農地調整法ノ交換分合法文ガゴザイマシマスノデ、アレヲモウ少シ強化シテヤルヤウナ御意思ガゴザイマセヌデセウカ

○櫻内國務大臣 法文ヲ今強化シテ之ヲ改

正スルト云フ意思ハ持ツテ居リマセスガ、其ノ趣旨達成ノ爲ニハ各方面協力シテ其ノ目的ヲ達スルヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○杉山委員 増産ノ爲ニモウ一點伺ツテ置キタイノハ、先程モ生産費増加ノ所デ一寸申述バマシタガ、小作料ガ年々増加シテ來ルト云フ傾向、十二年度ヨリ十三年度ハ、先程申シタヤウニ、五升一合増加シタ、斯ウ云フヤウニ、一方肥料、勞働賃銀其ノ他諸掛ト云フモノガ相當ニ嵩シテ參ツテ來マスルニ拘ラズ、小作料モ増加シテ來ルト云フ形、斯ウ云フヤウニナツテ參リマス、眞ニ生産致シテ居リマスル所ノ所謂農家ノ中ノ七割ノ農民ニ、相當ノ打撃ヲ與ヘテ行クト思フノデアリマス、今日ハ事變デアリマスノデ、小作問題ト云フモノモ段々減少シツ、アル、是ハ非常ニ結構デアリマスガ、併シ是ハ唯事變ノ結果少イノデアツテ、恐ラク小作人ハ犧牲ヲ忍シテ居ラウト思フノデアリマス、ソコデ平野君ガ本會議デモ申サレテ居ツタヤウニ、小作料ヲ合理化シテヤラナケレバ、ドウシテ見テモ斯ウシタ小作農及ビ自作兼小作農ト云フ人達ノ生産力ト云フモノガ増シテ來ヌ、小作料合理化ノ運動ガ寧ロ彼等ノ更生運動ダト平野君

モ申シテ居ツタヤウニ、唯之ヲ默ツテ居ルカラシテ宜イ、或ハ事件ガ起ツタ時ニ村々ノ農地委員ニ任セテ解決サセテ宜イ、斯ウ云フヤウニ捨テ置クベキ問題デナクシテヤハリ作レバ彼等ニ相當ノ收益ノ喜ビヲ與ヘルト云フ意味デ、小作料ノ如キモ合理化ヲシテヤラナケレバナラナイノデハナイカ、此ノ爲ニ何等カノ制度ヲ設ケテヤル必要ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 小作ヲシテ居ラレル方々ノ利益ノ増進ヲ圖リマスコトハ、最モ必要ナコトデアリマシテ、私共トシテ見マスレバ、出來ルナラバ全部ノ小作者ノ人ガ自作農ニナツテ戴キタイノデアリマス、即チ農地調整法其ノ他ノ法律ノ出來マシタノモ、其ノ意味デアリマシテ、吾々ハ著々トシテ自作農ノ増加ニ對シテ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、現狀ノ小作料ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ通り、地主小作間ニ於テ昔カラ色々ナル關係モアリマスシ、旁、此ノ間ニ於テ互ニ温情相通ジテ話合ヒガ出來テ居ルノデアリマシテ、今之ニ對シマシテ、斯ウ云フ手段方法ヲ執ツテ、之ヲドウ調整スルカ、即チ從來提案ノ出來テ居リマス法案以外ニ、新規ニ之ニ對シテ法案ヲ出

スト云フ考ハゴザイマセヌ、兎ニ角此ノ小農即チ小作人ノ方々ノ生活ヲ安定シ、其ノ利益ヲ増進スルト云フコトニ付キマシテハ、努力致シタイト考ヘテ居リマス

○杉山委員 小作人ガ全部自作農ニナルコトガ出來マスナラバ、是ハ理想的デ何モ申スベキコトハナイノデアリマスガ、現實ノ問題ハ、自作農創設ヲ致シテ來マシタ今日デモ、中々其ノ成績ハ舉リニクイ、現實ニ小作人ハ農家ノ七割ヲ占メテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマスノデ、此ノ小作料ト云フモノヲ、眞ニ合理化ヲセナケレバ、増産ノ點ニ於テモ私ハ支障ガアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、單ナル指導ヤ或ハ監督デナシニ、積極的ニ法制化デモシテ行カナケレバ、中々是ハ難カシイ問題ダ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ位ニ致シテ置キマシテ、私ハ政策ノ問題ニ付テハ、大體ソレダケニ致シマス、アトハ色々々法文條項ニ付テノ點ヲ御尋シタイト思フノデアリマス、極ク簡單デアリマスカラ、是ハ事務當局カラ御答辯願ヒマス、第一條ノ許可ノ問題ハ、モウ皆サンカラ聽イテ戴キマシテ、大體分リマシタカラ、省イテ置キマス、第二條ノ許可取消ノ問題デアリマスガ、業務ヲ開始セナイ場合、或ハ業務ヲ

休止シタ場合ニ、政府ガ取消スト云フノデアリマスガ、是ハ何年ト云ヒマスカ何箇月ト云ヒマスカ、サウ云フ期間デアルト云フヤウニ、命令デハ示サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ期間ハ大體下レ程ノ期間デアルト云フ御内意デモゴザイマスナラバ、御示シ戴キタイト思ヒマス

○周東政府委員 只今ノ所六箇月位ノモノデアリマス

○杉山委員 第四條ノ命令ノコトガ大體明ニナリマシタガ、戴イタ命令事項ノ説明書ニハ、四條ノ命令事項ハ拔ケテ居リマスガ、是ハ何カ特別ノ意味デ之ヲ御拔キニナツタデアリマス、傳家ノ寶刀ガカラ、是ハ一般ニ示サナイ、斯ウ云フコトデ此ノ戴イタ參考資料ニハ掲ゲナカツタノデゴザイマセウカ

○周東政府委員 第四條ハ箇々ノ場合ノ處分命令デゴザイマスカラ、ソレニ掲ゲナカツタ譯デアリマス

○杉山委員 次ニ手數料ノ問題デ御伺シタイノデアリマスガ、此ノ目論見書ノ收入内譯デ、イ、米穀市場ノ業務收入、ソレカラロ、米穀取扱業務收入ト云フヤウニ分ケテ居リマスガ、此ノ最初ノイノ部分ハ實米ナリ或ハ延取引ノ手數料デセウカ、或ハ取扱業務

收入ト云フノガ、政府米ナリ或ハ臺灣米ナリ、朝鮮米ナリヲ取扱ツタ委託ノ收入デスカ、一寸其ノ點ガ素人デ分リマセヌノデ、御知ラセ戴キタイ

○周東政府委員 (イ)ノ方ノ米穀市場業務收入ノ方ニハ、實物取引市場ニ於ケル賣渡手數料、ソレカラ未著物取引市場ニ於ケル賣買手數料、ソレカラ延取引市場ニ於ケル賣買手數料、及ビ臺灣米ノ委託賣却手數料、政府米ノ買入若クハ賣却ノ委託手數料、ソレダケヲ含ンデ居ル譯デアリマス、(ロ)ノ方ノ米穀取扱業務收入ノ方ハ、會社ガ所有シテ居リマスル倉庫ニ賣買セラレマシタ米穀等ノ保管ヲ致シマス場合ノ保管料、竝ニ其ノ倉庫ニ於ケル荷役ノ收入デアリマス、ソレトモウツハ此ノ會社ガ取引セラレマスル米穀ニ付キマシテ、其ノ荷受人若クハ買受人等ノ爲ニスル運賃ノ立替、爲替ノ立替ト云フヤウナモノニ付テノ手數料ガ含マレテ居リマス

○杉山委員 先ノ市場業務收入ノ中ノ手數料ハ、先般西川君ノ御質問ニ對シテ大臣ガ御答ニナツタ、石四厘、斯ウ云フ話ノヤウデアリマシタガ、實物モ未著物モ延モ或ハ臺灣米、政府米、是等ノ委託料モ全部同一手數料デゴザイマセウカ

○周東政府委員 御答申上ゲマス、實物取引市場ニ於ケル賣買手數料ハ一石ニ付キマシテ四厘、賣方又ハ買方ドチカラノ一方カラ取ルト云フコトニナリ、未著物取引市場ニ於ケル賣買手數料ハ一石ニ付テ四厘デアリマスガ、是ハ賣方及ビ買方各、カラ取ルコトニナリマス

○杉山委員 サウスレバ八厘デスカ

○周東政府委員 八厘ニナリマス——ソレカラ延取引市場ニ於ケル手數料ハ、一石ニ付テ八厘デアリマス、是モ賣方及ビ買方雙方カラ取りマスカラ、合計一錢六厘ニナリマス、臺灣米ノ受託賣却手數料ハ石ニ付テ十五錢ト云フ割合ニナツテ居リマス、政府米ノ買入又ハ賣却ニ付テノ手數料ハ一石ニ付テ十九錢五厘、是ハ共ニ臺灣米ノ場合モ政府米ノ場合モ大體賣買價格ノ千分ノ六ト云フコトニナツテ居リマス

○杉山委員 次ニ配給機構ノコトデ少シ御尋シタイノデアリマスガ、大分先程カラ配給機構ヲ單純化シタ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御議論ガ隨分アツタと思フノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ御伺シタイノハ、色々ノ配給機構ニ關スル系統デゴザイマスガ、サウ云フモノヲアツチコツチカラ戴イテ居リマス、此ノ配給系統ニヤルコトガ一

番便利デアリ、一番費用ガ掛ラナイ、斯ウ云フヤウナソレトノ資料ヲ戴イテ居リマス、議員ノ吉植氏ノモノモ戴イテ居リマス、ソコデ此ノ日本米穀株式會社ニ依ル配給機構ハ他ノ配給機構ヨリモ優ツテ居ル、利益ガアル、斯ウ云フ點ハ何處ニアルカ、若シ又配給機構ナドニ付テ圖表的ナ御示シラ戴クコトガ出來マスナラバ、色々他ノ配給機構ノ資料ト照シ合シテ見ルコトガ出來マスノデ、若シ斯ウ云フモノガゴザイマスナラバ、御示シ戴キタイと思フノデアリマス

○周東政府委員 實ハ此ノ制度ニ於キマシテハ、箇々ノ配給機構ニ付テ直接ニ整備ヲ致シマスト云フコトヨリモ、米穀ノ配給ニ關シマシテ最モ重大ナ一面ヲ持ツテ居リマスル價格ノ統制機關デアリ、大量ノ需給ヲ統合致シマスル場所デアル中央市場ト云フモノニ付キマシテ、投機制ヲ廢シテ、ソコニ現物ノ取引ヲ主トスル取引ヲ致シマシテ、實需ヲ集中致サセマシテ、適正ナ價格構成ヲアラシメヨウト云フコトガ眼目デアリマス、

隨ヒマシテ其ノ意味合ヒニ於キマシテ、中央市場ノ單一化ト云フコトガ先ヅ一ツノ大キナ目標デアリマス、ソシテ其ノ市場ニ於ケル取引手法ニ付キマシテ、從來トハ内容ガ變リマシテ、延取引、或ハ未著物取引ヲ

組織化シテ行ハシメルト云フコトニ眼目ガゴザイマス、隨ヒマシテ箇々ノ配給機構ヲ相當ニ整備スルト云フコトガ、直接ノ目的ニハナツテ居リマセヌノデゴザイマスカラ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ツテ置キタイと思ヒマス、併シ此ノ市場ニ於テ如何ナル形ニ於テソレガ結付クヤウナ考ニナツテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、後程ソレニ關シマシタ見解ヲ政府ヨリ御示シ致シテモ差支ナカラウカト思ツテ居リマス

○杉山委員 モウ少シ其ノ點ニ付テ御同致シタイノデスカ、本法案ニ色々反對の意見ヲ持ツテ居ル人カラ、從來ノ配給機構デヤルヨリモ此ノ案ニ依ツテヤルト手數料ナドガ相當多クナル、斯ウ云フ意見ヲ聞イテ居リマスノデ、此ノ點ハドウナルカ、一應聽カセテ戴ケバ幸ダト思ヒマス

○周東委員 此ノ點ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、實需ニ依ル取引ヲ此ノ中央市場ニ集中セシムルコトニ依ツテ、場外ノ取引ヲ出來ルダケ禁止致シマシテ、其ノ隱レタ取引ニ依ル價格ノ不正ヲ避ケ、市場ニ定メラレタ公定價格ニ依リ取引セシメルト云フコトト、其處ヘ現ハレマシタ手數料ヲ出來ルダケ引下ゲル、及ビ此ノ市場ヘ實需米ヲ集中致シマスルニ付キマシテ、

出來ルダケ集團のニソレヲ扱ヒ得ルヤウ、或ハ運送ノ關係ニ付テ世話ヲスル、或ハ必要ナ資金ノ立替ト云フヤウナコトヲ會社ニ於テ致シマス、ト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、或ハ荷送人或ハ買受人等ニ付テ便宜ヲ出來ルダケ圖ル、ソシテ必要ナ冗費ヲ省クト云フコトガ目的ニナツテ居リマス、而モ市場ニ委託ヲシテ賣ル場合ニ於ケル委託手数料ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、現在ノ市場ニ於ケル委託ノ手数料ヨリモ、可及的ニ少イモノニスルト云フ方法ハ執ルノデアリマシテ、出來ルダケ配給費ト云フモノニ付テ、無駄ナ費用ヲ使ハセナイト云フヤウニ致シ、一面ニ於テ適正ノ價格ニ依リ取引ヲ獎勵シテ行ク、斯ウ云フ所ニ案ノ目的ガアルノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○杉山委員 次ニ七條ノ問題デアリマスガ、最低價格、最高價格ノ範圍内デ賣買セシムル、是ハ米穀統制法ニ依ツテ決メラレテ居ル以上、又正米ヲ取引サスト云フコトカラ申シマシタナラバ、當然斯ウアルベキダト思フノデゴザイマスガ、併シ米ガ相當潤澤ニゴザイマス時ハ此ノ理窟通りニ參ルノデゴザイマスガ、若シ米ガ窮屈ニナツテ參リマシタ時ニ、市場内デハ規則デアリマスカ

ラ此ノ第七條ニ依ツテ取引ガ出來ルカモ分リマセヌガ、併シ段々ニ窮屈ニナツテ來ルト、市場外デ此ノ價格以上ニ取扱フト云フ所謂闇取引ト云フヤウナモノガ起ツテ來ナイカドウカ、勿論ソレガ盛ニナツテ來ルナラバ、第四條ヲ發動スルト云フコトニナルノカモ知レマセヌガ、サウ云フ危險性ガナカラウカ、サウ云フヤウニ考ヘルノデスガ、此ノ點ヲ一應御伺致シタイ

○周東政府委員 大體私共ノ考ニ於キマシテハ、市場員ト云フ者、即チ各地方ニ於テ相當數量ノ米穀ノ取扱ヲ致シマス者ハ、之ヲ各市場ニ於ケル市場員ニナルヤウニ協力ヲ求メマス、而モ此ノ市場員ハ原則ト致シマシテ、市場ニ米ヲ集中セシメルト云フコトニ致シ、而シテ其ノ市場取引ヲ第七條ノ關係ニ於テ定メラレマシタ價格ノ範圍以上ノ取引ヲ許サナイヤウニシテ行キタイ、而シテ之ニ依ツテ市場外ノ價格ヲ指導致シタイト云フコトガ眼目デアリマス、隨テ若シモ只今御話ノヤウナ場合ガ出來テ參リマシテモ、先ヅ第一番目ニハ市場ニ於テ取引スベキ市場員ガ、場外デ隱レテ闇取引ヲスルト云フコトガ起ツテ來ルダラウト思フノデアリマスガ、ソレニ對シテハ必ズシモ四條ダケデナクシテ、十九條ノ規定ニ依リマシ

テ、市場員ニ對シマシテ先ヅ必要ナル命令ヲ出シ、之ニ依リマシテモ尙ホ效果ヲ擧ゲナイト云フヤウナ極端ナ場合ニナリマスレバ、初メテ第四條ニ參ル、左様ニ考ヘテ居リマス

○杉山委員 色々野菜ナドノ中央卸賣市場ノ關係ヲ見マシテモ、從來市場デ取扱ツテ居ツタヨリモ何ト申シマスガ、手續ト言ヒマスガ、非常ニサウ云フコトガ面倒ナノデス、其ノ爲ニ出荷スルノヲ非常ニ嫌フト云フヤウナ傾向農民自體カラ見テ居ルノデアリマスガ、此ノ會社ニ依ル所ノ市場ガサウ云フ手續ナドニ於テ面倒サガナイデセウカ、若シ面倒サガアルト云フコトニナリマスト、青果會社ニ於ケル農民ノ氣持ト同ジヤウナコトガ起ツテ、闇取引デハナイガ、場外取引ト云フヤウナコトガ起ツテ來ヤシナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘマスガ、此ノ點ハドウデセウカ

○周東政府委員 市場ノ取引ニ關シマシテハ只今御心配ノヤウナ煩雜ナ手續ハ設ケナイ積リデ居リマス、勿論實米市場ニ對シマシテハ直接生産者ガ、實米市場ノ市場員ニ向ツテ賣ルコトモ出來マス、延、未著ノ取引市場ニ於キマシテハ市場員ニ委託ヲシテ賣ルコトガ出來マス、其ノ間ニ於キマシテ

ハ特別ニ販賣上ニ付キマシテ、左様ナ難シイ手續等ヲ決メル意思ハナイノデゴザイマス

○杉山委員 同僚三宅議員ガ本會議デ今日ノ米ノ狀態ハ最高價格ニ殆ド釘付ケセラレテ居ルヤウウ形デアル、ダカラ寧ロ一本建ニシタラドウダ、斯ウ云フ話ガゴザイマシタ時ニ、大臣ノ御答ヲ今ハツキリ覺エテ居リマセヌガ、サウ云フコトモ出來兼ネル、斯ウ云フ話ガゴザイマシタガ、投機性ヲ出來ルダケ少クスル、斯ウ云フ立場カラ行ツタナラバ最低米價、最高米價ノ其ノ間ト言ヒマスガ、是ハ今ハ相當ニ開イテ居ル、八圓或ハ九圓、本年ハ据置キマシタカラ五圓何ボカト思ツテ居リマスガ、サウ云フヤウニ少クナレバ投機性ハ少クナルノデ、或人ナドモ之ヲ三四圓ニ縮メルヤウナ工風ヲ考ヘテハドウカ、斯ウ云フヤウナ意見ヲ持ツテ居ル人モアルノデアリマスガ、最低米價、最高米價ノ値幅ニ對シテ投機性ヲ防グト云フ立場カラシテ、サウ云フ點ヲ改正デモシテ少クスル、斯ウ云フヤウナ御考ハナイデセウカ、詰リ投機ノ爲ニハ清算市場モ止メル、斯ウ云フ具合ニ投機ヲ出來ダケ少クスルト云フナラバ、最低米價最高米價ノ値幅モ少クスルト云フコトモ考ヘラレノデハ

ナカラウカ、斯ウ云フヤウニ思フノデアリマス

○松村政府委員 米價ヲ一本ニスルト云フコトハ出來得マスナラバ、是ハ非常ニ米穀政策ノ上ニ於テ、又社會政策ノ上ニ於テ一歩大進歩ト思ヒマスケレドモ、之ヲ一本ニ決メルト云フコトハ色々ノ意味ニ於テ非常ニ困難デアリマス、隨ヒマシテ更ニ一本ニ決メルコトガ出來ナイナラバ、出來ルダケ値幅ヲ狭クスルト云フコトガ出來マスナラバ、是モ一本建ニ次イデノ一ツノ望マシキコトト思フノデアリマス、併シナガラ今日マデアア云フ投機ノ目標ニナツテ居リマシタモノヲ直グサマ非常ニ窮屈ナ所ヘ追込シデ、果シテ此ノ需給ノ關係、配給ノ關係ガ圓滑ニ行ツテ、市場ニ米ガ集ツテ參リマスカドウカト云フコトニ付テハ、相當ニ考慮ヲスベキモノガアルト思ヒマス、ソレデ先ヅ今日、ココ數年ノ間其ノ運用ニ慣レテ來マシタ基準米價ヲ基礎トシテ、ソレデ運用シテ見テ、其ノ運用ノ結果ガ漸次進シデ値幅ヲ狭クスルコトガ出來ルト云フ所ヘ參ルコトガ出來マスレバ、ソレガ一等宜イノデハナイカ、只今斯ウ云フ大キナ取引上ノ變革ヲヤリマシテ、サウシテ一時ニソコマデ參ルコトハ果シテ配給ノ圓滑ヲ期スル所以カドウカト

モ考ヘラレマスノデ、只今ハ基準米價ノ法規ヲ改正シタル考ハアリマセスケレドモ、段々此ノ正米取引ニ慣レテ參リマシタ場合ニハ、ソレ等ノコトモ考慮セラレテ參ルコトト思ヒマス

○杉山委員 次ニ市場員ノ問題ニ付テ少シ御伺シタイト思ヒマスガ、市場員ハ先程カラ御話ガアリマシタヤウニ、舊米穀取引所員、生産者ノ團體、米穀取扱業者ト云フ中ニ仲繼人ノヤウナモノダケヲ除イタ、ソレダケデアリマスガ、或ハ今要求サレテ居ルヤウナ小賣人ノ同業組合ナドガ米穀取扱業者ノ中ニ入ルノデアリマセウカ、入ラナイノデアリマセウカ、ソレヲ御伺致シマス

○周東政府委員 大體ハ本市場ニ入レマスル市場員ノ範圍ハ、米ノ問屋、卸賣業者、ソレニ生産者團體ト云フモノガ主ニナル譯デアリマスガ、御話ノヤウナ特殊ナ場合ニ於キマシテ、米穀取扱業者ノ團體ガ認めラレル場合モアリマス

○杉山委員 市場員ニ産業組合ガ入ルト云フコトデ、大分議論ガアツタヤウデアリマスガ、産業組合ガ會社ノ市場員ニナツタカラト云ツテ、餘リ多クノ利益ガアルヤウニモ思ハナイノデアリマス、寧ロ損失ト云ヒマスガ、サウ云フモノガアツテモ餘リ利益ニ

ハナラスト思フノデアリマスガ、政府ノ方デハドウ云フ風ニ御覽ニナツテ居ルノデセウカ

○松村政府委員 産業組合ヲ取引員ニ入レマスコトハ、生産團體ニ米ノ賣却、玄米デ賣レル途ヲ與ヘテ置クノガ適當ト考ヘタカラデアリマスガ、之ニ依ツテ別ニ産業組合ガ利益デアリ、若クハ米穀業者ガ利益デアルト云フヤウナ考ハ、ドチラニモ吾々ハ持つテ居ナイノデアリマシテ、大體ノ配給機構ト致シマシテハ、現在モ産業組合ハ市場ヘ賣ラウトスレバ賣レルノデアリマスルシ、正米市場ガ出來マシテモ、假ニ取引員ニナリマセヌデモ、他ノ取引員ヲ通ジテモ賣レルノデアリマスカラ、私ハ此ノ問題ハ今日ノ配給ノ機構ニ大ナル變化ヲ齎ラスモノデハナイ、隨テドチラガ利益、ドチラガ不利益ト云フコトハナイト考ヘテ居リマス

○杉山委員 昨日北君カラモ話ガゴザイマシタガ、商業組合ノ市場員ガ買方ニ廻ル、ソレナラバ全購聯ヲナゼ買ノ市場員ニシナイカ、斯ウ云フヤウナ御尋ガアリマシタ時ニ、市場員カラ直接ニ買フコトガ出來ルカラ差支ナイ、斯ウ云フヤウナ御答デアツタト思フノデアリマスガ、私ハマダ少シハツキリ致シマセヌカラ、モウ一應此ノ點ヲ御

伺致シマス

○周東政府委員 購買組合ハ現在ニ於ケル小賣業者ト同様ニ、從來ノ正米市場等ニ必要ノアリマス場合ニ於テハ直接參リマシテ、市場員タル人カラ米ヲ買受ケテ居ルノデアリマス、現在ノ事情ノ下ニ於キマシテハ、購買組合ハ其ノ程度便宜イノデハナイカ、殊ニ購買組合ガ相當先ノモノヲ見込購入ヲ致スト云フ風ニシテ置クコトハ、損害ヲ與ヘルコトガアツテハイケマセヌ、大體ハ其ノ組合員ノ必需ニ應ジマシテ市場カラ順次買ヒ得ル機會ガ與ヘラレテ居ルコトニ依ツテ、十分デハナイカト考ヘテ居リマス、只今ノ所購買組合ヲ市場員ニ致スコトヲ、マダ必要ト致シテ居ラナイノデアリマス

○杉山委員 私ハ日本ノ實例デハナイケレドモ、外國ノ實例ヲ申上ゲテ、米ガ窮迫シテ來タヤウナ場合ニ、サウシタ問題ガ起ラナイデアラウカト云フコトヲ惧レルノデ、此ノ點ヲ豫メ御注意ヲ喚起シテ置キタイト思フノデアリマス、御承知ノヤウニ歐洲大戰ノ當時ニ英國ノ消費組合ガ食糧ニ付テ他ノ商業者團體カラ非常ナ壓迫ヲ受ケタト云フ事實ハ、多分御承知ダト思フノデアリマス、現在デスラモ先程カラ御話ガアリマシタヤウニ、米バカリデハナイ、他ノ種々ノ

點ニ於テ産業組合ト産業組合デナイ商業者トノ間ニ色々問題ガ起ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ譯デ今申シマスヤウナ窮迫シタ事態ガ起ツテ參リマシタ時ニ、恐ラク購買組合消費組合ニ米ヲ賣ラナイデ、ヤハリ自分ノ關係ノ商業者ノ方ニ賣ルト云フヤウニナリマスコトハ、當然ダト思フノデアリマス、恐ラク此ノ法案ハ非常時ヲ豫想シテ、其ノ場合ニ備ヘル一ツノ戰時米穀政策ダト思フノデアリマスガ、若シサウ云フ場合ヲ豫想サレルト致シマスナラバ、私ハヤハリ今日ノ購買組合或ハ消費組合ト云フヤウナモノガ、勢力ハ弱イトシテモ、ヤハリソレダケ相當ナ買市場ニ廻シテ置タト云フコトノ方ガ、安全デハナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、今ハ許サナイケレドモ、サウ云フ場合ガアルナラバ、政府ノ方デ特別ナ考慮ヲスル——來ナイモノニ對スル豫想ヲ伺フコトハ大變失禮デアリマスガ、併シ他ノ國デアリマスケレドモ、戰時食糧政策ニ、サウ云フ問題ガ起ツテ居ル、購買組合ナリ消費組合ガ買ノ方ニ入レテ呉レト云フ中ニハ、ヤハリ私ガ今申シマシタヤウナ意向ヲ持ツテ居ル人達モ多少アルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ政府ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○松村政府委員 英國ノ購買組合ガ戰時中ニ困リマシタ實例ハ承リマシタガ、併シ日本ノ購買組合ト英國ノ購買組合ト違ヒマスコトハ、英國ハ食糧ヲ多ク外國ニ仰イデ居リマスノデ、隨ヒマシテアア云フ場合ニハ特ニ購買組合ナドガ困ルコトダト思ヒマス、所ガ日本ノ購買組合ハ生産者デアル産業組合ノ一部デアリマシテ、必ズ此ノ取引所ノ機關ヲ通ジナイデモサウ云フ場合ニハ相當ニ必要ナ米ハ得ルコトガ出來ルノデハナイカト思ヒマス、但シ米ノ缺乏ガ甚シクナリマス、其ノ場合ニ於キマシテハ或ハ御話ノ通り購買組合ヲ取引員ニ入レマスカ、更ニ進ンデ別ノ方策ヲ講ジマシテ配給ノ圓滑ヲ期スルカ、其ノ場合ニハ相當考慮スベキモノガアラウト思ヒマス

○杉山委員 次官ハ農村ノ購買組合ヲ御考ニナツタラシイノデアリマスガ、農村ノ購買組合ハ御説ノヤウニ生産者ト直接關係致シテ居リマスノデ、私共其ノ點心配致シテ居リマセヌ、併シ今日市街地ニ於ケル購買組合或ハ消費組合、是ハ色々問題モアリマスケレドモ、非常ニ困難ナ裡ニ今日マデ政府モ助成シ、漸ク立ツテ來テ居ル、斯ウ云フ狀態デゴザイマスノニ拘ラズ、今私ガ申シテ居ルヤウナ場合ガ起ツタラ、必ズヒド

イ目ニ遭ハサレルダラウ、斯ウ云フコトヲ私共ハ豫想スルノデアリマス、折角今日マデ政府ノ方デ御援助ナサレテ居ツテモ、サウ云フ場合ニ見殺シニスルヤウナコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ意味デ御伺シタノデアリマス、若シ之ニ付テノ御意見ガ尙ホゴザイマスレバ、重ネテ伺ヒタイト思ヒマス

○松村政府委員 御話ノ點ハ、成程農村ノ購買組合ハ左様デゴザイマスガ、都會ノモノニ於テハ大分趣ガ違フ、ソレハ御話ノ通りデアリマスケレドモ、併シソレニ致シマシテモ英國アタリノ購買組合トハ相當ニ事情ハ違フト思ヒマス、隨ヒマシテサウ云フ場合ノ方途ハ勿論考慮セネバナラヌナコトデアリマスガ、ソレアルガ爲ニ今日カラ豫メ購買組合ヲ取引員ニ加ヘルト云フコトハ如何カト存ジマシテ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ或ハ取引員ニ入レマスカ、他ノ方策ヲ執ルカ、適當ニ考慮スベキモノト考ヘマス

○杉山委員 ドウカサウ云フコトノナイヤウニ私共モ望ンデ居ルノデアリマスケレドモ、萬一サウ云フコトガゴザイマシタ時ニハ適當ナ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、第八條ノ延取引ノコトヲ少シ御伺シタイノデアリマスガ、先程カラ大臣ハ本法案ノ一ツノ妙味ハ清算市場ノ、即チ米穀平準化ノ機能ヲ此ノ延取引ト云フコトデヤツテ居ルノダ、斯ウ云フヤウニ御話ニナリマシテ、私モソレヲ諒承シタノデアリマスガ、若シ延取引ガサウ云フ機能ヲ持ツテ居ルト致シマスナラバ、米ヲ賣ル所ノ團體、生産者團體ニモ延デヤハリ賣ル、斯ウ云フコトヲ許シテ、米穀ノ平準化、又平均賣ニナルト云フヤウナ處置ヲ執ラス方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ氣ガ先程起ツタノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御伺致シマス

○周東政府委員 産業組合、販賣組合モ商人ト同様ニ延市場ニ出テ來ルコトハ出來ルコトニナツテ居ルト考ヘマス、左様御諒承願ヒマス

○杉山委員 次ハ二十二條ト二十四條ノ出資ノコトヲ御伺シタイノデアリマス、目論見書デハ民間團體ガ全額拂込ニナツテ、政府ノ方ハ四分ノ一拂込ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ現物出資ノ關係ガアルノデ斯ウ云フ風ニ民間ノ方ハ全額拂込ニサシ、政府ノ方ハ何カ特別ノ理由デ四分ノ一拂込ニナツタノカ、其ノ點ヲ御伺シマス

○周東政府委員 民間ノ方ノ出資ニ付キマシテハ現物出資ヲ必ズシモ考ヘテ居ル譯デ

ハアリマセヌ、併シナガラ大體此處ニ掲ゲテ置キマシタ事業使途ノ内容デ御承知願ヒタイト思ヒマスガ、事業開始ノ時ニ必要トスル金額ノ問題ト——其ノ中ニハ當然民間即チ取引所等ノ拂込濟出資額ノ範圍内ニ於キマシテハ、現在ノ出資ヲ優先的ニ認メテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、サウ云フ事柄ト及ビ諸設備ノ買収ト云フヤウナコトヲ考慮致シマシテ、丁度金額ト優先出資ト云フヤウナ立場カラ、大體民間ノ方ノ出資ヲ全額ニ致シタ譯デアリマス

○杉山委員 サウ致シマス拂込濟ノ株ヲ優先的ニ取ル、其ノ場合ニハ額面デナシニヤハリ評價デ御取リニナルノデスカ

○周東政府委員 現在ノ取引所ノ資産狀況等ハ大體「プラス」ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ現在ノ拂込ノ出資額ノ範圍内ニ於キマシテ、其ノ額面デ收容シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○杉山委員 後デ伺ツテ見タイト思フノデアリマスガ、此ノ際尙ホ序ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス、取引所關係ガ此ノ會社ニ吸收サレマスコトニ依ツテ失業致シマスル人員ガ、大體下位ノ御見込デ、ソレ等ニ對シマスル所ノ失業手當ト云フモノヲ、或ル程度出スト云フヤウナ御話ヲ伺ツテ居ツ

タノデアリマスガ、若シサウ云フ者ニ對スル失業手當ノ御見込數デモ分リマスナラバ伺ヒタイ

○周東政府委員 取引所ノ従業員ハ、只今ノ考ヘ方ニ於キマシテハ新會社ニ收容シテ參ルコトニナツテ居リマスカラ、従業員ニ付テ失業者ハ出ナイ積リデアリマス

○杉山委員 次ハ三十四條ノ利益配當ノコトデアリマスガ、目論見書ヲ見マシテモ、又本案ヲ見マシテモ、六分ヲ優先的ニ保證スル、斯ウ云フヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、今日マデノ米穀市場ノ利益配當ヲ見マス、大阪ハ大體四分デ、ズット來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、東京ニ致シマシテモ五分——五分五厘ノ時モアルガ、ソレ以下ノ時モアル、平均シテ約五分弱ニナルヤウニ思ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウニ取引所ノ中ノ錚々タルモノガ四分ナリ或ハ五分弱、斯ウ云フ實績ヲ示シテ居リマス時ニ、六分ノ配當ヲ保證スルコトハ、ドウモ取引所員ヲ救済スルコトデヤナイカト云フ意見ガ當然起ツテ來ルノデハナイカ、今日新聞ナドデ拜見致シマス、軍需品ヲ生産スル所ノ會社ニ於キマシテモ、利益率ヲ五分以下ニ下ゲルト云フヤウナコトガ見エテ居リマス時ニ、實績ガ六分ニナ

ツテ居ラナイノニ拘ラズ六分ト決メルト云フコト——今日ノ社會情勢ガ低金利デアリ、且ツ色々ナ社會情勢カラシテ、利益率ト云フモノハ引下ゲヨウト云フ場合ニ六分ニスルト云フノハ、唯今マデノ斯ウ云フ會社ノ習慣ガ六分デアルカラ六分ニシタト云フノカ、何方特別ナ理由ガアルノカ、其ノ點ヲ御伺シタイノデアリマス

○松村政府委員 此ノ建前ハ決シテ六分ヲ保證シタ意味デハゴザイマセヌデ、六分マデハ政府ノ出資ニ對シテ配當ヲシナイト云フ譯デアリマスカラ、勿論ハ政府ガ六分ヲ保證シテ居ル譯デアリマセヌ、若シモ政府ガ保證スルモノト致シマシタナラバ、金利ノ傾向カラ申シマシテモ、六分ナドト云フ高イ保證ヲスル道理ハナイノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ六分ハ單ニ政府ガ配當ヲ受ケナイト云フ程度ニ御考下サイマスカラバ、此ノ取引所ノ株ノ配當等ノコトモ御了解ヲ得ルコトト思ヒマス、大體ハ保證ハセナイト云フコトデアリマスカラ、是等ノ株ノ割當ナンカニ對シマシテモ、大體其ノ資本ノ額ト見テ居リマスガ、ソレハ取引所ノ希望モアリマセウシ、欲シクナイ者ハ勿論強制的ニ持タセル譯デモアリマセズ、コチラノ側カラ申シマシテモ、大體ノ見當デゴザ

イマシテ、各會社、取引所若クハ取引所ノ株主ノ考ヘ方ニモ依リ、コチラノ方モ必ズシモ一ツノ取引所ニ其ノ額ダケヲ必ズ割當テルト云フ譯デモアリマセヌデ、大體ノ見當ヲサウ云フコトニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○杉山委員 ソレハ私ノ誤解デシタ、最後ニモウ一點伺ツテ置キタイノハ、取引所ノ善後措置ノ問題デアリマスガ、要綱ニ依リマス、善後措置トシテハ六ツノコトヲ致スヤウニナツテ居リマス、其ノ中デ私ノ伺ツテ見タイト思フ點ハ、其ノ中ノ五項ノ「取引員ニシテ市場員ト爲リタルモノノ中米穀取扱業者ニ非ザルモノノ開業又ハ轉業ニ要スル資金ノ融通ヲ爲シ得ルコト」斯ウ云フ條項ガ書カレテ居ルノデアリマスガ、若シ開業ナリ轉業致シマスル時ニ、ドウ云フ方法デ資金ノ融通ヲ爲サレルノデアルカ、ヤハリ擔保ナリ何カデナサルノカ、其ノ點ヲ一ツ明ニ伺ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ取引員ニ對シマシテノ廢業資金トカ、轉業資金ノ貸付ノ方法デアリマスガ、是ハ何レ特別ナ委員會ヲ作リマシテ、之ニ依リマシテ如何ナル範圍ニドノ位ノ限度ノ金ヲ、ドウ云フ方法デ貸付ケルカト云フ適當ナル案ヲ立テタイト思ヒマ

スガ、只今ハ決定ニ至ラス次第デアリマス
○杉山委員 善後措置ノ第六項ニ色々建物ナリ財産ナリノ買収ノコトガ書イデアリマスガ、ソコニヤハリ特別委員會ヲ設ケテ評價スル、斯ウ云フヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ委員會デ御決メニナルノデゴザイマセウカ、或ハソレデナシニ特別ノ委員會ヲ設ケラレテ爲サレルノデアリマスカ

○周東政府委員 大體其ノ委員會デ同様ニ掛ケルコトニナルガラウト思ヒマス

○杉山委員 其ノ委員會ノ構成ハドウ云フヤウニナリマスカ、營業者ヲ入レルト出來ルダケ水膨レニナリマスヤウナ要求ヲスルデアリマセウシ、色々トアルト思フノデアリマスガ、相當ヤハリ營業者或ハ第三者或ハ政府ト云フヤウニ、公平ニ委員會ガ保タレナケレバナラスト思フノデアリマスガ、大體ノ御見込ガゴザイマスナラバ一ツ承リタイト思ヒマス

○松村政府委員 ソレハ御話ノ通りデアリマシテ、今日考ヘテ居リマスノハ政府ノ側モ出マスガ、興業銀行、勸業銀行、或ハ營業者ニアラザル實業家ノ人達、貴衆兩院議員、有ユル方面ノ方ヲ集メマシテ、サウシテ會議ヲ開イテ決定シタイト思ツテ居リマス

○杉山委員 私ハ是デ大體質問ヲ終リタイト思フノデアリマスガ、先程伺ヒマシタ點ニ付テ農林省ノ政府委員モ御見エニナツテ居ルヤウデアリマスカラ、一ツ伺ハシテ戴キタイト思ヒマス

○松村政府委員 只今農務局長ガ参リマシタガ、御質問ノ要旨ヲ承ツテ居リマセヌノデ、甚ダ失禮デアリマスケレドモ、モウ一度御聽カセヲ願ヒタイト思ヒマス

○杉山委員 御尋致シマシタ點ハ増産計畫ノ問題デアリマシテ、新聞ナドデ拜見致シマスルト、計畫委員會ナドデ御決メニナツタ所ヲ見ルト、耕種改善、苗代ノ助成、サウ云フコトデ約三十萬圓ノ豫算ヲ以テヤル、或ハ病蟲害驅除ノ方法ヲヤル、斯ウ云フコトガ示サレテ居ルノデアリマスガ、是ダケ伺ツタダケデハドレ程増産出來ルカト云フヤウナコトニ付テ「ペーパー・プラン」ノヤウニ見エル、ソレデ具體的ニ耕種改善デ是位豫想ダ、ドウセ豫想ニ違ヒナイガ或ハ害蟲ノ豫防デ是位防ギ得ラレルノダト云フコトヲ御示シ戴ケレバ、吾々ハ多少百姓ノコトモ分ツテ居ルカラ、ソレナラ出來ララウト云フ考モ付キマス、或ハ本當ノ「ペーパー・プラン」カ、多少具體性ガアルカト云フコト位ハ分ルカラ、是非其ノ點ヲ

御示シ願ヒタイ、斯ウ云フヤウニ申上ゲタノデアリマス

○小濱政府委員 四百万石ノ増産ヲ致サントシテ計畫致シマシタ事項ニ付キマシテハ、大體ノ重點ハ耕種改善基準ヲ設定ヲ致シマシテ、是ハ各府縣別ニ、其ノ府縣デ、耕種方法ハ從來試驗場等ニ於テ研究セラレテ居リマスル方法ニ依リマシテ、其ノ府縣ノ事情ニ即シテ大體設計ヲ立テ、更ニ郡ニ下シ、更ニ町村ニ下シ、町村ハ更ニ部落ニ、サウ云フヤウニ細カイ設計ヲ立テ行キタイト考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘマシタノハ、從來主要食糧ノ改善ニ付キマシテ、獎勵ヲ致シテ居リマスル過去ノ經驗カラ參ツテ居ルノデアリマシテ、耕種方法ニ付キマシテ部落別ニ、集團的ニ指導區ト云フモノヲ定メテ、是ハ模範ヲ示ス意味ニ於テ徹底シテ指導ヲ致ス所デゴザイマス、其ノ指導ヲ致シテ居リマス所ト、普通ノ慣行ニ依ツテ耕作ヲ致シテ居ル所ヲ較ベテ見マスト、集團的ノ耕種方法ニ依ツテ指導ヲ能ク致シテ居リマス所ハ、相當ニ收穫歩合ガ多イノデアリマス、ソレデ大體四百万石ノ増産ト考ヘマスル場合ニ於キマシテ、六千三百萬石ヲ基準ニ致シマス場合ニハ、凡ソ六分何厘カノ增收ニナリマス、

過去ノ經驗カラ行キマスト、一割以上ノ增收ニナツテ居ル所ガ大部分デゴザイマス、サウ云フ關係カラ致シマシテ、其ノ位ノ增收ハ指導ヲ徹底スルコトニ依ツテ期シ得ルノデハナカラウカ、尙ホ東北地方ニ於テ苗代ノ仕立ヲ早く致シマス、及ビ稻熱病ノ防除ヲ徹底致シ、螟蟲ノ驅除ヲ徹底致シ、又泥負蟲ノ驅除ヲ徹底致スコトニ依ツテ、失ハルベキモノヲ失ハナイデ止マルト云フコトニ依ツテ、從來ヨリモ增收ヲ期シタイト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、害蟲ノ驅除ニ依リマシテ何石ノ増産ヲシ、指導ノ徹底ニ依ツテ何石ヲ増産スルト云フコトハ、色々計算ハ致シテ居リマスケレドモ、ソレハ確實ニハ分リマセヌ、デ大體ノ方針ト致シマシテハ、指導ヲ徹底致シマスコトニ依ツテ四百万石ノ增收ヲ期シタイ、サウシテ病害蟲ノ驅除及ビ強イ苗代ヲ仕立テ、從來失ツテ居ツタモノヲ防ギ止メルコトニ依ツテ其ノ計畫ヲ更ニ強化スルト云フ風ニ考ヘテ參リマス方ガ確實デアリハシナイカ、病害蟲ノ驅除ニ依ツテ何石ヲ増産シ、指導ノ徹底ニ依ツテ何石ヲ増産スルト云フ風ニ劃然トハ區別ガ出來テ來ナイト思ヒマス、重點ハ耕種改善、耕種ヲ設定シマスコトニ依ツテ指導ヲ徹底シ、ソレニ依ツテ大部分ノ

増産ヲ圖ツテ行キタイ、ソレニ添ヘルニ病害虫ノ驅除ヲ徹底シ、苗代ノ仕立ヲ強クシマス
コトニ依ツテ、更ニ之ヲ強化シテ行トク云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○杉山委員 モウ一言附加ヘテ御伺シタイノデスガ、大體ソレ分ツテ參リマシタガ、集團指導デ其ノ地ニ適スル耕種方法ヲ指導スル、サウ言ヘバソレデモ宜シウゴザイマスケレドモ、其ノ地ニ適シタ耕種方法、私ガ伺ヒタカッタノハソレヲ伺ヒタカツタノデ、ドノ地方デハドウ云フ耕種方法ヲヤレバ所謂増産ガ出來ルカ、サウ云フ具體的ナコトヲ伺ヒタカツタ、例ヘバ第二ノ苗代ニハ健全ナ苗代ヲ仕立テルトカ、或ハ病害虫害ハドウスルカ稻熱病ハスウスルトカト云フヤウナ具體的ナ話ヲ伺ヒタカツタノデアリマス、若シ前ノ方ノ増産方法デ耕種方法ナドニ付テ斯ウ云フ改善スルノダト云フコトガゴザイマスナラバ、御知ラセヲ戴キタイ、アトノ方ノ病害虫害ノ驅除デモ、病害虫害ノ驅除ガ徹底出來マスナラバ、恐ラク豫想ノヤウニ米ノ増收ハ出來ルダラウト思フノデアリマスガ、何時モ計算ダケハ出來マスケレドモ、事實ソレガムツカシイノデアリマス、御承知ノヤウニ二年續ケテ高知縣ノ稻熱病ノ如キハ、恐ラクドノ農

家モ稻熱ヲ防ガナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマセウケレドモ、ヤハリ二年續ケテア、云フヤウナ不作ヲ見タ、之ニハ色色努力シツツモ材料ガ足ラナカッタト云フヤウナ點モアリハシナイカト思フ、例ヘバ農業保險ノ場合ニ稻熱ハ保險事項ニ入ラナイ、防ダバ防ゲルト云フコトニナツテ居リマスガ、「ボルドー」液ヲ撒布スルニ致シマシテモ、噴霧器ガ今日手廻ラナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ手當ガ十分出來テ稻熱ノ病害虫驅除ガ出來ル、斯ウ云フコトナラ話ガ分ルガ、稻熱ノ豫防ヲスルト云フダケデハ私共ハ一寸受取リニクイノデ、稻熱ヲ豫防スル、併シ豫防スルノニハ確ニ藥品モ、噴霧器モ斯ウ云フヤウナ譯デ準備シ指導シテ居ルノダカラ確ニ出來ル、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイト考ヘテ居ツタ譯デアリマス、大變諄イヤウデゴザイマスガ、モウ一應伺ハセテ戴キマスルナラバ仕合セデアリマス

○小濱政府委員 地域別ニ耕種改善基準ノ設定ヲ致シマスニ付テハ、其ノ地方々々ノ實情ニ即シマシテ苗代ノ育テ方ヲドウスル、草ノ除リ方ハドウスルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、從來試驗場デモ色々基本的ノ試驗ヲ致シテ居リマス、ソレヲ農民ニ徹

底セシメタイ、ソレニハ其ノ地方ノ狀態ニ即シテ、其ノ地方デハ斯ウ云フヤリ方ヲヤルノダト云フ計畫ヲ立テル、之ニ付キマシテハ、實ハ昨年ノ末ダツタト思ヒマス、試驗場長ノ會議ヲ開キマシテ、更ニ縣ノ重要食糧ノ技術者モ一緒ニナリマシテ、本年ハ兎ニ角豫算モ今作成中ダケレドモ、是非増産ヲシナケレバナラス、ソレニハ指導ヲ徹底サセルコトニ重點ヲ置クベキタト考ヘルソレニ付キマシテハ指導ノ基準ノ「プラン」ヲ一ツ作ル必要ガアルト云フコトデ、既ニ各府縣デソレ「プラン」ガ出來テ居リマス、私モ其ノ「プラン」ヲ見タコトガアリマスガ、詳シクハ憶エテ居リマセスケレドモ、色々細イ「プラン」ガ出來テ居リマス、其ノ「プラン」ニ從ツテ、指導ヲ徹底シテ行キタイ、其ノ指導ヲ徹底致シマスニ付キマシテハ、試驗場ノ人達モ直接農家ノ指導ニ當ツテ貰ヒタイ、固ヨリ町村農會技術員ガ第一線ニ立ツテ指導致シマスルガ、更ニ試驗場ノ人達モ試驗研究ノ中デ、多少融通ノ付キマスモノハ一時ソレヲ後廻シト申シマスカ、手控ヘテモ直接農家ノ指導ニ廻ツテ貰ヒタイト云フコトデ、ソレノ打合せヲ了シマシテ、ソレ「著手致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、病害虫害ノ驅除ヲ徹底致シマスルノ

ニ、例ヘバ稻熱病ニ對シテ噴霧器ガナケレバナラスト云フコトモ必要デゴザイマス、噴霧器ヲ製作スルニ必要ダト考ヘラレマスル材料ニ付キマシテハ、物動計畫ノ中デ商工省トモ話合ヒヲ致シマシテ、其ノ材料ヲ製造業者ノ方ニ廻シテ貰ヒタイト云フヤウニ致シテ居リマス、大體噴霧器ハ果樹等ニ使ヒマスル物ヲ合セテ六十萬臺位ハ現在アルカト思ヒマス、昨年モ稻熱病ノ發生致シマシタ時ニ、噴霧器ノ製造業者ノ手許ニゴザイマスモノ、ソレカラ材料ヲ持ツテ製造シ得ルモノ等各十五日毎ニ統計ヲ取り、報告ヲ求メマシテ、必要ナル材料ハ急イデ供給シナクテハナラスト云フコトデヤッタノデゴザイマス、相當ニ製造業者ノ所ニハ手持タノデハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ病害虫驅除ヲ徹底致サセマス爲ニ、今追加豫算デ考ヘテ居リマスモノノ中ニ、噴霧器ノ助成ニ付テモ尙ホ考慮シテ居リマス部分モゴザイマス

○杉山委員 私ハ是デ終リマス

○山田委員 私ノ御聽致シタイト思フコトハ、大部分他ノ各位ヨリ御聽ニナツタヤウデアリマスカラ、二三ノ問題ニ付テ伺ヒタイ、唯私ハ缺席ヲ致シテ居ツタコトガアリ

マシタカラ、或ハ重複スル部分ガアルカモ知レマセヌガ、重複ノ點ニ對シテハ簡單ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ニ御聽致シタイコトハ、此ノ米穀需給統制法ト云フ法律ヲ作ルト云フ必要ガ、餘リニ薄弱ノ如クニ考ヘラレルノデアリマスルガ、特ニ此ノ法律ヲ作ツタ方ガ宜カツタノデアルト云フ理由ヲ御聽致シタイノデアリマス、斯ウ云フ法律ヲ作リマシテ、米穀ヲ或ル程度マデ統制シテ配給ヲスルト云フ必要ナル理由デアリマス、ソレガドウシテモ私ニハ理解シ得ナイノデアリマス、殊ニ他ノ米穀ニ關スル法律ハ、其ノ目的ヲ第一條ニ書イテアルノガ普通デアリマスガ、此ノ法律ハ其ノ事モ書イテ居リマセヌ、配給統制法ト云フノダカラ、此ノ四文字デ説明ハ澤山ダト云フ御説ダカモ知レマセヌ、大臣ノ發案ノ理由ノ中ニハ「投機取引ヲ抑制シ、實需ニ基ク正米取引ヲ原則トスル機構ニ改メルト共ニ、是ト並行シテ米穀ノ取引ヲ爲ス者ノ許可制度ヲ實施スル等、米穀配給機構ニ必要ナル體制ヲ整ヘル」ト斯ウアルノデアリマス、此ノ「米穀配給機構ニ必要ナル體制ヲ整ヘル」ト云フコトガドウ云フコトナノデアリマスカ、ソコガハツキリシナイノデアリマス、是ハ法律ヲ作ラナケレバナラスト云

フ必要ガアツテ作ルト云フ場合、若クハ此ノ法律ニ依ツテ大ナル進歩改善ヲスル、斯ウ云フ確信ノ下ニ作ル場合ト云フコトガ現ハレデアリマスルカラ此ノ統制ト云フ法律ヲ作ル、作ツタガ爲ニ斯ウ云フ利益ガアル或ハ斯ウ云フ弊害ガ除去サレル、米穀ノ配給上ニ於テ一大進歩デアルト云フハツキリシタ見解ヲ御聽致シタイノデアリマス

○松村政府委員 ナゼ此ノ法案ヲ出シタカ、此ノ法案ノ目的ハ何デアルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、私共ハ此ノ法ニ付キマシテハ非常ニ重大ナ意義ト必要ヲ感じテ出シタ次第デアリマス、ソレハ外デモアリマセヌケレドモ、今日ノ取引法即チ配給機構ノ中心ヲ爲ス取引機構ガ、大臣ノ提案理由書ニモアリマス通り、投機ノ部分ヲ非常ニ多ク含ンデ居リ、過去ノ實績カラ見マシテモ過去五箇年間デシタカ、七箇年間ノ統計ヲ取ツテ見マシテモ、總計一億万石ノ取扱ヲシテ居ツテ、其ノ中ノ實際ノ受渡ヲ致シタモノガ五百万石シカナイト云フヤウナコトヲ見マシテモ、今日マデノ取引機構ト云フモノハ、投機ニ類スル點ガ多カツタノデゴザイマス、今日ニ於キマシテハ米ノ供給ニ付テハ決シテ遺憾ガアリマセヌ、將來モ亦其ノ生産ノ確保ニ努メルコトデゴザイマス

ガ、萬一天候其ノ他ニ於テ不作等ヲ見ルヤウナ場合ガアリマシテ、ソコニ假需要ガ起リマシタナラバ、今日投機ノ部分ヲ非常ニ多量ニ含ンデ居リマス取引所機構ニ於キマシテハ、米價ヲ適正ニ保ツコトガ出來ナイノミナラズ、或ハ非常ナ奔騰ヲ見マシテ、サウシテ今日ノ國民生活ヲ脅カスト云フヤウナ虞ガ必ズシモナイデハゴザイマセヌ、只今ソレガアルト云フ譯デハゴザイマセヌケレドモ、一タビ投機思惑ガ起リマシタ時ニ對スル方策ヲ今カラ考ヘテ置キマスコトハ、平時デモ左様デゴザイマスガ、戰時ニ於キマシテハ尙更大切ナコトデゴザイマシテ、今日ノ國民生活ノ大キナ部分ヲ持ツ此ノ食糧政策ヲ擔當致シマス當局ト致シマシテハ、今日ノ機構ヲ此ノ儘ニ致シテ置クコトハ出來マセヌノデ、其ノ故ヲ以テ今度ノ議會ニハ是非此ノ取引機構ノ投機的ノ取引ヲ正米、即チ實需ニ基ク市場ニ改メネバナラヌ必要ヲ痛感致シマシテ、此ノ統制法案ヲ作ツタ譯デアリマス、ソレガ此ノ法案ノ最モ主要ナル理由デアリマシテ、此ノ法案ノ中心ガソコニアリマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、同時ニ更ニ此ノ米穀商若クハ生産者其ノ他ノ間ニ於ケル配給上ノコトモ考ヘマシテ、此ノ法案ヲ提案

致シタヤウナ譯デアリマシテ、今申シタコトヲ御諒解下サイマスナラバ、此ノ法案ガ平時ハ勿論、戰時ニ於テモ如何ニ必要デアルカト云フコトハ御諒解ヲ得ルコトト存ジマス

○山田委員 只今ノ御説明ニ依リマスト、投機取引ヲ禁止サレルト云フコトガ主タル目的ニナツテ居ルヤウデアリマス、併シソレハ過去十年トカ二十年トカ、歴史ハサウナツテ居リマセウケレドモ、米穀統制法ガ出來マシテ實施後僅ニ數年デアリマスルガ、其ノ數年ノ間ニ米ノ取引ト云フモノニ付テハ一大變化ヲ來シ、米價其ノモノニ對シテ極メテ短イ幅シカナクナツテシマツタ、米價ノ異動ニ對スル面白味ガナクナツタノガ各地ニ於ケル取引所ノ整理ヲ來シタ最大ノ原因デアリマス、デアリマスルカラ米穀統制法ヲ數年布イテ來タ結果、投機取引ガ漸次ナクナツテ來タト云フコトガ出來ルト思ヒマス、デアリマスカラ殊ニ昨年ノ暮決定サレマシタ標準價格ト云フモノト、各委員カラ返ス「御議論ニナツタヤウデアリマスルガ、吾々カラ見ルト極メテ不條理ノ價格ダト思フ程、最高價格ガ制限サレマシテ、最低價格ノミ上ツタノデアリマスルガ、其ノ最高最低ノ間ハ僅ニ五圓五十錢ト云フ

其ノ生産ノ確保ニ努メルコトデゴザイマス

其ノ最高最低ノ間ハ僅ニ五圓五十錢ト云フ

短イ幅ニナツタノデアリマス、是ハ最初九圓、其ノ次ガ八圓十錢、其ノ次ガ五圓五十錢ト云フヤウナ工合ニ、最高最低ノ幅ガ段段縮マツテ來ル、縮マツテ來ルト云フコトハ投機取引ト云フコトガ出來ナイト云フコトヲシテ參ツタノデアリマスルカラ、之ガ爲ニ米ニ對スル投機取引ト云フモノハ漸次少クナツテ、サウシテ米ノ價格ガ或ル小サナ範圍内ニ安定ヲシテ居ルト云フノデアリマスルカラ、其ノ點ニ對シマシテハ何等心配ガナイ、斯ウ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯取引所員ヲ救済セヌケレバナラストカ、市場ヲドウカセヌケレバナラスト云フナラバ、是ハ問題ハ別デアリマスルガ、ソレダケノ理由デアルト致シマシタナラバ、現在方々種々此ノ案ノ影響ヲ受ケテ、生活ノ脅威ヲ受ケルト言ツテ非常ニ心配シテ居ル人々ガアルヤウデアリマス、併シ是等ハ實際ニ於テハ誤解デハナイカト思ヒマスルケレドモ、サウ云フヤウナ世上ニ大波瀾ヲ起シマシテ、斯ウ云フ法律ヲ作ツテ、作ツタ效果ガ極メテ薄弱ナモノデハナイカト考ヘルモノデアリマスルカラ、其ノ點ニ付テ今少シ有力ナル理由ヲ御聞キシタイト思フノデアリマス、私共ハ投機取引ト云フコトニ對シマシテハ、モウ心配ハナイ、

投機取引ト云フモノハ出來ナイ、ソレカラ今一ツハ斯ウ云フコトデアリマスガ、投機取引ノ出來マスル弊害ハ假需要ガ起ルト云フコトデアリマス、此ノ假需要ガ價格ノ騰落ノ幅ガ大キカツタト云フ時代、自由經濟ノ最モ盛シナ時代ニ行ハレタ色々ナ現象デアリマスルガ、今日ノ時代ニ於テハ決シテサウ云フ心配ハナイノデアツテ、此ノ産業組合ニ米ガ多ク集マルコトニナリマシタノハ、ヤハリ價格ノ異動ノ少クナツタ證據デアル、是ハ米ノ異動ノ多クナツタ時代ニハ農家ガ皆米ヲ擱ンデ投機スルノヲ望ンデ賣買ヲシテ見タイト云フヤウナ者ガ強クナツタノデアリマスガ、ソレガ漸次米ノ價格ガ釘付ケニナルニ從ツテ、米ヲ共同シテ賣ラウト云フヤウナ觀念ガ強クナツテ、産業組合ガ米ヲ扱フコトガ多クナツタト云フ現象ガアルノデアリマス、デアリマスカラ投機的ノ取引ヲ防グト云フコトニ付テハ、殆ド意味ヲナサナイデハナイカト云フヤウナ疑ガアルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御高見ヲ御聞キシタイノデアリマス

出ス必要ガナイ、斯ウ云フ御趣旨ト考ヘマスガ、成程近來ハ統制法ノ效果ト致シマシテ、米ノ値幅ガ狭クナツタコトハ事實デゴザイマス、併シナガラ今日ノヤウニ清算取引ノ制度ガ現存シテ居リマス間ハ、只今マデハ値幅ガ其ノ範圍ニ限ラレテ居タケレドモ、今後モ必ズ維持出來ルカドウカト云フコトハ、是ハ斷ジテ言ヘナイト思ヒマス、御承知ノ通り今日ノ統制法ハ最高ニナレバ米ヲ政府ガ賣ルノデゴザイマスガ、其ノ米ノ確保ニハ今日努メテ居リマスケレドモ、萬一不作等ノコトガアル場合ニ於キマシテハ、ソレ等ノコトヲ豫想シテ、サウシテ投機ノ熱ガ勃發シテ來マシタ時ニ、今日ノ清算取引市場ガ思惑ガ狭クナツテ居リマスルダケニ、之ヲ突キ抜イテ暴騰若クハ暴落ヲスル危險ガ相當ニ存スルコトハ御承知下サルト思ヒマス、隨テ過去數年ノ間統制法ニ依リマシテ米價ハ大體其ノ範圍内ニ維持ガ出來マシタト雖モ、今日ノ清算取引ノ機構ガアリマス間ハ、何時如何ナル思惑ガ出ナイトモ限リマセヌノデ、隨テ御話デハアリマスケレドモ、今日ノ場合ニ於テ其ノ投機ヲ爲シ得ル取引機構ヲ止メテ、サウシテ投機ノ出來ニクイ實需ニ基ク正米市場ト云フモノヲ中樞トシタル市場ニ代ヘナクテナハ

ラナイ、是ハ非常ニ大切ナコトデ非常ニ重要ナコトト私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○山田委員 其ノ點ニ付テハ疑問モアリマスガ、後刻御聞キ致スコトニ致シマス、此ノ最高價格ト云フ問題ニ對シテ、最高價格ハ農林大臣ノ斟酌シ得ル米價ト云フコトデゴザイマスカラ、所謂斟酌ガ出來ル價格デアリマス、或ル程度マデ高ク決定スルコトモ出來レバ、安ク決定スルコトモ出來ルト云フノガ所謂斟酌デアラウト思フ、然ルニ十四年度ノ米價ノ最高價格ト云フノハ、安イ方ニ斟酌シテ決メタ米價斯ウ云フコトニ見ルベキガラウ、斯ウ思フノデアリマス、左モナケレバ前有馬農林大臣ハ特ニ聲明書ヲ出ス必要ハナイ、聲明書ヲ出シテ、農家ハ先ヅ忍ブベシト云フ意味ノ聲明書ヲ出シテアルノデアリマスカラ、是ハ安イ方ニ參酌値ヲ決定シタト云フコトヲ意味スル、斯ウ解釋シテ居ルノデアリマス、全國ノ農家ハ此ノ決メ方ニ付テ、相當異論ガアルヤウデアリマスケレドモ、是非モ非常時局ニ際シテ已ムヲ得ヌコトデアリマセウガ、私共ハ今日マデ斯ウ思ツテ居ツタノデアリマス、是ハ理窟ニ於テハ安イ、又農家ノ生活或ハ生産ニ必要ナル資材ガ非常ニ高イニモ拘ラ

ズ、米ガソレト正比例シナイト云フコトハ、
是ハ農家ガ到底ヤリ切レルコトデハナイ、
併シナガラ農林省ガ生活必需品或ハ生産ニ
必要ナル資材ニ對シテ極端ナル統制ヲ致シ
テ、此ノ米價ト副ハシメルト云フ御決心ガ
アツタナラバ、是デ宜シイノデアル、斯ウ
考ヘテ居ツタノデアリマスガ、其ノ點ニ付
テ斷々乎トシテ之ヲヤル、肥料ニ對シテモ、
一切ノ生産資材、生活ノ資材ニ對シテ總テ
價格ノ統制ヲヤリ、農家ガ少シモ困ラナイ
ト云フ所マデ御實行ナサル御意思ガオアリ
ニナルカ、ドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○松村政府委員 其ノ點ハ他ノ委員ノ御方
カラモ御尋ガゴザイマシタガ、御話通りニ
米價ノ問題ヨリモ其ノ生産資材ノ値ヲ抑ヘ
ルコトガ出來得マスナラバ、是ハ理想的デ
アルト私共ハ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ
之ニ對シテハ出來ルダケ農業生産資材ノ騰
貴ヲ防イデヤツテ行キマスヤウニ、今日マデ
商工省トモ話合ヲ致シマシテ努メテ居ル譯
デゴザイマス、ソレデ御話通り是非共之ヲ
騰貴ヲ防イデ、サウシテ農家モ引合ヒ一般
消費者モ安定スルト云フコトガ理想的デア
リマスカラ、ソレニ努メマスケレドモ、萬
一將來他ノ物價等ノ上リマシタ場合ニハ、
是ハ次ノ基準米價ヲ決メマス際ニハ、生産

費ノ中ニモソレ等ハ十分含マレテ調査ノ上
ニ現レテ來ルコトト存ジマスカラ、其ノ場
合ニ適正ニ定メタイト存ジマス

○山田委員 其ノ點ヲ今少シ強クオヤリ願
ヒタイト思ヒマス、其ノ程度ダトシマス、
私共ハ今日マデ斯ウ考ヘテ居ツタノデアリ
マス、最高米價ガ或ル程度マデ低イ、斯ウ
デアリマシテモ之ヲ修正スル方法ガアル、
是ハ九月以降デゴザイマシタラウガ、經濟
事情ヲ見テ變動ニ應ジテ修正スルコトガ
出來ルト云フ規定ガアツタヤウデアリマス、
今一ツハ此ノ最高米價ヲ維持スル力ガ薄弱
デアル、此ノ薄弱デアルコトガ農家ノ助カ
ル一ツノ方法デアル、最低價格ニ付テハ政
府ハ無限ノ資力ヲ以テ、需給ノ關係ノ釣合
ノ付クマデ賣却スルト云フノデアリマス
カラハハ當然デアリマスガ、最高價格ニ付
テハ政府ノ持つテ居ル米ヲ賣ルト云フ以外
ニ、之ヲ統制スル方法ガナイ、方法ガアリ
マセヌカラ、ソレニハ程度ガアルカラ、假
令最高價格ヲ安ク決メラレマシテモ經濟事
情ガ許サヌ、種々ナル事情ノ爲ニ此ノ米價
ガドウシテモ安イト云フコトニナリマスレ
バ、是ハ如何ニ最高價格ヲ決メマシテモ、
ソレヲ破ツテ行ケナイノデアリマス、デア
リマスカラ此ノ點ニ於テ農家ガ先ヅ助カル

方法ガアル、斯ウ考ヘテ居ツタノデアリマ
スガ、今回ノ米穀配給統制法ニ依リマス、
此ノ會社ハ最高價格以上ノ米ヲ扱ハスト云
フコトニナル、サウナツ來ルト今度ハソコ
ニ經濟界ノ一大變動ニ依ツテ、當然上ラネ
バナラヌ米價デアリマスカラ、此ノ米價ヲ
上ゲルコトガ出來ナイ、又此ノ統制ト云フ
モノハ僅ニ全國ニ於テ三十箇所内外位キリ
取引所ハ作ラヌト云フコトデアリマスカラ、
全國的ノモノデアリマセヌケレドモ、兎
ニ角大市場ニ於ケル米ヲ標準トシテ日本ノ
米價ガ定メラレマスルカラ、如何ニ經濟事
情ニ變動ガ來マシテモ、是マデハヤレタケ
レドモ、此ノ配給統制ト云フモノガ出來マ
スレバ、是ハ最高價格ヲ破ルコトガ出來ナ
イト云フコトニナル、最高價格以上ノ取引
ヲシテハナラヌ、斯ウ云フコトデアリマス
カラ出來ヌ、ソコニ於テ農家ト云フモノハ經
濟事情ノ變化ニ應ジタ米價ノ騰貴ト云フコ
トハ望ミ難イト云フコトニナリマスガ、其
ノ點ニ付テ如何ニ御考ニナリマセウカ、一
寸御聽キ致シタイ

○松村政府委員 御尤ノ御話デアリマシテ、
今度斯ウ云フ機構ガ出來マシテ市場ニ於キ
マシテハ最低最高ノ間デナケレバ賣レナイ
ト云フコトニナリマスナラバ、基準米價ト

云フモノノ決メ方ガ極メテ大切デアリマス
コトハ、御説ノ通りデアリマス、隨ヒマシ
テ將來ノ基準米價ハ之ヲ極メテ適正ニ考慮
シテ決メルコトガ必要デアリマスカラ、今
ノ基準米價ト將來此ノ次ニ決メル基準米價
トハ、是ハ必ズシモ同一デアリマセヌカラ、
生産費ガ上リマスナラバ必ズ次ノ基準米價
ヲ決メル際ニハ、相當ニソレガ現レル來ル
コトト存ジマス、隨テ此ノ基準米價ヲ標準
トシテ取引ヲ致シマシテモ、ソレニ依ツテ
農民ノ利益ヲ阻碍スルト云フガ如キコトハ
斷ジテナイト、吾々ハ確信ヲ致シテ居ルノ
デゴザイマス

○山田委員 私ハ只今ノ御意見ニ付テハ了
解ガ出來ナイ點ガアルノデアリマス、此ノ
基準米價ト云フモノノ修正ト云フノハ、經
濟界ノ激變ニ依ツテ必要アル場合ニハ之ヲ
變更スルコトガ出來ルガ、九月以降ニナラ
ナケレバ出來ナイ、其ノ前ニハシテハナラ
スト云フコトデアアルノデアリマス、併シ今
ノ御考カラ申シマスレバ、此ノ最高價格以
上ノ取引或ハ以下ノ取引ヲシテナラヌ、
斯ウ云フコトニ相成リマスレバ、此ノ
米穀統制法ト云フ法律ヲ改正ヲ致シマシ
テ、サウシテ此ノ米價ガ經濟界ノ大變動
ガアツタ時分ニハ、何時デモ直シ得ル法律

ニ修正シナカツタラバ、此ノ法律ノ爲ニ農家ハ非常ナル脅威ニ陥ル虞ガアルノデアリマスルガ、政府ハ此ノ際米穀統制法ヲ、經濟界ノ變動ニ依ツテ價格ヲ修正スルト云フヤウナ條項ニ對シテ改正スル御意思ガナイカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○松村政府委員 ソレハ只今ノ米穀法規ニ依リマシテモ物價ノ變動著シキ場合ニ於キマシテハ必ズシモ之ヲ九月ヲ待タナイデ何時デモヤレル譯デゴザイマス、九月以後ニ於テモ、米穀ノ需給關係ニ著シイ變化ガアツタ場合ニハ、更ニヤリ得ルノデアリマスケレドモ、普段ト雖モ物價其ノ他ノ事情ニ依クテハ、適當ニ考慮ハ出來ルコトニナツテ居ル譯デゴザイマスカラ、サウ云フ場合ニハ十分ニ考慮ヲ致スコトト存ジマス

○山田委員 米穀ノ專賣ト云フ議論ガ大分出テ居ルヤウデゴザイマスケレドモ、本案ハ專賣ヲ實施スル前提ニアラズト云フコトヲ數回御聞キ致シマシテ、私共ハ安心致シテ居ルノデアリマス、日本デ米ヲ專賣ニスルト云フ議論位、錯覺ノ上ニ立ツテ居ル極メテ救フベカラザル誤謬論ハナイト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、日本デ米ヲ專賣ニスルト云フ議論ヲスルト云フコトハ、是ハ何カラ來テ居ルモノデアルカ、全く感情カ

ラデモ來テ居ルノデアラウト固ク信ジテ居ルノデアリマス、併シ政府ハサウ云フ御考ガナイト云フコトデアリマシテ、私ハ非常ニ喜バシイノデアリマス、ソレデ今日日本デ問題ニナツテ居リマス所ノ食糧問題ニ對シテ、只今モ米穀ノ生産増加ト云フコトヲ種々御計畫デアルト云フ御説明ガアツタノデアリマスガ、私ハ米ノ生産ヲ殖ヤスト云フコトニ付キマシテハ、何ヨリモ土地問題ガ先決問題デアルト信ジテ居ル、土地問題程重大ナ問題ハナイ、土地問題ノ解決シナイ限ニ於テハ、如何ナル手段ヲ施シマシテモ米ノ生産ト云フモノハ殖エルモノニアラズト思フ、更ニ最近ニ於ケル所ノ肥料ノ統制デアリマスガ、此ノ肥料關係ヲ考ヘマースルト、益、土地問題ノ重要性ヲ感ズルノデアリマス、今日日本デ人口ノ増加ガ非常ニ劇シイノデアリマスガ、土地ノ増加ハ之ニ對シテ極メテ少イ、過去二十年間ニ僅ニ二%位シカ殖エテ居ラナイノデアリマス、而モ人口ハ二〇%以上増加シテ居ルノデアリマス、コンナニ人口ガ増加シテ尙ホ食糧ガ間ニ合ツテ來タノハ何ノ爲デアルカ、是ハ人造肥料ノ消費量ガ年々増加シテ來タ結果デアリマス、是ハ規則正シク増加シテ居リマス、斯ウ云フ工合ニ増加シテ來テ、初メテ人口

ノ増加ト對應シテ參ツタノデアリマスケレドモ、今日肥料ノ輸入ト云フモノガ非常ニ困難ニナリマシテ、昨年ハ一昨年ノ半額以下、本年ハ五十萬噸ノ磷酸ノ原石ノ輸入ヲ許スト云フコトニナツタサウデアリマスカラ、之ニ對シテハ今後ドウナルカ知りマセヌガ、兎ニ角事變以前ノ肥料ノ輸入ハ到底不可能ダ、今後益、是ハ強化サレルダラウト思フ、私共ハソレハ已ムヲ得ナイコトダト思フノデアリマス、併シソレニ付テハ耕地ノ改良擴張ト云フ方面ニ對シテ、政府ガ全力ヲ注グノデナカツタナラバ、幾年經ツテモ此ノ問題ノ解決ハ出來得ナイト信ズルノデアリマス、然ルニ過去ノ歴史カラ言ヒマスト、時局匡救、即チ七、八、九ノ三箇年間、アノ時代ニ耕地ノ擴張ト云フモノニ對シテハ、大分力ヲ盡シタノデアリマスガ、ソレ以外ハ殆ド繼續的ナモノヲ申譯的ニヤツテ來タト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、今後モ政府ハ此ノ問題ニ對シテ過去ト同一ナル方針ヲ御執リニナル御見込デアアルカドウカ、御聽キ致シタイ

○櫻内國務大臣 只今山田君ノ御話ノコトハ政府モ齊シク考ヘテ居ルコトデアリマシテ、ドウシテモ今後ハ土地ノ開墾及ビ改良ヲ致スト云フ事柄ガ必要ダト考ヘテ居ルノデアリマス

○山田委員 私ハ此ノ機會ニ於テ特ニ耕地ノ改良擴張ト云フ問題ニ對シテ、政府ハ全カヲ注イデ戴キタイト云フコトヲ御願致シタイノデアリマス、此ノ肥料ニ對シマシテモ、是マデノ肥料ノ比例、本年度以後ノ肥料ノ比例ト云フモノニ一大變化ヲ來シテ居ルノデアリマス、例ヘバ磷酸ガ六デアルトカ、或ハ窒素ガ七デアルトカ、加里ガ四デアルトカ云フヤウナ割合デアリシモノヲ、最近ニ至リマシテハ窒素ガ十デアル、磷酸ガ五デアル、加里ガ二デアルト云フヤウニ、日本全體ノ肥料ノ比例ニ一大變化ガ來テ居ルノデアリマス、此ノ一大變化ガドウ云フ結果ニナルカト云フト、是ハ收穫上ニ恐ルベキ影響ヲ來シハシナイカト思フノデアリマス、ソレカラ今一ツハ肥料ノ統制ヲ致シマシテモ、唯僅ニ單肥ノ統制ダケデ、化成肥料若クハ配合肥料ト云フヤウナモノニ對シマシテハ、之ヲ自由ニ委シタガ爲ニ、肥料ノ價格ノ騰貴ト云フモノハ、少クモ三割以上デアリマセウ、肥料ノ統制ハ農家ノ懷ロカラ言ヘバ殆ド役ニ立タナイノデアリマス、單肥デ賣ツテハ金ガ儲カラナイカラ、力ノ及ブ限り配合肥料、化成肥料ト云フモノヲ合成致シ、ソレヲ高ク賣ルノデアリマ

スカラ、農家ノ懷ロデハ少クモ是マデヨリ
モ何割以上ト云フ高イ肥料ヲ買ハナケレバ
ナラスト云フコトニナツテ居ルノデアリマ
ス、併シソレモ已ムヲ得ナイコトダと思フ
ノデアリマスガ、政府ハ今後此ノ肥料ニ對
シマシテ、是等ノ肥料マデモ悉ク統制ヲ致
シ、更ニ配給ヲ極メテ公平ニヤルト云フヤ
ウナ御決心ガ、オアリニナルカドウカト云
フコトヲ御聽キ致シタイ

○櫻内國務大臣 肥料ノ問題ニ對シテ、御

意見ノ通り從來ノソレト割合ガ異ルト云フ
コトハ、御承知ノ通り加里ノ輸入ガ非常ニ
困難ニナツタト云フ關係ガ一ツアルノデア
リマス、併シナガラ既ニ發表ヲ致シマシタ
通り、本年ノ七月マデニ要リマス所ノ日本
ニ於ケル必要ナ肥料ハ、固ヨリ物動計畫ノ
中ニ於テモ之ヲ認メテ、其ノ手配ヲ致スコ
トニナツテ居ルノデアリマス故ニ、是ガ旨
ク手ニ入ツテ配給ガ付キマスナラバ、昨年
ヨリハ豊富ニ之ヲ供給スルコトガ出來ルト
信ジテ居リマス、即チ此ノ點ニ付キマシ
テハ、配給ニ最モ力ヲ注ギタイと思ツテ居
ルノデアリマス、同時ニ是等ノ無機質肥料
ニ付キマシテモ、價格ニ付テハ十分ノ率
制致シマシテ、其ノ騰貴ヲ防グコトニ付キ
マシテハ、適當ナル手投ヲ講ジテ居リマス、

他ノ物價ノ騰貴ノ割合ヲ見マスト、極メテ
是等ノ肥料ハ騰貴ガ少イノデアリマス、其
ノ他肥料ノ對策ニ付テノ御意見デアリマス
ガ、是ハ固ヨリ吾々ト致シマシテモ、十分
其ノ點ニ付キマシテハ注意ヲ拂ツテ居ルノ
デアリマシテ、今後ノ肥料配給ト云フ問題
ニ對シマシテハ、更ニ一層力ヲ致スコトハ
固ヨリデアリマス、殊ニ配合肥料ノ問題ニ
付キマシテ、非常ニ配合肥料ノ値ガ上ツタ、
配給ガ不圓滑ニナツタト云フ點ニ付キマシ
テハ、私共モソレヲ認メテ居ルノデアリマ
ス、此ノ配合肥料ノ配給ニ付キマシテハ
近ク之ヲ統制致シマシテ、サウシテ全國ニ
普遍的ニ是ガ配給サレルヤウニ致シタイト
思ヒマス、價格ノ點ニ付キマシテモ只今考
慮中デアリマシテ、適當ニ之ヲ抑制シテ行
キタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○山田委員 配給肥料ニ對シマシテモ統制

ヲスルト云フコトハ洵ニ喜バシイコトデア
リマス、至急ソレヲ實現シテ戴キタイと思
ヒマス、最近生産ノ擴充ト云フコトガ非常
ニ叫バレマシテ、私共ノ關係シテ居ル實業
團體ニ於キマシテモ、モウ既ニ品ガ來ルト
云フコトガ一ツアリマス、東北ガ總テノ植
付ヲ急ガナケレバナラス、殆ド雪ノ中カラ
種ヲ下スト云フヤウナ工合ニシナカツタナ

ラバ、寒サガ來ルコトガ早イノデアリマス
カラ、他地方ヨリ反對ニ肥料ガ要ルコトガ
早イノデアリマス、ソレニ付テ大概窒素肥
料ダケハ十分ダラウト思ヒマスガ、石灰窒素
ヲ是非欲シイ、ソレハ桑園ニ今直チニ入レ
タイト云フ意味デアリマスカラ、頻ニ商業
組合ニ交渉ヲ致シ産業組合ニ交渉致シマシ
タガ、昨年ノ暮ニ決メマシタ豫定以外ノモ
ノハ到底配給ガ出來ナイト云フノデ、其ノ
肥料ヲ手ニ入レルコトガ今日尙ホ成功シナ
イノデアリマス、ソレデ政府ハ今豫算ヲ作
リマシテ、米ノ増産其ノ他ノ増産ヲ御計畫
ニナルガ、其ノ御計畫ニナリマス際ニ、今
日私共ガ今苦シンデ居ルト同ジ情勢ガ全國
ニ現ハレルダラウト思フノデアリマス、肥
料ノ増加ヲ伴ハナイ増産ト云フコトハ不可
能デアル、斯ウ云フ風ニ私共ニハ考ヘラレ
マスルガ、其ノ點ヲ完全ニ行フ自信ガオア
リニナリマスカドウカト云フコトヲ御伺致
シマス

○櫻内國務大臣 今ノ御話ノ問題ニ付キマ

シテハ、農務局トシテ各縣廳ト交渉致シマ
シテ、其ノ所要額ニ對シテソレノ手當ヲ
スルヤウニ今話合ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス
○山田委員 今一ツ御聽キ致シタイコトハ

米ノ生産費デアリマス、頂戴致シマシタ資料
デ比較シテ見ルト、生産費ハ極メテ安イモノ
ト極メテ高イモノトハ非常ナ差ガアルノデア
リマス、ソレデ最近臺灣ニ於ケル米ノ販賣ヲ統
制致シテ、臺灣總督府ガ之ヲ内地ニ一手ニ移
出スル、ソレデ一石ニ對シテ二圓、五百万石
ニ對シテ一千万圓ノ金ヲ取ツテ、ソレヲ農業
方面ニ使フト云フコトガ實行サレルト云フ
コトデアリマス、併シ其ノ理由ノ中ニハ、
臺灣ハ自然ノ條件ガ極メテ有利ニ出來テ居
リマシテ、生産費ガ低廉ニ出來テ居リマス
ルカラ、二圓位ノモノヲ出シテ、而モ其ノ
二圓ナルモノガ農事ノ改良等ニ主ニ使ハレ
ルコトデアアルカラ少シモ差支ナイノダ、斯
ウ云フ話ヲ聞クノデアリマス、如何ニモサ
ウデアリマセウ、一體一年ニ二遍モ穫レル
ト云フコトデアリマシテ、氣候ガ非常ニ宜
シイノデアリマスカラ、生産費モ隨テ安ク
出來テ居ルデアリマセウ、デアリマスルカ
ラ是ハ極メテ有利ナ境遇ニ立ツテ居ル米作
者ノ場合デアリマス、ソレデ東北、北海道
ト云フヤウナ地方ニ於キマスル生産費ハ幾
ラデアリマセウカ、私ハアノ生産費ノ非常
ニ安イ所、非常ニ高イ所ヲ見マシテ、東北
ノ如キ十年ニ必ズ二回若クハ二回半、大
凶作、中凶作、小凶作ノ何レニカ遇ハネバ

ナラスノデアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテハ一石ノ米ノ生産費ハ百圓ニ付クコトモ始終アルノデアリマス、一反歩ノ田ヲ作リマシテ殆ド一俵ノ米モ穫レヌ、僅ニ團子ニスル屑米ヲ半俵穫ツタト云フヤウナ實例モアルノデアリマスルカラ、サウ云フ際ニハ一石ノ米ノ生産費ハ百圓ニモナルノデアリマス、是ハ平均ヲ致シテ生産費ガ非常ニ高ク付ク地方ナノデアリマス、一方生産費ガ安く付ク所ハ安く付イテ居ル上ニ、總督府ガ一石ニ二圓取リマシテ之ヲ色々ノ方面ニ使フアソコノ農民ハ之ヲ貰フ、ソレハ當然デアリマセウ生産費ノ非常ニ高ク付イテ居ル地方ニ對シマシテハ、有利ナル地方ニ於ケルモノヲ二圓安くスルト同ジ趣旨デ、ソレニ比例シタヤウナ高ク付ク地方ニ對スル特別ノ恩惠ガアル、特別ノ施設ガアルト云フノガ當然ガラト思フノデアリマス、デアリマスルカラ東北、北海道ニ於ケル米作者ニ對シマシテハ、耕種ノ方法ニ於テ一ツ對策ガアリマセウ、或ハ保險ト云フヤウナ方法モ一ツアルノデアリマスルケレドモ、東北ノ凶作ト云フモノノ原因ハ、大部分冷害カラ來ルガ、此ノ冷害ノ保險ノ對象ニシマセヌ、斯フ云フコトニナツテ居リマスルカラ、此ノ點ノ恩惠ニ浴スルコトガ出來得ナイノデアリマ

ス、出來得マセヌケレドモ、東北北海道地方ノ冷害ニ對シマシテハ、生産費ノ非常ニ安く付クト云フ地方ト利害ヲ一致セシムルニハ、特別ノ方法ヲ設ケナクテハナラヌ筈デアリマス、ソレニハ冷害ヲ保險ノ對象ニ致シマシテ、更ニ保險料ガ特ニ極端ニ安クナルヤウニ政府ガ助成ヲ致シマシテ、南北受クル所ノ利害ヲ調節スルト云フ必要ハ、政治上打捨テテ置クコトガ出來ナイ問題ト考ヘテ居リマスルガ、政府ハ之ヲ近ク實行スル御意思ハアリマセヌデセウカ

○櫻内國務大臣 東北ノ地方ガ洵ニ氣候ニ惠マレテ居ナイト云フ點ニ付キマシテハ、私モ之ヲ認メテ洵ニ同情ニ堪ヘナイノデアリマス、隨テ米穀ノ生産費ガ高ク付クト云フコトニ付キマシテモ、只今ノ御話ノ如ク凶作ノ場合ヲ想像致シマス、平均シテサウ云フ結果ガ現ハレテ來ルカト存ジマス、隨テ國トシマシテハ、東北ニ對シマシテハ特ニ種々ナル施設ヲ致スコトニ對シテ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、農林行政ノ上ニ於キマシテモ、東北ニ對シマシテハソレゾレ施設致シテ居リマスノミナラズ、所謂冷溫床苗代ノ如キハ東北ノ爲ニ之ヲ實施致シタイトシテ、本年モ新規ニ之ヲ要求シタヤウナ次第デアリマス、只今御話ノ冷害ガ農

業保險ニ含マレテ居ラナイ、之ヲ速ニ入レテ而シテ最モ多クヲ政府ガ補助シテ、低廉ナル掛金ヲ以テ此ノ保險ヲ爲サシメタラ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御議論デアリマシガ、御趣旨ニ付キマシテハ全ク私共ハ同感デアリマス、唯何故ニ冷害ヲ此ノ保險ニ加ヘナイカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ昨年ノ議會ニ於テモ可ナリ議論ノアツタコトデアリマスガ、唯保險トシテノ基礎材料ガ整ハナイノデアリマス、即チドウ云フ風ナ基礎的材料ニ依ツテ之ヲ致スカト云フコトニ付キマシテ、深く研究考慮ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、只今直チニ之ヲ保險ニ加ヘルト云フコトニ付キマシテハ明言ヲ致シ兼ねマスガ、一面ニ於テ成ベク速ニ其ノ調査ノ終ルコトヲ期スルト同時ニ、一面ニ於テ東北地方ニ對スル特別ナル施設ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○山田委員 洵ニ御趣旨ハ有難イト存ジマス、ドウゾ一日モ早く材料ヲ整ヘ下サイマシテ、是ノ實現ヲシテ戴キタイト云フコトヲ特ニ御願ヲ致シテ置キマス
次ニ此ノ條項ニ付テ二三御尋ヲ致シマス、第一條ノ説明ニ依リマスルト、白米ニ對シテハ許可ヲ要スルト云フヤウナコトガアツ

タヤウデアリマシタガ、此ノ命令ニ規定スベキ條項ノ中ニ於テ「販賣組合ノ白米小賣ヲ爲ス場合ヲ除ク」、斯ウナツテ居リマシガ、此ノ販賣組合ト云フノハ普通農村ニ於ケル産業組合、是ハ信用、販賣、購買、利用等ヲ兼務ニ何處ノ組合モヤツテ居リマシカラ、詰リ産業組合ノ白米ノ小賣ト云フモノニ對シテハ許可ヲ受ケ、其ノ他ノモノハ許可ヲ受ケズニ賣買ガ出來ルノダト云フ意味ダラウ、斯ウ思フノデアリマスルガ、此ノ産業組合ノ白米ニ對シテ許可ヲシナクテナラスト云フノガドウ云フ理由ニ基クノデアリマセウカ、其ノ理由ヲ御聽キシタイト思フノデアリマス、産業組合ハ一ツノ營利團體ノ如クニ考ヘ、何カ特別ノモノノヤウニ考ヘテ居ルガ、是ハ何デモナイノデアリマス、農民自身ガ個々ニヤラウト思フ仕事ヲ共同シテヤルノデ、産業組合ソレ自身ハ同時ニ農家デアアル、農家ガ自己ノ收穫物ヲ白米マデニ加工シテ賣ルト云フコトガ惡イト云フ理窟ガナケレバ、町村ニ於ケル産業組合ナルモノガヤハリ白米ニシテ賣ルコトガ出來得ル筈デアリマス、サウシテ近來此ノ白米ニシナクテハナラスト云フ理窟ハ、肥料ガ非常ニ高クナツタト云フコトデ、或ハ種々ナル動物モ飼育シナ

ケレバナラスト云フ必要上、サウ云フコトヲ實行シテ居リマスルケレドモ、近來糠ト云フモノノ騰貴ガ甚ダシイモノデアリマスカラ、是等ノ飼料ニ供シマスニモ、是非家

デ精白シテ賣リタイ、五升ノ糠デモ一升ノ糠デモ欲シイト云フコトヲ各農家トモ望シデ居リマスルカラ、賣ルコトガ一ツデアリ

マス、今一ツハ、四等米マデハ玄米ノ儘ヤツテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、等外品ト云フノガ非常ニ賣リニクイ、是ハ四等品

ト等外品ノ値段ガ近クナツテ參ルト、誰モ等外品ヲ買フ者ハナイ、皆良イ四等品ヲ買

フ、又遠クナツテ來レバ馬鹿々々シクテ賣レナイト云フコトニナリマスカラ、等外品

ト云フモノノ處分ハ、各農家ニ於テモ組合ニ於テモ、之ヲ精白ヲ致シテ賣ルト云フコ

トハ各地ニアル習慣デアリマスシ、又必要ナル事柄デアリマス、之ヲ賣ルノニ、或ハ

許可ヲシナイカモ知レナイト云フヤウナコトヲ文面ノ中ニ入レテ置カレルト云フコト

ハ、洵ニ困ツタコトダと思フノデアリマスガ、是ハ許可ヲ受ケル、受ケルケレドモ此

ノ組合或ハ個人等ニ對シテハ確的ニ許可ヲスルノダ、斯ウ云フ御意思ノ下ニ許可ヲ受

ケルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスルカ、一寸伺ヒタイ

○周東政府委員 御答ヲ致シマス、御話ノヤウニ販賣組合ハ其ノ性質上、組合員ノ作

リマシタ米穀ノ共同販賣ヲ致スノガ本旨デアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、

全體的ニ申シマスレバ、販賣組合ノ米穀ノ賣買、購買組合ノ組合員ニ分ケル賣買等ニ

付キマシテハ許可ヲ受クルコトヲ要シナイノデアリマス、唯販賣組合ガ個々ノ消費者

ノ臺所マデ直接白米ノ小賣ヲ致シマス場合ニ付キマシテハ、其ノ地方ニ於キマスル米

穀ノ配給ノ事情等ヲ能ク考慮致シマシデ、必要ナ場合ニ於キマシテハ許可ヲシナイ場

合ガアルト思フノデアリマスガ、只今ノ御話ノヤウナ事情ノアル場所ニ於キマシテ、

他ノ配給關係ノ事情ト何等差支ナイ場合ニ於キマシテハ、勿論許可ヲ致ス場合モアル

ノデアリマス、唯繰返シ申シマスガ、販賣組合ノ白米ノ小賣ニ付キマシテハ、其ノ

地方ニ於ケル米ノ配給事情ヲ能ク考慮シテ許可ノ許否ヲ決スル、斯ウ云フコトニ致シ

タノデアリマス

○山田委員 此ノ問題ハ重要ナ問題デアリマスルカラ、ハツキリ御聽キシテ置キタイ

ト思フノデアリマスルガ、近來午前七時ハ時頃ニ常盤線ナドデ通ツテ見ルト、行商列

車ト云フヤウナ列車ガアリマシテ、澤山ナ百姓ガ野菜ヲ一背負ヒ背負ツテ、其ノ列車

ニ一杯乗ツテ來ルノデアリマスガ、アノ野菜、人蔘午莠ノヤウナモノヲ、引拔イテ其

ノ儘ナラ百姓ガ賣ツテモ宜シイガ、之ヲ綺麗ニ洗ツテチヤント揃ヘテ持ツテ來レバ百

姓ハ賣ツテハナラナイ、是ハ野菜屋トカ青果市場トカ云フ立派ナ商人デナクテハ賣ツ

テハナラヌ、斯ウ言フノト殆ド同ジモノデ

ナイカト私ハ思フノデアリマス、綺麗ニ洗ツテ、人間ガ食ヘルヤウニシテ賣レバイカ

ス、ソレハ商人ガ賣ルノデ、百姓ガ賣ルニハ泥ダラケノ手入ノセヌモノナラ宜シイ、

此ノ百姓ガ自分デ穫ツタ米ヲ白米ニシテ賣ルニハ一々許可ヲ受ケナクチヤナラヌ、場

合ニ依ツテハ之ニ制裁ガ加ヘラレルト云フコトハドウ云フ必要カラ生ジタカ、私ハド

ウモ理解ガ出來ヌ、デスカラ此ノ條項ノ許可ヲ受ケルト云フ點ニ對シテハ、是非御再

考ヲ御願致シタイと思ヒマスガ、ソコノハツキリシテ理屈ヲ御聽キシタイ

○周東政府委員 是ハ農家ガ作リマシタモノヲ共同販賣スルコトニ付キマシテハ、

別ニ何等許可ヲ受ケルコトハ要シマセヌ、唯個々ノ家庭ニマデ白米トシテ配給ヲ爲シ

テ行キマス場合ニ付キマシテハ、配給統制ノ立場カラ見マシテ、其ノ地方ニ於ケル白

米ノ小賣ト云フヤウナ、總テノ配給條項ヲ考慮致シマシテ、許否ヲ決定致シタイと思

ツテ居ルノデアリマス

○山田委員 サウスルト野菜ヲ家庭ニ賣ツ

カラ宜シイガ、米ヲ家庭ニ賣ツタラ惡イ、

斯ウ云フコトニナリマスガ、例ヘバ工場ト

カ或ハ組合、或ハ家庭、家庭ニモ色々アリ

マスガ、大キイ所ハ宜シイガ、夫婦ニ子供

一人二人ト云フ所ニ賣ツテハ惡イ、斯ウ云

フコトニナリマスガ、ソコヲハツキリ御聽

キ致シタイ

○周東政府委員 其ノ點ハ昨日モ申上ゲマ

セウト云フ考カモ知レナイノデアリマスガ、サウスルト米ダケハソレデ宜シイ、宜シイケレドモ、其ノ他ノ蔬野菜ト云フヤウナモノモ、悉ク商人ニアラザレバ家庭ニ賣ルコトハ出来ナイト云フコトヲ近ク規定サレル御見込デモアルノデアリマスカ、又一方ハ宜シイガ一方ハ惡イト云フコトデアリマスルカ、ソコヲハツキリ御聽キ致シタイ

○松村政府委員 ソレハ蠶ノ場合ト違ヒマシテ、米ノ配給上、其ノ配給ヲ統制スル爲ニ米穀業者ノミナラズ、小賣ヲ致ス産業組合モヤハリ統制シテヤツテ行カナケレバイケマセヌノデ、其ノ意味合ニ於テ米ヲ賣ル者ト買フ者ト、ソレ等ヲ總テ認可制度トシテ居リマス、併シナガラ其ノ内購買組合ノ如キモノハ、之ヲ自己ノ組合デ賣ルノデアリマスカラ是ハ除ク、斯ウ云フ配給機構ノ必要ノ上カラ、參ツタノデゴザイマス

○山田委員 ソレナラバ實例ヲ擧ゲテ御話ヲ致シマセウ、私共ノ福島縣雙葉郡ト云フ地方ニハ廣野町、大久村、草野村ト云フヤウナ大キナ一ツノ地方ガアリマス、其ノ地方ニ於テハ、米ト云フモノハ悉ク白米ニシテ賣ル習慣ガアルノデアリマス、其ノ賣先ハ四ツ倉町ト云フ漁場ニ持ツテ行ク、其ノ地方ニ來ル船ニ賣ツテ居ルノデアリマス、

其ノ地方デハ絕對ニ玄米ハ賣ラヌノデアリマス、皆白米ニ搗出シテ來ル、所デ手デ搗ク、或ハ水車デ搗クト云フコトヲシテ其ノ米ヲ賣ツタノデアリマスルガ、今日ニ至リマシテハ、ヤハリ産業組合利用部デ買ヒマシタ精米機械ヲ利用致シマシテ、其處ニ持ツテ行ツテソレヲ搗イテ貰フ、搗イテ貰ツタ米ヲ今マデハ馬デ運シダモノヲ、今度ハ組合ノ手デ荷馬車デ運ビ、自動車デ運シデ賣ル、斯ウ云フコトヲ今日依然トシテヤツテ居ルノデアリマス、是ハ何人ニ賣ルカ、悉ク消費者階級ニ賣ルノデアリマス、斯ノ如キ部類ノモノモイケナイト云フコトニナリマスカ、又サウ云フ者ニ賣ルノハ宜シイ

ガ、サウ云フ慣例ノナイ地方ニ賣ルコトハイケナイト云フコトニナルノデアリマス、何ノ爲ニイケナイノカ、殆ド理解出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ理由デ是ハイケナイ場合ガアルノダト云フコトヲハツキリ御説明願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 此ノ點ハドコマデモ配給統制上ノ必要カラ來テ居リマス、サウ云フ行政上必要カラ來テ居リマス、隨テサウ云フ場合ニ何處ノ場所デハ許可或ハ處置ヲ如何ニ決定スルカト云フコトハ、地方ノ事情ニ依ツテ變ツテ參リマス、主トシテ都會

地ニ於キマシテハ、餘程サウ云フ風ナ事情ヲ調査致シマシテ、處置ヲ決定スル場合ガ多カラウト思ヒマスガ、一般的ノ農山村ノ如キ所デハ、多クノ場合ソレハ許可サレルコトニナルト思ヒマス、常ニ其ノ地方ノ事情、米穀配給機關ノ實情ト云フヤウナモノヲ調査シテヤル譯デアリマス、御心配ノヤウナ點ハナカラウト思ヒマス、更ニ今日市場ニ於キマシテ販賣組合デ白米ヲ購入シテ居ル者ニ對シテハ、當然續イデ、新シク特別手續ヲ執ラズニ販賣出來ルコトニナリマスノデ、御心配ノヤウナ點ハ多ク起ツテ來ナイガラウト思ツテ居リマス

○櫻内國務大臣 山田君ノ御質問ハ今ノ統制ノ狀態ニ付テ、少シ誤解ガアルノデハナアカト思ヒマス、即チ小賣商ヲ茲ニ許可制度ニスルト云フ事柄ハ、理想的ニ申シマスト、例ヘバ此處ニ百軒アル、其ノ中ニ一軒ダケ小賣商ヲ許ス、サウシテ全般ノ小賣商人間ガ是デ兎ニ角生活權ヲ擁護シテ行ツテ、サウシテ其ノ附近ダケヲ圓滿ニ供給シ得ル、斯ウ云フコトガ理想デアリマスケレドモ、今日ハ小賣商ガ白米ヲ取扱ツテ居ル白米ヲ個人々々ノ家ニ商ツテ居ル者ハ、是ハ小賣商人カ、若クハ仲次人カ、兎ニ角此ノ條項デ當然許サレル範圍内ニアルノデア

リマス、唯將來此處デ米屋ヲ開カウト思フ、即チ米穀商ニナラウト思フト許可ヲ得ナケレバナラス、ダカラ從來營業ヲシテ居ル者ハ、全部其ノ儘大體ニ於テ許可サレルノデアリマス、是カラ先ヤラウト云フ者ハ、是ハ其ノ周圍ノ狀況ニ依ツテ其處ニ米屋ガ澤山アレバ許サヌ、斯ウ云フトニナリマス、隨テ今マデ白米ヲ販賣シテ居ル者ガ、此處デ販賣スル權利ヲ奪ハレルト云フ譯デハナイ、唯違ヒマスコトハ、御承知ノ通り、手短カニ申シマスレバ地方ニ煙草ノ賣捌店ガアリマス、是ハ許可ヲ得テ或ル區域々々デナケレバ許サレナイ、東京デハ風呂屋ガヤハリサウナツテ居リマス、或ル區域内ニ於テ何軒モハ許サレテ居ナイ、或ハ鹽ガサウデアル、ソレカラ肥料ガ今ノ所デハ稍、サウ云フコトニナツテ居ル、サウ云フモノト同ジデ、即チ從來米ヲ賣ツテ居ツタ者ハ、米商人トシテヤハリ認メラレルト云フ建前デ出來テ居ルノデアリマスカラ、山田君ノ言ハレルヤウオコトニ付テハ私ハ心配ガナイト思ヒマス

○山田委員 御話ハ能ク分リマシタ、私ガ繰返シテ御話申上ゲルノハ、此ノ「命令ニ規定スベキ主要事項案」第一條ノ中ノ「ニカラ「販賣組合ノ白米小賣ヲ爲ス場合ヲ除ク」之

ヲ削除シテ戴キタイト考ヘタモノデスカラ
繰返シテ申上ゲタノデアリマス、此ノ條項
ヲ御入レニナツテモ許可サヘ受ケレバ宜シ
イ、大體ニ於テ慣例ヲ尊重シテ許可ヲスル
ト云フコトニナルガラウト思ツテ居リマス
ケレドモ、最近商業組合、又小賣組合ト云
フヤウナモノガ出來マシテ、是等ノ人々ガ
産業組合及ビ素人ノ家庭ニ賣ル仕事ニ干渉
スルコトガ非常ニ盛ニナツテ參ツタノデア
リマス、是ハ或ル人々ニ言ハセレバ、生活權
ノ擁護ト云フヤウナコトヲ申シマスケレド
モ、農家モヤハリ生活權ヲ擁護シナケレバ
ナラスノデアリマスカラ、自己ノ收穫物ヲ少
シデモ有利ニ販賣致シタイト云フコトハ農
家ノ當然ノ要求デアリマス、デアリマスカ
ラ此ノ第二「白米小賣ヲ爲ス場合ヲ除ク」ト
云フ條項ハ是非トモ削除シテ戴キタイト考
ヘルノデアリマス、重ネテ此ノ問題ヲ論ジ
テモ同ジ御答辯ヲ繰返サレルコトニナリマ
スガ、是非本條項ヲ除クト云フコトニ御配
慮ヲ御願シテ置キマス

ソレカラ其ノ次ニ御聽キシタイコトハ、
第五條「米穀市場ハ米穀會社ニ限リ之ヲ開
設スルコトヲ得」トアツテ、何人ト雖モ米穀市
場ニ類似ノ施設ヲ爲スコトハ出來ナイト云
フコトガアリマスガ、此ノ類似ノ施設ト云

フコトハ、詰リ米穀會社ノ取引所ノ在ル地
區内ニ於テト云フ意味デアリマセウカ、或
ハ全國何處ニ於テモ類似ノ取引ヲ禁ズルト
云フ意味ニナリマセウカ、若シ是ガ何處ニ
於テモ禁ズルト云フコトニナルト、非常ニ
困ツタ問題ガ起ルノデハナイカト心配致ス
ノデアリマス

○周東政府委員 此ノ法文ハ、今後米穀ノ
賣買取引ヲ爲サシムル市場ハ米穀會社デナ
ケレバ出來ナイト云フコトニナツテ居リ
マスノデ、此ノ法律ハ全國的ニ施行サ
レルモノデアリマスカラ、單ニ地區内ニ限
ラズ、何處デモ類似ノ設備ヲシテハナラス
ノデアリマス

○山田委員 今一ツ御聽キ致シタイコトハ
此ノ延取引、ソレカラ未著取引ト云フコト
ハ、今日マデト違ツテ銘柄ヲ決メテ取引ヲ
スルモノデアアル、又最後ノ決濟時期ニ於テ
決濟ヲ許シテアルノデアアルカラ、取引ハ漸
次少クナルデアラウ、斯ウ云フ御話デアリ
マスガ、私ハソレニ反對ノ結果ヲ來スノデ
ハナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマ
ス、ト云フノハ銘柄ヲ決メテ取引シマスカ
ラ、現物ノ受渡ノ出來ナイ場合ヲ大ナラシ
メルコトニナル、是マデ取引所ノ取引デア
リマシタナラバ、格差ト云フモノガアツテ、

格差ヲ以テ何處ノ米デモ清算致シマスカラ、
現物引渡ノ場合ガ多イノデアリマスカラ、
引渡シ得ルノデアリマス、ケレドモ銘柄ヲ
決メテ其ノ米デナケレバナラスト云フコト
ニナリマスレバ、特ニ其ノ實米ヲ渡スコト
ノ困難ヲ増大セシメルモノデアリマスカラ、
是ハマア延取引ト云フモノハ定期取引ニナ
ツテシマフ、サウシテ短期ノ、二箇月ノ現
物清算取引ト云フモノガ出來テ、益之ヲ獎
勵スル結果ニナルノデハナイカト云フコト
ヲ心配スルノデアリマス

ソレカラ今一ツハ此ノ未著取引ニ對シテ
決濟ヲ許スト云フ事柄ハドウ云フ必要カラ
來タカ、是ガ私ハ理解ニ苦シムノデアリマ
ス、是ハ延取引デハナク、全ク荷物ノ來ナ
イモノヲ或ル期間ヲ定メテ、十五日間ノ内
ニ品物ガ來レバ渡スト云フコトデアリマス
カラ、之ニ對シテ決濟ヲ許シテ、差額ヲ受
渡シテ取引セシメルト云フ必要ガ何處ニア
ルデアリマセウカ、是モ極メテ短イ定期ガ
出來テ、是ハ一寸面白イ清算取引ガ出來タ
モノダト云フコトニナルノデハナイカト云
フ心配ガアルノデアリマス、一寸其ノ點ヲ
御伺致シマス

銘柄別ノ取引ト併セテ組合セ銘柄別ノ取引ヲ
サセルコトニナツテ居リマスカラ、組合セ銘
柄ノ範圍如何ニ依リマシテ、組合セ銘柄ノ範
圍ニ入ツテ居リマスモノニ付キマシテハ交
互代用スルコトガ出來マスカラ、御心配ノ
ヤウナコトハナイト思ヒマス、ソレカラ未
著物ノ取引ニ付テ前ノ決濟ヲ認メルノハド
ウカト云フ御話デアリマスガ、是ハ未著ノ物
ニ付テハ大體最初ノ賣出シハ必ズ米ヲ出ス、
最後ノ買入必ズ代金ヲ決濟シテ受渡ヲ濟マ
スト云フコトニナツテ居リマスガ、但シ此
ノ際中間ニ於キマシテ轉賣ヲシタ者ガアル
譯デアリマスカラ、其ノ人ニ取リマシテノ
ミ簡易決濟ノ方法ニ依リマシテ、必ズシモ
現物ヲ受渡シ受渡シテ最後マデ行クト云
フ方法ヲ執ラズニ簡易ニ決濟サセタイト云
フ方法ニ於テ前ノ決濟ヲ認メテ居ル譯デア
リマス、御諒承ヲ願ヒマス

○山田委員 ソレハ私ガ考ガ違ツテ居ツタ
カモ知レマセヌ、第六條「但シ履行期ニ於
ケル決濟ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ付
テハ此ノ限ニ在ラズ」トアリマスカラ、差金
ノ授受ニ依ツテ決濟ヲ爲スコトガ出來ルト
云フノデアリマスガ、其ノ六條一項ノ勅令
事項ト云フ中ニハ「本項但書ニ該當スル取引
ハ未著物取引及延取引ニ限ルモノトス」斯ウ

ナツテ居ル、サウスルト此ノ第六條ノ「但シ履行期ニ於ケル決濟ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ此ノ限リニ在ラズ」其ノ勅令ト云フモノガ「但書ニ該當スル取引ハ未著物取引及延取引ニ限ル」トアリマスカラ、未著物取引モ延取引モ決濟ガ出來ルト云フコトデアリマセウカ

○周東政府委員 勅令事項トシテハ左様ニ書イテ置キマシタガ、是ハ法文ニナリマスカ場合ニ於キマシテハ、決濟ヲ爲ス場合ヲ詳シク書ク譯デアリマス、先程モ申シマシタ未著ノ範圍ニ於キマシテハ先程申シマシタヤウナ意味合ニ於キマシテ、簡易決濟ノ方法ヲ認メルト云フヤウナ意味デアリマス

○山田委員 此ノ印刷物ダケデハサウハ見エナイガ、御話ヲ聽イテ初メテサウナルノデアリマスカ、ソレハ間違アリマセヌカ

○周東政府委員 確カデアリマス

○山田委員 ソレカラ米穀取扱業者ニ付テデアリマスカ、是ハ例ヘバ卸デアルトカ、小賣デアルトカ、仲買デアルトカ、兎ニ角米ヲ賣買スル者ハ悉ク此ノ十一條ニ於ケル米穀取扱ト云フモノノ中ニ入ル、本法ノ十一條ニハ「本法ニ規定スルモノノ外市場員ノ資格其ノ他ノ市場員ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウアルノデアリマス、

所ガ此ノ十一條ノ勅令事項ノ中ニ「米穀市場ノ市場員ノ免許ヲ受ケ得ル者ハ米穀取扱業者及其ノ團體並ニ米穀生産者ノ團體トスルコト」斯ウナツテ居ルノデアリマスカ、此ノ米穀取扱業者ト云フノハ、是ハ無論小賣業者モ入ツテ居ルノデアリマセウカ、ソレカラ其ノ團體ハ産業組合聯合會ハ勿論、府縣聯合會ハ勿論、米穀生産者ノ團體ト見ルベキモノ、ソレカラ町村ヲ單位トシタ生産者ノ團體、ソレハドウ云フコトニナツテ居リマセウカ

○周東政府委員 今ノ町村ヲ區域トスル團體ハ實行組合ヲ御話ニナツタノデアリマセウカ

○山田委員 實行組合、農會、或ハ町村ニ於ケル産業組合、サウ云フコトヲ言ツタノデス

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ大體只今ノ所全販聯ヲ豫想シテ居リマスカ、勅令ノ範圍ニ於キマシテハ産業組合關係ハ入ルヤウニナツテ居リマス、是ハ一々指定スル場合ニ必要ノ點ヲ考ヘテ致スコトニナツテ居リマス

○山田委員 此ノ機會ニ於テ關聯ガアルコトデスカ御聽シタイノデスカ、米ニ付テモ麥ニ付テモ——是ハ能ク繰返シテ居ルノデアリマシテ、農會ト産業組合トノ間デアリマスカ、此ノ團體ハ元々一ツニシテ少シモ差支ナイ、當然一ツニスベキ性質モノト思フノデアリマスカ、是ガ一ツニサレマシタナラバ、生産及ビ販賣ト云フモノガ統一サレマスカラ、非常ニ好都合デアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、農林省ハ近ク之ヲ實行スル御意思ハオアリニナリマセヌカ、此ノ機會ニ御聽シタイ

○櫻内國務大臣 單ニ産業組合及ビ農會バカリデナク、幾多ノ農事關係ノ團體デアリマス、故ニ若シ辛ニ出來得ルナラバ、是ガ一ツ若クハ二ツニ整理サレテ、サウシテ特色ナ集會等モ其ノ一ツニ依ツテスルト云フコトニナリマスト、農村ノ有力者ノ方々、役員ノ方々モ可ナリ兼任サレテ居ルノデアリマスカラ、非常ニ便利ナヤウニ考ヘマス、併シナガラ各事情ガアルノデアリマシテ、是ガ至急ニ出來ヨウトハ考ヘマセヌカ、今日農林協議會ノヤウナ會ガ出來マシテ、産業組合、農會、或ハ水産會、山林會、畜産會等ノ方々ガ御集リニナツテ、既ニ此ノ問題ヲ御協議下サツテ居ルノデアリマシテ、適當ナ機會ニ於テ是ガ旨ク纏ルコトガ出來マスレバ、洵ニ結構ナコトト思ヒマシテ、私共ハ其ノ出來ルコトヲ望ンデ、ソレニ對シマシテ薩ナガラ其ノ出來ルコトヲ祈ツテ盡力致シタイト思ツテ居ルノデアリマス

○山田委員 アトハ小サナ問題ガ二三アリマスカ、非常ニ時間ガ遅レマシタノデ、是デ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○添田委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明後日月曜日午後一時ヨリ開會致シマス

午後六時四十分散會

昭和十四年三月十一日印刷

昭和十四年三月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局